

ワイヤレス 2次元バーコードリーダー

AC-2D601W

取扱説明書

Ver.A10.1

はじめにお読み下さい



株式会社エイポック

www.a-poc.co.jp

- ・製品の仕様および本書は改良のため予告無く変更される場合があります。
- ・本書に記載されている他社製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製することを禁止します。

目次

改訂履歴	7
おことわり／取り扱い上の注意	8
第1章 はじめに	12
1-1 本書について	12
1-2 製品の特徴	12
1-3 付属品	12
1-4 別途ご用意下さい	12
1-5 各部の名称	13
第2章 セットアップ	14
2-1 製品の取り出し	14
2-2 スキャナのセットアップ	14
2-3 充電して下さい	14
第3章 バーコードの読み取り	15
3-1 バーコードの読み取り方	15
3-2 ブザー	15
3-3 バイブレータ	15
3-4 ブザーとLEDの意味	16
第4章 データ転送形式	20
4-1 データ転送形式について	20
4-2 データ転送形式の説明図	20
4-3 データ転送形式の設定変更	20
第5章 日時の設定	21
5-1 日時の設定	21
5-2 日時を転送する設定について	21
第6章 3つのモード 切替と固定	22
6-1 スキャナのモードを知る	22
6-2 ケーブルモードに切り替える	23
6-3 メモリモードに切り替える	23
6-4 BTモードに切り替える	23
6-5 モードを固定する	24

第7章	ケーブルモード 設定と使い方	25
7-1	キーボード配列の設定 (キーボード/メモリ共通)	25
7-2	2次元コード日本語データ読み取り設定 (文字コードの設定、キーボード/メモリ共通)	25
7-3	USB 接続中の充電オン/オフ	25
7-4	バーコードを読み取る	26
7-5	困ったときは データ転送すると改行しない、横に連続で出る、全角になるとき	26
7-6	ケーブルモードの改行設定を変更する	27
7-7	ケーブルモードで日時を転送する	28
第8章	メモリモード 設定と使い方	29
8-1	キーボード配列の設定 (キーボード/メモリ共通)	29
8-2	2次元コード日本語データ読み取り設定 (文字コードの設定、キーボード/メモリ共通)	29
8-3	バーコードを読み取る	29
8-4	2度読み防止の設定	29
8-5	蓄積データを1件消去する	29
8-6	蓄積データを転送する	30
8-7	蓄積データを1件ずつ転送す設定	30
8-8	メモリモードの転送データ形式	31
8-9	ヘッダとフッタ	32
8-10	メモリモードの日時を転送する	33
8-11	蓄積データをすべて消去する	34
8-12	転送したら自動的に消去する設定	34
8-13	蓄積データ転送のレコード抜け対策	35
8-14	マスのストレージの設定	36
8-15	マスのストレージで蓄積データファイルを取り出す定	36
8-16	マスのストレージのデータを消去する	36
8-17	マスのストレージのデータ形式	36
第9章	BT モード(Bluetooth ワイヤレスモード) 設定と使い方	37
9-1	ドングル付きセット品の使い方	37
9-2	専用 USB ドングルとスキャナのペアリング	39
9-3	iOS デバイス(iPad,iPhone)とスキャナのペアリング・使い方	40
9-4	Android デバイス(タブレット等)とスキャナのペアリング・使い方	42
9-5	Windows 10<Bluetooth 対応 PC/タブレット>とスキャナのペアリング・使い方	44
9-6	ペアリングモードに入る方法	45
9-7	ペアリング解除を防ぐ設定	45
9-8	モード切替を防ぐ設定	45
9-9	Bluetooth を切断する	45
9-10	USB 充電しながら BT モードを使う設定	46
9-11	Bluetooth 接続時間の設定	46
9-12	メモリモードの蓄積データを BT モードで転送する	47
9-13	BT モードで転送モードに入らない設定	47
9-14	BT モード データ転送速度を遅くする設定 (桁落ち、文字抜け対策)	48

9-15	BT モード(Bluetooth ワイヤレス)の改行設定を変更する	49
9-16	BT モードで日時を転送する	50
第10章	メンテナンス	51
第11章	困ったときは	52
第12章	仕様	53
第13章	出荷時の初期設定一覧、コード ID 一覧	54
第14章	設定の方法	70
14-1	設定について	70
14-2	設定フローチャート	70
14-3	設定の初期化	71
14-4	基本的な設定	71
14-5	数値・桁数の設定	71
14-6	アスキーの設定 (文字・キーの設定)	72
14-7	読み取りデータの前後に文字やキーを転送する設定	73
14-8	コードタイプ/コード ID/桁数を転送する設定、および GS1 AIM ID	74
14-9	1 桁目から連続する 0 (ゼロ) を削除する設定	74
14-10	読み取りデータの前方と後方を削除する設定	75
14-11	読み取りデータに文字やキーを挿入する設定	76
第15章	設定メニュー	77
15-1	初期化、設定中止、バージョン情報	77
15-2	スキャナの操作	78
15-3	動作設定 キーボード設定 (キーボード配列、出力文字コード (日本語Shift JISの設定))	79
	(続き) (UTF-8変換 (日本語UTF-8の設定))	80
	(続き) (Caps Lock、数字データ、ギャップ)	81
15-4	動作設定 モード固定	82
15-5	動作設定 ボタンの設定 (小ボタンの設定、小ボタン長押し+大ボタンの設定)	83
15-6	動作設定 スキャナ本体の日時設定 (日時の設定、日付の形式、時刻の形式)	84
15-7	動作設定 日時の転送時設定 (日時の転送)	85
	(続き) (日時の転送)	86
15-8	動作設定 メモリモードの動作 (メモリモードの転送タイプ、蓄積データの転送単位、 転送モードの待ち時間、蓄積データの自動消去)	87
	(続き) (ヘッダ/フッタの転送、ヘッダ内の文字の転送)	88
	(続き) (フッタ内の文字の転送)	89
15-9	動作設定 BTモードの動作 (Bluetooth接続タイプ、MACアドレス、Slave/Master用PINコード)	90
	(続き) (通信時間、スキャナの表示名)	91

15-10	動作設定	スキヤニング（スキャンモード、エイマーの点灯時間）	92
		（続き）（読み取り対象、白色照明ライトの消灯/点灯、エイマーの消灯/点滅/点灯、 2度読み防止）	93
		（続き）（センタリング）	94
		（続き）（センタリングの設定例）	95
15-11	動作設定	省電力モード（アイドルモードになる時間、スタンバイモードになる時間）	96
15-12	動作設定	ブザー（ブザーの音量）	97
		（続き）	98
15-13	動作設定	バイブレータ（バイブレータの禁止と許可）	99
		（続き）	100
15-14	動作設定	プリアンブル／プリフィックス／サフィックス／ポストアンブル（転送）	101
		（続き）	102
15-15	動作設定	コードタイプ／コードID／桁数（転送）	103
		（続き）	104
15-16	動作設定	アルファベット大文字小文字の変換／制御文字	105
15-17	読取設定	Codabar / NW7	106
15-18	読取設定	Code 39	108
15-19	読取設定	Interleaved 2 of 5(ITF)	110
15-20	読取設定	NEC 2 of 5	112
15-21	読取設定	Code 93	114
15-22	読取設定	Straight 2 of 5 (Industrial 2 of 5とIATA)	115
15-23	読取設定	Matrix 2 of 5	117
15-24	読取設定	Code 11	118
15-25	読取設定	Code 128	119
15-26	読取設定	GS1-128	120
15-27	読取設定	UPC-A	121
15-28	読取設定	UPC-E	123
15-29	読取設定	EAN-13 / JAN-13	125
15-30	読取設定	EAN-8 / JAN-8	127
15-31	読取設定	MSI	129
15-32	読取設定	GS1データバー標準型（オムニディレクショナル）	131
15-33	読取設定	GS1データバー限定型（リミテッド）	132
15-34	読取設定	GS1データバー拡張型（エクспанデッド）	133
15-35	読取設定	Codablock A	134
15-36	読取設定	Codablock F	135
15-37	読取設定	PDF417	136
15-38	読取設定	MicroPDF417	138
15-39	読取設定	TLC39（TICF Linked Code39）	139
15-40	読取設定	GS1合成シンボル（GS1 Composiete）	140
15-41	読取設定	GS1エミュレーション	142
15-42	読取設定	GS1-128、GS1データバー、GS1 DataMatrixのAIカッコ追加 / 区切りFNC1置換	143
15-43	読取設定	QRコード	144

15-44	読取設定	Data Matrix	145
15-45	読取設定	Maxi Code	146
15-46	読取設定	Aztec Code	147
15-47	読取設定	China Sensible(Han Xin Code) / 中国漢信用コード	148
15-48	読取設定	2次元郵便コード	149
15-49	読取設定	1次元郵便コード 中国郵便コード(香港2of5)	160
15-50	読取設定	1次元郵便コード 韓国郵便コード	161
第 16 章	保証と修理		162
16-1	保証		162
16-2	修理		162
付録 A	シンボル一覧表 (コード ID 表)		163
付録 B	出荷時の設定		165
付録 C	サンプルバーコード		166
付録 D	ASCII コード表		168
付録 D	英数メニュー		169

改訂履歴

Ver.A	初版発行	
Ver.A2	修正	付録 C 誤記修正
Ver.A3	修正	3-1 バーコードの読み取り方を修正
Ver.A4	追加	8-6、15-2 クイックメニュー「転送モードに入る」を追加 ※説明書 Ver.A5 で説明を修正
	追加	8-11、15-2 クイックメニュー「蓄積データ消去」を追加 (ファームウェアバージョン 0001-0011 以上が対応)
	追加	15-10 白色照明ライトの明るさ
	追加	15-10 白色照明ライトの消灯/点灯、エイマーの消灯/点滅/点灯 (ファームウェアバージョン 0001-0011 以上が対応)
	削除	15-12 動作設定 ブザー ケーブル/メモリ/BT の警告「無し」を削除。警告のブザーを無しに設定すると異常に気づかなくなるため、削除しました。
	修正	第 13 章 出荷時の初期値一覧 追記修正
	修正	付録 B 誤字修正
Ver.A5	修正	8-6、15-2 クイックメニュー「転送モードに入る」の説明を修正 (ファームウェアバージョン 0001-0012 以上が対応と修正)
	追加	9-12 クイックメニュー「転送モードに入る」を追加 (ファームウェアバージョン 0001-0012 以上が対応)
Ver.A6	修正	15-26 読取設定 GS1-128 誤記修正
Ver.A7	追加	15-42 読取設定 GS1-128、GS1 データバーの AI カッコ追加 / 区切り FNC1 置換の設定に GS1 DataMatrix を追加。 (ファームウェアバージョン 0001-0013 以上が対応) 下記の関連項目を修正 14-8 コードタイプ、コード ID、桁数を転送する設定、および GS1 AIM ID 付録 A シンボル一覧表 (コード ID 表) 付録 C サンプルバーコードに GS1 DataMatrix を追加 その他
	修正	5-1 日時の設定 誤字修正
Ver.A8	修正	次の項目に間違っ隣メニューを読まないよう注意書きを追記。 7-7 ケーブルモードで日時を転送する、8-10 メモリモードの日時を転送する、 9-16 BT モードで日時を転送する
	修正	8-12 転送したら自動的に消去する設定 メモを追記
	修正	8-16 マスストレージのデータを消去する 誤字修正
Ver.A9	修正	7-3 USB 接続中の充電オン/オフ 説明を追記
	修正	9-10 USB 充電しながら BT モードを使う設定 説明を追記
Ver.A9.1	削除	5-10 白色照明ライトの明るさ 削除
Ver.A10	改訂	第 12 章 仕様 メモリを 4MB から 8MB に改訂 (製品箱ラベルに 8MB と印字しています) 8MB の本体でも、読取データの保存領域は 4MB です。残りはシステム用の領域です。そのため蓄積データの件数は 4MB の本体と同じ件数です。
	改訂	2D エンジンのファームウェアバージョンを CZ000178BBA に改訂。 それに伴い、メインファームウェア(Kernel)の採番が 0001.0001 に戻りました。 特段の記載がない場合、本書でのバージョン記載 (0001-0011 など) は従来の 2D エンジン向けのバージョン記載です。
	追加	15-3 UTF-8 変換 設定を追記 8MB の本体が対応します。 関連ページに追記 (7-2、8-1、9-1 第 13 章)
	修正	文章の誤記修正など

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。




おことわり

- 本製品を正しく使用するために、必ず本書をお読みにになり内容をご理解いただいた上でご使用ください。本製品の取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障・不具合およびパソコンの故障・不具合やデータの消失・破損は弊社の保証対象には含まれず、その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品はすべての USB または Bluetooth を用いた機器との接続動作を確認したものではありません。また、すべての USB を用いた機器との動作保証をするものではありません。ご使用にあたっては、USB または Bluetooth を用いた機器の動作条件と接続の可否情報を各メーカーまたは取り扱い元にご確認ください。
- 読み取りはバーコードの品質に影響を受ける為、すべての読み取りを保証するものではありません。



取り扱い上の注意

ここには、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するための注意事項を記載しております。

警告表示の意味







 危険	絶対に行ってはいけない事項。この表示の注意を守らないと、使用者が死亡または重症を負う危険が差し迫って生じる恐れがあります。
 警告	厳重に守って頂きたい事項。その指示に従わないと、生命の危険または重症を負う恐れがあります。
 注意	安全上、特に注意していただきたい事項。その指示に従わないと障害を負う恐れ、または物的損害を引き起こす可能性があります。

絵記号の意味












 警告	この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。
 注意	この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。









危険

-  本製品を火の中、電子レンジ、オープンや高压容器に入れないで下さい。また、本製品を加熱したりしないで下さい。破裂、発火や火傷の原因となります。
-  本製品から漏れ出た液が目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けて下さい。目に障害を与える恐れがあります。
-  本製品の充電には、必ず本製品付属の接続ケーブルまたは本製品専用の充電アダプタを使用してください。
-  プラグ、ジャックの端子をショートさせないで下さい。発熱、破裂、発火や火傷の原因となります。特にコインやヘヤピンなどの金属製品と一緒に携帯・保管しないで下さい。
-  直射日光の当たる場所、炎天下の車中、暖房器具の近くで使用または放置をしないで下さい。破裂、発火や火傷の原因となります。
-  本製品の分解・改造・修理を自分でしないで下さい。発熱、破裂、発火、火傷や感電の原因となります。また、許可なく本製品のシールやカバーをはずした場合、修理をお断りする場合があります。

**警告**

-  本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。
-  液体や異物などが内部に入ったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。
-  煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。
-  本製品を落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。与えてしまったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。
-  接続ケーブルは、必ず付属品（または指定品）をご使用下さい。
付属品（または指定品）以外を使用すると、電圧や端子の極性が異なる場合があります。この場合、発煙や発火の恐れがあります。本製品の故障の原因にもなります。
-  読み取り窓から出る赤い光を直接目でのぞき込まないで下さい。
目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。
-  読み取り窓から出る赤い光を人の目に向けしないで下さい。
目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。
-  風呂場など、水分や湿気の多い場所では、本製品を使用しないで下さい。
火災になったり、感電する恐れがあります。
-  濡れた手で本製品に触れないで下さい。
パソコンおよび周辺機器の電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因になります。また、コンセントに接続されていなくとも故障の原因になります。
-  小さなお子様が電気製品を使用する場合は、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導の下で行うようにして下さい。
-  プラグ、ジャックの周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でふき取ってください。
そのまま使い続けると、火災、感電の原因となります。

**注意**

-  パソコンおよび周辺機器の取扱いは、各説明書をよく読んで、各メーカーが決める手順に従ってください。
-  静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにして下さい。
人体からの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損される恐れがあります。
-  本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスクなど）のデータをすべて CD-ROM など外部の記憶装置にバックアップしてください。
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。
-  次の場所には設置しないで下さい。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。
 - ・ 強い磁界が発生するところ、静電気が発生するところ
 - ・ 温度、湿度が製品の説明書が定めた使用環境を超えるところ、または結露するところ→故障の原因となります
 - ・ 振動が発生するところ→けが、故障、破損の原因となります
 - ・ 平らでないところ→転倒したり、落下したりしてけがや故障の原因となります
 - ・ 直射日光が当たるところ、火気の周辺、または熱気のこもるところ→故障や変形の原因となります
 - ・ 漏電または漏水のあるところ→故障や感電の原因となります
-  シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品を拭かないで下さい。製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。
-  本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って下さい。
条例については、各地地方自治体にお問い合せ下さい。

**法令準拠と注意**

この装置は FCC 規制パート 15 に適合しています。この装置は次の 2 つの条件に従って動作するものとします。

- (1)本製品によって、有害な干渉が発生することはない。
 (2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。

本製品は FCC 規制のパート 15 に従い、クラス B デジタル機器の制限に適合するようにテスト済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。その場合には、ユーザー側の負担で次のような干渉防止措置を講じる必要があります。

- ・ 受信アンテナの位置や方向を変える
- ・ 装置と受信機の距離をとる
- ・ 装置と受信機を別の回路のコンセントに接続する
- ・ 経験のあるテレビ・ラジオの技術者に相談する

**電波に関する注意**

- **本製品は、電波法で定められた 2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合認証を受けた製品を内蔵しています。**
従って、日本国内のみの使用目的において無線局の免許は必要ありません
- **本製品は、技術基準適合証明を受けた製品を内蔵していますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。**
 - ・ 本製品を分解・改造すること
 - ・ 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- **本製品は、次の場所で使用しないで下さい。**
 - ・ 電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害の発生するところ、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近く（環境により電波が届かない場合があります）
 - ・ 人命に関わる医療用機器の近く
- **本製品は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。**
 - ・ 産業・科学・医療用機器
 - ・ 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - 1.構内無線局（免許を要する無線局）
 - 2.特定省電力無線局（免許を要しない無線局）
 - ・ 無線 LAN 製品
- **本製品を使用する場合、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。**
 - ・ 本製品を使用する前に、必ず本製品の干渉距離内に移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認の上使用を開始してください。
 - ・ 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	FF-SS 方式
想定干渉距離	100m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ構内無線局および特定省電力無線局の帯域を回避不可

**バッテリーの注意**

- **本製品は、リチウムイオンポリマーバッテリーを使用しております。体積エネルギー密度 400Wh/L 以下です。従って、電機用品安全法が定める PSE マークは必要ありません。**
- **はじめに、バッテリーを満充電して下さい。**
 - ・ 満充電になるまで 4 時間以上です。
 - ・ 満充電になると、充電通知 LED が赤の点灯から点滅になります。
- **パソコンまたは USB AC 充電器(5VDC, 1A 以上)で充電して下さい。**
 - ・ タブレットやその他の方法で充電した場合、適切に充電できず本製品のバッテリーを痛める恐れがあります。
- **バッテリーは定期的に充電して下さい。寿命がくるのを防ぎます。**
 - ・ 3 ヶ月以上、使用・充電せずに放置すると、バッテリーの特性により劣化、液漏れなど不良が生じます。
- **バッテリー使用回数の目安は次の通りです。(5 秒に 1 回の読み取りで)**
 - ・ メモリモード 14,000 回
 - ・ Bluetooth モード 9,600 回 (HID)、9,000 回 (SPP)
- **バッテリーの分解および改造を行わないで下さい。**
発火、火傷や感電の原因となります。
- **充電中、赤いランプが高速で点滅したら、バッテリーの寿命です。**
 - ・ すみやかに充電を中止して下さい。
 - ・ 弊社または販売店にバッテリー交換修理をご依頼下さい。バッテリーの交換は有償となります。
- **バッテリーが液漏れしていたら、直接手で触れたり、目に入らないようにして下さい。**
万一、バッテリー液に直接触れた場合はすみやかにきれいな水で洗い流し、医師に相談して下さい。

第1章 はじめに

1-1 本書について

本書では、ワイヤレス2次元バーコードリーダーAC-2D601Wの操作方法について一般的な情報を説明します。

1-2 製品の特徴


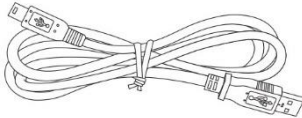





AC-2D601W（以下、本製品またはスキャナ）はバーコードの読み取りおよび入力装置です。

- 2次元バーコード、1次元バーコード対応
- 小型で持ち運びが容易
- 3つのモードに対応
 - 1、ケーブルモード…USBケーブルバーコードスキャナになります
 - 2、メモリモード…蓄積式バーコードスキャナになります
 - 3、Bluetoothワイヤレスモード…無線式バーコードスキャナになります
- 大きなブザー音（オンオフ、大小の調節可能）
- バイブレータ搭載（オンオフ可能）
- 大容量メモリ4MB、JAN13(13桁)を131,008件蓄積可能
- マスストレージモードに対応、USBメモリのよう蓄積データを取り出せる
- Bluetooth無線技術を搭載、通信距離100m（見通しのよい環境で）
- 保護等級IP54準拠

略称について 以下、本書ではモードを略称で表記している場合があります。

モード	略称
ケーブルモード	ケーブル
メモリモード	メモリ
Bluetoothワイヤレスモード	BT、BTモード

1-3 付属品 付属品がそろっていることを確認してください

AC-2D601W(スキャナのみ)の付属品	AC-2D601W-S(セット品)の付属品
<input type="checkbox"/> AC-2D601W <input type="checkbox"/> USBケーブル <input type="checkbox"/> ストラップ   	<input type="checkbox"/> 左記の付属品 <input type="checkbox"/> USB Dongle A-302 
<input type="checkbox"/> シリコンカバー <input type="checkbox"/> かんたんガイド(簡易説明書)  	<input type="checkbox"/> らくらくスタートガイド(簡易説明書) 

ご案内 本書の印刷物は付属しておりません。ホームページからのダウンロードでの提供となります。

ご案内 USB AC充電器（別売品）の取り扱いについてはホームページをご確認ください。

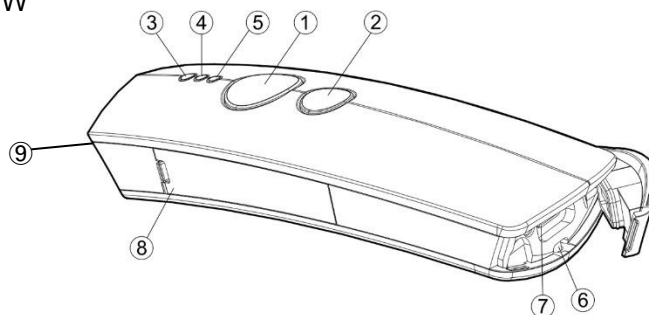
1-4 別途ご用意下さい

- 利用可能なUSBポートがあるパソコン
- 利用可能なBluetoothに対応した機器（Bluetooth HIDプロファイル対応であること）

ご注意 本製品はすべての機器との動作を保証するものではありません。

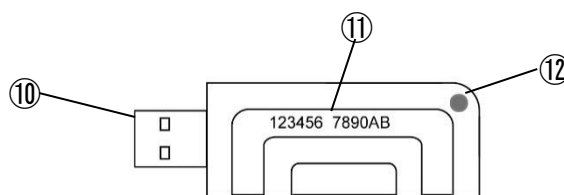
1-5 各部の名称

スキャナ本体 AC-2D601W



①	大 ボタン (スキャンボタン)	<p>バーコードを読み取る。</p> <p>長押しでモード切替。</p> <p>転送モードに入った後、押すと蓄積データを転送する。</p>
②	小 ボタン	<p>ケーブルモード/BTモード時、長いブザーが1回なるまで長押しすると、蓄積データの転送モードに入る。</p> <p>BTモード時、長押ししてブザーが3回鳴った後、手を離すとBluetoothオフ。</p> <p>BTモード時、長押ししてブザーが3回鳴った後、長押ししたまま大ボタンを押すとペアリングモードに入る。</p>
③	読取通知 LED (緑/オレンジ/赤)	<p>緑：読み取り成功。※メモリモードで読取時、メモリ容量が少ないと色が変わります。</p> <p>※通常は緑→オレンジ(容量が残り少ない、90%蓄積)→赤(容量がいっぱい、100%蓄積)</p> <p>オレンジ：転送モードに入っている。</p> <p>赤：メモリ時、蓄積データの全消去。BT時、読取失敗(無線通信が確立していない)</p>
④	モード通知 LED (緑/オレンジ/青)	<p>緑：ケーブルモード。</p> <p>オレンジ：メモリモード。</p> <p>青：BTモード。</p> <p>赤→オレンジ→緑の3色を繰り返す：設定中。</p>
⑤	パワー通知 LED (赤)	<p>バッテリーの状態を通知します。</p> <p>充電時 (USB ケーブル接続中)</p> <p>点灯：充電中</p> <p>点滅 (2秒に1回)：満充電。※充電を中止して下さい。</p> <p>使用時 (メモリモード/BTモード)</p> <p>消灯：バッテリー残量が十分 ※残量が十分なとき頻繁に充電しないで下さい。</p> <p>2回の点滅：バッテリー残量が減っています (およそ60%)</p>
⑥	ストラップ穴	ストラップを取り付ける。
⑦	USB	USB ケーブルを接続する。充電、データ転送する。⚠使用後、しっかり閉じる事。
⑧	バッテリーカバー	専用バッテリーを収納する。⚠カバーは完全に外れます。紛失にご注意下さい。
⑨	読取窓	エイマー(読み取り光)を照射する。

専用 USB ドングル A-302 (ドングル付きセット品の付属品)



⑩	USB コネクタ	パソコンの USB ポートに接続する
⑪	MAC アドレス	12桁の英数字(半透明のケース内の文字)
⑫	LED(青)	点灯→スキャナとワイヤレス接続中

第2章 セットアップ

2-1 製品の取り出し

箱から製品を取り出したら、次のことを確認して下さい。

- ・製品に破損が無いことを確認する。破損があった場合はすぐに弊社へお知らせ下さい。
- ・不足しているものがないか確認する。
- ・保管や返送時のために、箱は保管する。

2-2 スキャナのセットアップ

スキャナにシリコンカバーとストラップを取り付けて下さい。

USB コネクタをパソコンの USB ポートに接続して下さい。パソコンが自動でドライバをインストールしセットアップが完了します。

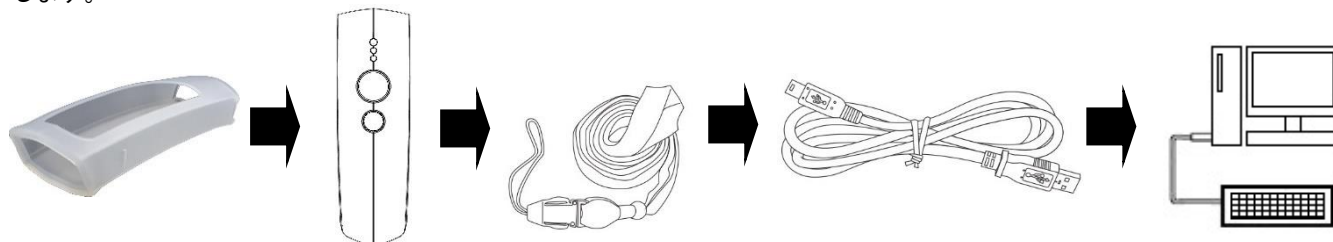


図 シリコンカバーを取り付けたスキャナ



2-3 充電して下さい

スキャナを USB ケーブルでパソコンに接続し、充電して下さい。ご購入直後は満充電にしてから使用して下さい。

- 充電中は、パワーLED（赤）が点灯します。
- 満充電になると、パワーLED（赤）が点滅（2秒に1回）になります。
満充電になったら USB ケーブルを外し、充電を中止して下さい。

ご注意 パソコンまたは USB AC 充電器(5VDC, 1A 以上)で充電して下さい。
タブレットやその他の方法で充電した場合、適切に充電できず本製品のバッテリーを痛める恐れがあります。

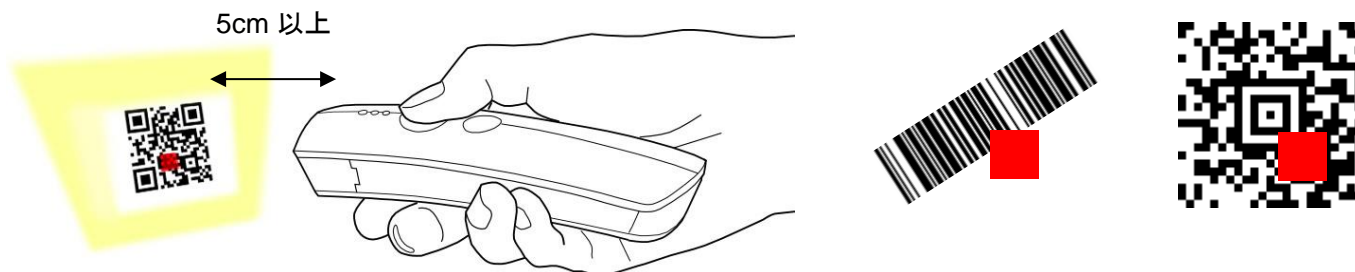
ご注意 バッテリー残量が十分にあるとき、頻繁に充電を繰り返さないで下さい。バッテリーがはやく痛みます。

ご注意 充電したとき、パワーLED（赤）が高速で連続点滅した場合、バッテリー寿命、または異常が発生しています。
すみやかに充電を中止し、弊社または販売店にご相談下さい。

第3章 バーコードの読み取り

3-1 バーコードの読み取り方

- 1) 大ボタンを押して下さい。
- 2) エイマーをバーコードにかざすと読み取ります。又、360度どの方向でも読み取ります。エイマー（赤色の読取光）をバーコードに照射して下さい。スキャナがバーコードを読み取ります。



注意 ボタンは無理に強く押さないで下さい。

メモ 小さなバーコード

→GS1 合成シンボルは 2D コード側(下半分)にエイマーを当てると読みやすいです。その他も下側が読みやすいです。



メモ 長いバーコード

→スキャナをバーコードから離し、エイマーを下のほうに当てると読みやすいです。



メモ 本製品は読み取り範囲が広いいため、エイマーから外れた近くのバーコードを読むことがあります。エイマーの箇所のみを読みやすくするには、センタリングの設定をお試し下さい。

→第 15 章 15-10 動作設定 スキャニング センタリングを参照して下さい。

3-2 ブザー

スキャナはバーコードを読み取ると、ブザーが鳴ります。出荷時は、最大のブザー音量です。

ブザーは無し、又は、小さい音量に設定できます。ブザーは、スキャナのモード・動作ごとに設定します。

「第 15 章 15-12 ブザー」の設定メニューをスキャナで読み取って設定して下さい。

3-3 バイブレータ

スキャナはバイブレータの振動で読み取りを確認することができます。

バイブレータはオフに設定して出荷しています。バイブレータは、スキャナのモード・動作ごとに設定します。

「第 15 章 15-13 バイブレータ」の設定メニューを読み取って設定して下さい。

メモ バイブレータをオフにすると、バッテリーの持ちがよくなります。

3-4 ブザーと LED の意味

各モードのブザーと LED

スキャナの動作は、ブザーと LED で通知します。ケーブル、メモリ、BT それぞれのブザーと LED については、次の通りです。

ケーブルモード

機能、操作	ブザー	LED	
ケーブルモードになった時 ・ PC とケーブル接続する	上昇下降メロディー、1 回の長音	赤・点灯→点滅(満充電)	パワーLED
ケーブルモードで使用	-	緑・点滅	モードLED
バーコード読み取り	1 回の短音	緑・点灯	読取LED
充電を手動オフ/オンする			
小 ボタン長押し ↓	3 回の短音 (ピピピ) ↓	緑・高速点滅 ↓	モードLED
小ボタン長押ししながら 大 ボタンを押す	充電オフ時、2 回の短音 (ピポ) 充電オン時、2 回の短音 (ポピ)	赤・消灯(充電オフ) 赤・点灯(充電オン)	パワーLED パワーLED
蓄積データ転送モードに入る			
小 ボタン長押し ↓	3 回の短音 (ピピピ) ↓	緑・高速点滅 ↓	モードLED
長押し続ける ↓	1 回の長音 (ピー) ↓	緑・点灯 ↓	モードLED
ボタンをはなす ↓	1 回の長音、2 回の短音 (ピーピピ) ↓	オレンジ・高速点滅	モードLED
蓄積データ転送する 大 ボタンを押す	転送時、1 回の長い高音 (ピー) 転送後、1 回の短音 (ピ)	オレンジ・低速点滅 緑 1 回点灯	モードLED 読取LED

3-4 ブザーと LED の意味 (続き)

メモリモード

機能、操作	ブザー	LED	
メモリモードになった時 ・ PC から取り外す ・ BT からメモリに切り替える	上昇メロディー	オレンジ・点滅 (使用中、常に点滅しま す。しばらくするとスリー プし、消灯します)	モード LED
メモリモードで使用中	-		
バーコード読み取り (成功)	1 回の短音 + 短い上昇音 (ピピロロロ)	緑・点灯	読取 LED
バーコード読み取り (エラー、2 度読み、1 件消去時該当データ無し)	5 回の短音 (ピピピピピ)	オレンジ・点灯	読取 LED
蓄積データ 1 件消去 小ボタン押ししながら読み取り	1 回の長音、2 回の短音 (ピーピピ)	緑・点灯	読取 LED
蓄積データすべて消去 小ボタン長押し ↓	3 回の短音 (ピピピ) ↓	オレンジ・高速点滅 ↓	モード LED
小ボタン長押ししながら 大ボタンを押す	3 回の長音 (ピーピーピー)	赤・点灯 → すぐ消灯	読取 LED
メモリ容量が残り少ない (容量の 90% まで蓄積した)	1 回の長音と 2 回の短音 (ピーピピ)	オレンジ・点灯 ※通常は緑 → オレンジになる	読取 LED
メモリ容量がいっぱいになった (容量が無く読取できない)	5 回の短音 (ピピピピピ)	赤・点灯 ※オレンジ → 赤になる	読取 LED
BT モードに切替 大ボタン長押し ↓	3 回の短音 (ピピピ) ↓	オレンジ・高速点滅	モード LED
押し続ける	1 回の長音 (ピー) (次にボタンを離すと BT になる)	オレンジ・点灯	モード LED

3-4 ブザーと LED の意味 (続き)

BT モード

機能、操作	ブザー	LED	
BT モードに切り替えた時 ・ PC から取り外す ・ メモリから BT に切り替える	3 回の短音+1 回の長音 (ピピピ ピー)	青・点滅	モード LED
バーコード読み取り (成功)	1 回の短音(ピ)	緑・点灯	読取 LED
バーコード読み取り (エラー)	4 回の短音 (ピピピピ)	赤・点灯	読取 LED
蓄積データ転送モードに入る			
小ボタン長押し ↓	3 回の短音 (ピピピ) ↓	青・高速点滅 ↓	モード LED
長押し続ける ↓	1 回の長音 (ピー) ↓	青・点灯 ↓	モード LED
ボタンをはなす ↓	1 回の長音、2 回の短音 (ピーピピ) ↓	オレンジ・高速点滅	モード LED
蓄積データ転送する 大ボタンを押す	1 回の長音 (ピー) 転送開始 1 回の短音 (ピ) 転送終了	オレンジ・低速点滅 緑・点灯→消灯	モード LED 読取 LED
ペアリングモードに入る			
小ボタン長押し ↓	3 回の短音 (ピピピ) ↓	青・高速点滅 ↓	モード LED
小ボタン長押ししながら 大ボタンを押す	3 回の短音が 2 回 (ピピピ、ピピピ)	青・低速点滅	モード LED
ペアリング完了	下降メロディーと 2 回の短音 (ピピ)	青・点灯	モード LED
Bluetooth 接続成功	2 回の短音(ピピ)	青・点灯	モード LED
Bluetooth 接続中(使用中)	-	青・点灯(間欠的に点滅)	モード LED
Bluetooth を切断する			
小ボタン長押し ↓	3 回の短音 (ピピピ) ↓	青・高速点滅 ↓	モード LED
ボタンを離す	1 回の長音 (ピー)	-	
蓄積データ転送モードに入る	※メモリモード時の蓄積データ転送		
Bluetooth 接続後、小ボタン長押し ↓	3 回の短音 (ピピピ) ↓	青・高速点滅 ↓	モード LED
長押し続ける ↓	1 回の長音 (ピー) ↓	青・点灯 ↓	モード LED
ボタンをはなす ↓	1 回の長音、2 回の短音 (ピーピピ) ↓	オレンジ・高速点滅 ↓	モード LED
蓄積データ転送する 大ボタンを押す	転送時、1 回の長い高音 (ピー) 転送後、1 回の短音 (ピ)	オレンジ・低速点滅 緑 1 回点灯	モード LED 読取 LED
メモリモードに切替			
大ボタン長押し ↓	3 回の短音 (ピピピ) ↓	青・高速点滅 ↓	モード LED
押し続ける	1 回の長音 (ピー) (次にボタンを離すとメモリになる)	青・点灯	読取 LED

3-4 ブザーと LED の意味（続き）

すべてのモード

機能、操作	ブザー	LED	
設定開始読み取り	上昇メロディー		
設定中	-	赤→オレンジ→緑の繰り返し点灯	モードLED
設定メニュー読み取り（成功）	高低（ピロ）	-	-
設定メニュー読み取り（エラー）	5回の低い短音（ピピピピピ）	-	-
設定メニュー読み取り 次に英数メニューが必要	高低高低（ピロピロ）	-	-
英数メニュー読み取り	2回の短音（ピピ）	-	-
セット読み取り	短い上昇メロディー	-	-
設定終了読み取り	下降メロディー	-	-

バッテリーの通知 充電時（USB ケーブルでパソコンまたは AC アダプタと接続中）

充電の状態	ブザー	LED	
充電中	-	赤・点灯	パワーLED
充電完了(満充電)	-	赤・点滅(2秒に1回)	パワーLED
バッテリー寿命または異常	-	赤・高速な点滅	パワーLED

バッテリーの通知 使用時（USB ケーブルを外し、メモリモードまたは BT モードで使用）

バッテリー残量	ブザー	LED	
満充電、残量が十分にある	-	消灯	パワーLED
60%	-	赤・2回の点滅	パワーLED
38%	-	赤・1回の低速点滅	パワーLED
0%	長い1回の高音（ピーー）	赤・点灯→消灯	パワーLED

メモ バッテリー残量は目安です。

メモ USB ケーブルを外し、放置するとスキャナは 90 秒後にスリープし、全ての通知 LED ランプが消灯します。(出荷時設定)

第4章 データ転送形式

4-1 データ転送形式について

スキャナはバーコードを読み取ると、出荷時は読取データと Enter キー（改行キー）をパソコンに転送します（ケーブルモードまたは BT モードのとき）。本書ではスキャナが転送するデータの順序や構成をデータ転送形式と呼びます。

4-1-1 出荷時の読取データ転送形式

読取データ	Enter キー(改行キー)
-------	----------------

例 スキャナがバーコード「12345」を読み取ると、パソコンの画面に「12345」が入力し、最後に自動的に改行します（Enter キーを押したように動作します）。

4-2 データ転送形式の説明図

スキャナは設定すると読取データの前や後に読取日時、文字、キー(Enter など)を追加することができます。スキャナに設定可能なすべてのデータ転送形式は 4-2-1 の図の通りです。出荷時は二重線で示す「読取データ」と「ポストアンブル(Enter)」のみを転送します。

4-2-1 読取データ転送形式

設定	プリアンブル	プレフィックス	日付 (読取日付)	日付と時刻の間	時刻 (読取時刻)	デリミタ	コードタイプ	コードID (前)	桁数	GS1 AIM ID	読取データ	(コードID (後))	サフィックス	ポストアンブル
転送の初期値	禁止	禁止	禁止	注	禁止	許可 注	禁止	禁止	禁止	禁止			禁止	許可
文字の初期値	なし	なし	YYYY/MM/DD	SP (スペース)	hh:mm:ss	SP (スペース)	(xx.) (文字)	xx (文字)	nnnn (数字)]xn (文字)			なし	CR LF (Enter)
桁数	1-8	1-8	可変 設定による	1	可変 設定による	1	可変	1-2	4	3	可変 データによる	1-2	1-8	1-8

例 日付と時刻を転送する設定を行ったときの例です。空白は見やすくするためにあります。

```
2018/09/24 SP 17:33:50 SP 1234567890 Enter
2018/09/25 SP 10:20:15 SP ABCDE12345 Enter
```

↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑
日付 日付と時刻の間 時刻 デリミタ 読取データ Enter キー

4-2-2 読取データ転送形式 日時の位置を設定変更したとき

日時の位置を読み取りデータの後に設定変更したときの転送形式です。デリミタの位置は読取データと日付の間になります。

設定	プリアンブル	プレフィックス	コードタイプ	コードID (前)	桁数	GS1 AIM ID	読取データ	(コードID (後))	デリミタ	日付 (読取日付)	日付と時刻の間	時刻 (読取時刻)	サフィックス	ポストアンブル

注 「日付と時刻の間(初期値 SP)」は禁止/許可の設定がありません。「日付」と「時刻」の転送を許可に設定すると転送するようになります。

注 「デリミタ(初期値 SP)」は「日付」又は「時刻」の転送を許可に設定すると転送するようになります。

メモ メモリモードのみ、ヘッダとフッタも転送します。→第8章 8-8、8-9を参照

メモ メモリモードの転送方法は出荷時の「標準動作」と「マストレージ」があります。図は標準動作の転送形式です。マストレージは「日付 時刻 読取データ」に固定した形式になります→第8章 8-17を参照

4-3 データ転送形式の設定変更

データ転送形式は設定メニューを読み取って変更することができます。

スキャナはケーブルモード、メモリモード、BTモードの3つのモードがあります（第6章参照）。データ転送形式（日付、時刻、その他）はそれぞれのモードごとに設定します。→第14章、第15章を参照

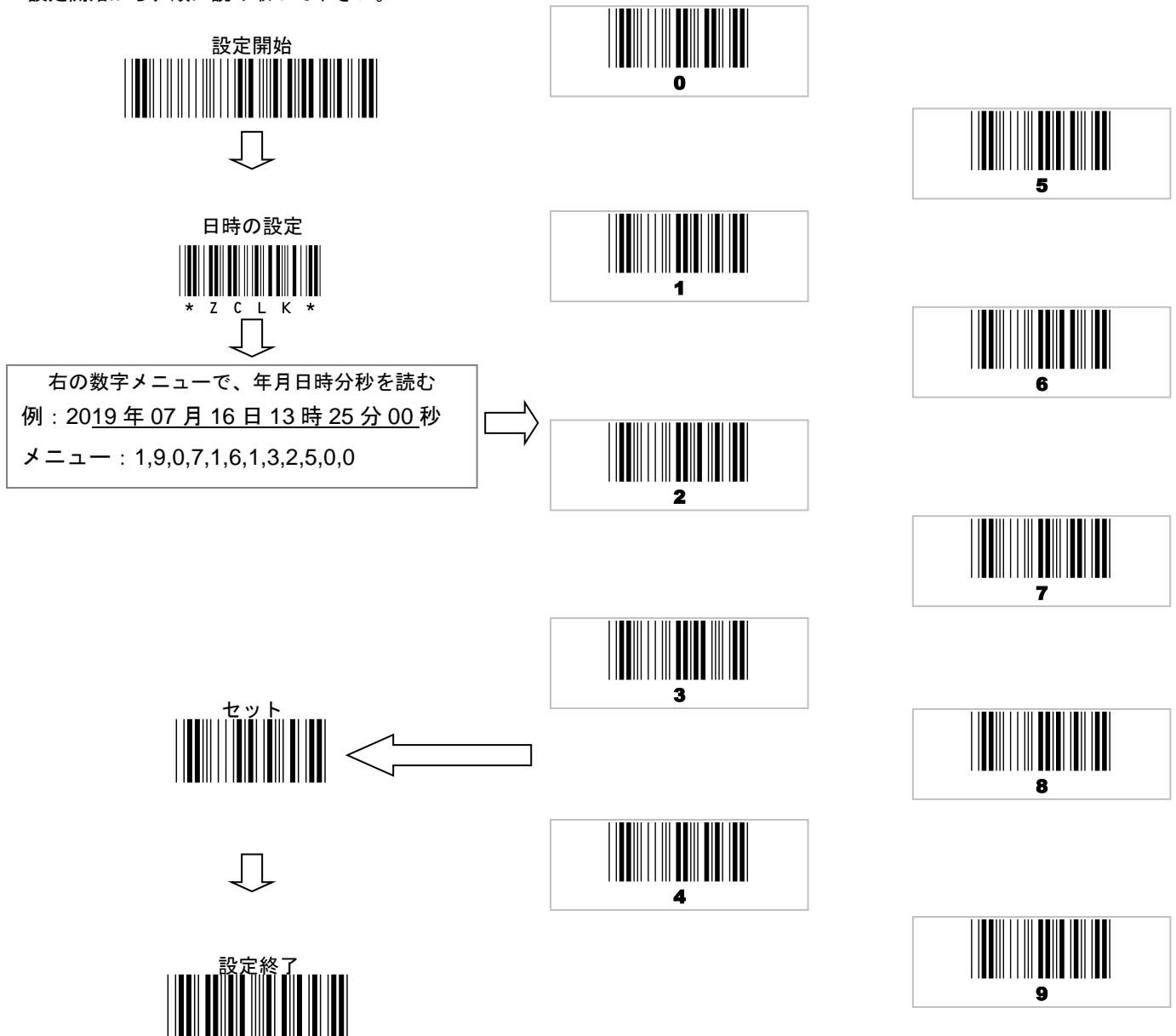
第 5 章 日時の設定

5-1 日時の設定

スキャナのタイマーの日時を設定します。必要な場合、設定して下さい。

設定は、設定専用のバーコードメニュー（以下、設定メニュー）を読み取って設定します。

設定開始から、順に読み取って下さい。



5-2 日時を転送する設定について

読取データとともに読取日時を転送する場合、スキャナのモードごとに設定して下さい。次の章を参照して下さい。

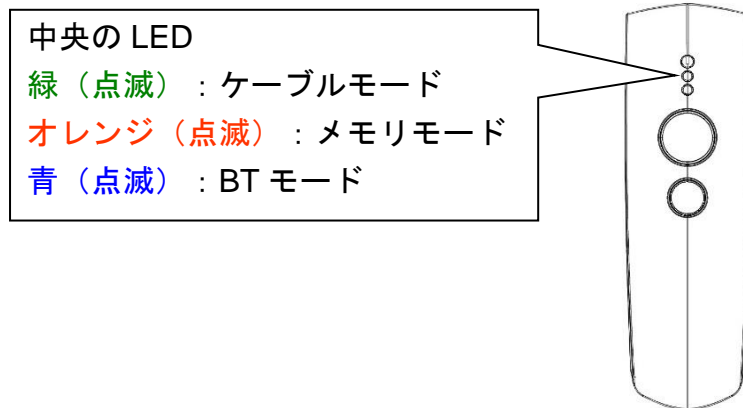
ケーブルモードで読取日時を転送する（読み取りながら日時を転送する）	第 7 章 7-7
メモリモードで読取日時を転送する（蓄積したデータ転送時に日時を転送する）	第 8 章 8-10
BT モードで読取日時を転送する（読み取りながら日時を転送する）	第 9 章 9-16

第6章 3つのモード 切替と固定

6-1 スキャナのモードを知る

本製品はケーブルモード、メモリモード、BTモード(Bluetooth ワイヤレスモード)の3つのモードがあります。

3つのLEDのうち、中央のLEDの色で、スキャナのモードを知ることができます。



メモ スキャナは電源オン／オフのボタンはありません。

何かボタンを1回押すと電源が入り、通知LEDが点滅します。

メモリモード又はBTモードのとき、使用しないでしばらく経つとスキャナはスリープして通知LEDは消灯します。

6-2 ケーブルモードに切り替える

スキャナを USB ケーブルでパソコンに接続して下さい。自動的にケーブルモードに切り替わります。

メモ スキャナから USB ケーブルを取り外すと、パソコンに接続する前のモード(メモリか BT)に戻ります。

6-3 メモリモードに切り替える

- 1) スキャナをパソコンから取り外して下さい。オレンジが点滅するなら、メモリモードです。そのままお使い下さい。
- 2) 青が点滅するなら、BT モードです。設定メニューかボタンでメモリモードに切り替えて下さい。

●設定メニューで切り替える方法

次の設定メニューを読み取って下さい。



●ボタンでメモリに切り替える方法

大ボタンを長押しして下さい。

ブザーが3回鳴ります。まだ長押しして下さい。青のLEDが高速で点滅します。

しばらく待つと長いブザーが1回なります。青のLEDが点灯します。

ボタンから手を離して下さい。メモリモードになります。

6-4 BT モードに切り替える

- 1) スキャナをパソコンから取り外して下さい。青が点滅するなら、BT モードです。そのままお使い下さい。
- 2) オレンジが点滅するなら、メモリモードです。設定メニューかボタンでBT モードに切り替えて下さい。

●設定メニューで切り替える方法

次の設定メニューを読み取って下さい。



●ボタン操作でBTに切り替える方法

大ボタンを長押しして下さい。

ブザーが3回鳴ります。まだ長押しして下さい。オレンジのLEDが高速で点滅します。

しばらく待つと長いブザーが1回なります。オレンジのLEDが点灯になります。

ボタンから手を離して下さい。BT モードになります。

6-5 モードを固定する

スキャナのモードを固定することができます。モードを固定すると、誤ってモードを切り替えてしまうことを防ぎます。

設定開始 → モードを選択 → 設定終了 を読み取って下さい。

通常は下記の3種類から選択して下さい。



下記の設定をすると、ケーブルモードが使えなくなります。USB ケーブルでデータ転送できません。

USB ケーブル接続時は充電のみ行います。

「BT」を設定すると、USB ケーブルで充電しながらワイヤレススキャナとして使用できます。

メモ 満充電（パワーLED、赤が2秒に1回の点滅）になったらUSB ケーブルを外し充電中止して下さい。

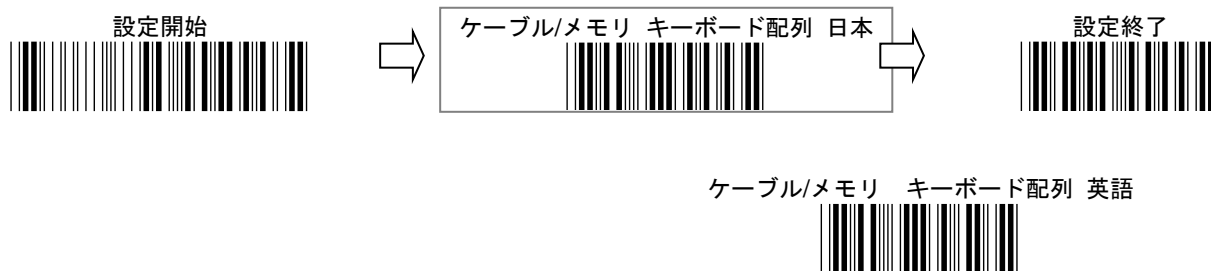


第7章 ケーブルモード 設定と使い方

7-1 キーボード配列の設定（キーボード/メモリ共通）

設定開始 → ケーブル/メモリ キーボード配列 日本 → 設定終了 を読み取って下さい。

メモ 出荷時は設定済みです。初期化するとキーボード配列 英語になります。



7-2 2次元コード日本語データ読取設定（文字コードの設定、キーボード/メモリ共通）

メモ Windows 用設定です。出荷時は Shift_JIS に設定済みです。初期化すると文字コード US になります。

2次元コードが日本語データ（漢字、かな、カナ）を含む場合、設定開始 → ケーブル/メモリ 文字コード Shift_JIS → 設定終了 を読み取って下さい。（アプリケーションによっては日本語入力に対応しない場合があります）



メモ 新バージョンは UTF-8 も対応します。（2022 年 3 月頃から出荷）

設定方法は第 15 章 15-3 動作設定 キーボード設定（続き）UTF-8 変換を参照して下さい。

7-3 USB 接続中の充電オン/オフ

スキャナはパソコンに USB 接続すると、自動的にスキャナのバッテリーを充電します。

ボタン操作で USB 接続中に充電をオン/オフすることができます。

●ボタン操作で充電オフ/オンする

小 ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。緑の LED が高速で点滅します。

小 ボタンを長押ししたまま、**大** ボタンを押して下さい。

スキャナが充電中（充電オン）なら充電オフになります。スキャナが充電オフなら充電オンになります。

メモ 充電をオフにしても、スキャナはバッテリーで動作し、バーコードを読み取りできます。

長時間使わないときは、バッテリーを長持ちさせるため、USB ケーブルを外すか上記の操作で充電を中止して下さい。

ご注意 第 6 章 6-5 モードを固定する にて、ケーブルモードが使えない設定（点線より下の設定）をするとボタン操作で充電オン/オフの操作を行えません。

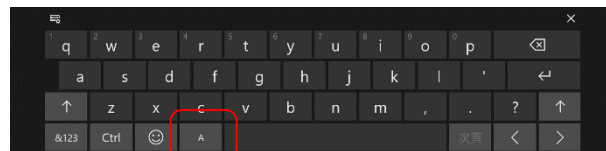
7-4 バーコードを読み取る

- 1) スキャナを USB ケーブルでパソコンに接続して下さい。ケーブルモードになります。緑の LED が点滅します。
- 2) バーコードデータを入力するアプリ（メモアプリやブラウザ）を立ち上げて下さい。
- 3) バーコードを入力したいところをクリック又はタッチしてカーソルを表示させて下さい。

4) (ア) パソコンがデスクトップモードの場合

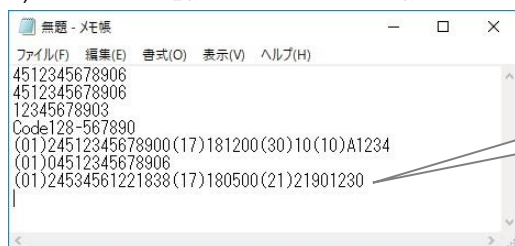
(イ) パソコンがタブレットモードの場合

画面右下の[言語バー]の入力モードを[半角英数]に設定して下さい。画面キーボードの[あ]をタッチ→[A]に切り替えて下さい。[あ]を右クリック→[半角英数]を選択。(あが A になる)



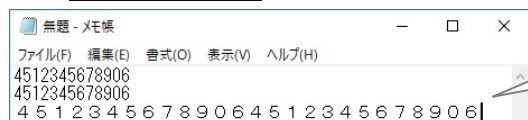
メモ Windows XP は[直接入力]を設定して下さい

- 5) バーコードを読み取って下さい。読み取りデータを転送します。



クリック又はタッチしてカーソルが表示したところにデータが入ります。

7-5 困ったときは データ転送すると改行しない、横に連続で出る、全角になるとき



横に出る、全角になる
→半角英数に設定して下さい

7-4 の通り、言語バーの入力モードを[半角英数]に設定して下さい（Windows XP は[直接入力]に設定して下さい）。改善しない場合、下記の[直接入力]に設定してお試し下さい。

● Windows 10, Windows 8 : 言語バーの「あ」(A)を右クリック→[詳細設定]→[全般] →[直接入力を使用しない]のチェックを外す→[OK]→再度、言語バーの[あ](A)をクリック→[直接入力]を選択する

● Windows 7 : 言語バーの[ツール]アイコンをクリック→[編集操作]→[直接入力を使用しない]のチェックを外す→[OK]→再度、言語バーの[あ](A)をクリック→[直接入力]を選択する

メモ 第 15 章 15-3 キーボード設定 Caps Lock の Alt+テンキーを設定すると、パソコンの入力モードを変更しなくても全角にならず半角で入力できます（Windows のみの設定）。ただし入力速度が遅くなります。

メモ またはご使用のアプリケーション、ソフト側で入力方法を制御して下さい。詳しくは弊社ホームページを参照して下さい。
<https://www.a-poc.co.jp/support2/faq-00001-Excel.html>

7-6 ケーブルモードの改行設定を変更する

- ・ 出荷時のスキャナは読取データの終端に Enter（エンター、改行）が付きます。
- ・ 読取データの終端を Tab（タブ）、または無しに変更する場合は、スキャナで下記の設定メニューを上から順に取り、設定を変更して下さい。

メモ BT モード(Bluetooth ワイヤレス)の改行設定は第 9 章 9-15 を参照して下さい。

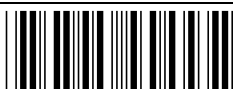
1. 設定開始



2. お選び下さい（上から順に取り取る）

読取データ+Enter(改行) (出荷時設定)	読取データ+Tab(タブ)	読取データ+無し(データのみ)
(ケーブル)ポストアンブル 許可 * 0 S H 1 *	(ケーブル)ポストアンブル 許可 * 0 S H 1 *	(ケーブル)ポストアンブル 禁止 * 0 S H 0 *
↓	↓	
(ケーブル)ポストアンブル データ * 4 T K + *	(ケーブル) ポストアンブル データ * 4 T K + *	
↓	↓	
0	0	
↓	↓	
D	9	
↓	↓	
セット	セット	

3. 設定終了



メモ 詳しくは「第 14 章 設定の方法」「第 15 章 設定メニュー」をお読み下さい。

7-7 ケーブルモードで日時を転送する

このページは **USB 接続(ケーブルスキャナ)**で読むときの設定です。メモリモード→第8章 8-10 BTモード→第9章 9-16

設定例のように読取データを転送するには、スキャナで★印のメニューを読み取って下さい。

メモ 転送形式の詳細は第4章 データの転送形式を参照して下さい。

出荷時の転送形式

→

設定例

上下隣のメニューを間違
って読まないようご注意
下さい。設定後タブ区切
りにならない場合、0,9
を0,0などと読んでいま
す。再設定して下さい。

★設定開始



* 印は出荷時設定

設定	禁止(オフ)	許可(オン)
日付の転送	* 禁止  * 8 S P 0 *	★許可  * 8 S P 1 *
時刻の転送	* 禁止  * 0 S Q 0 *	★許可  * 0 S Q 1 *
デリミタの転送 日時とデータの 間のキャラクタ	禁止  * 2 S S 0 *	* 許可  * 2 S S 1 *
日時の位置 データの前か後	* 前  * 1 S R 0 *	後  * 1 S R 1 *

日時をタブ(Tab)で
区切る場合はこちら

★区切文字タブ設定

日時と時刻の間



* 7 T 5 + *

0



9



セット



デリミタ



* 6 T 4 + *

0



9



セット



★設定終了



日時をスペースで区切る場合はこちら
(そのまま設定終了)
※タブにした後、スペースに戻すには、
巻末付録E 英数メニューを使い、右側の
0、9を2、0で設定して下さい。

第 8 章 メモリモード 設定と使い方

8-1 キーボード配列の設定（キーボード/メモリ共通）

- 1) スキャナをパソコンから取り外して下さい。
- 2) 次のメニューを読み取り、メモリモードに切り替えてください。（又は、**大**ボタン長押しで切替）



- 3) 次の設定メニューを読み取って下さい。初回のみ必要です。

メモ 出荷時は設定済みです。初期化するとキーボード配列 英語になります。出荷時は設定済みです。



8-2 2次元コード日本語データ読取設定（文字コードの設定、キーボード/メモリ共通）

メモ Windows 用設定です。又、2次元コードの日本語文字コードは Shift JIS に対応します。出荷時は設定済みです。初期化すると文字コード US になります。

- 2次元コードが日本語データ（漢字、かな、カナ）を含む場合、**設定開始**→**ケーブル/メモリ 文字コード Shift_JIS**→**設定終了**を読み取って下さい。（アプリケーションによっては日本語入力に対応しない場合があります）



メモ 本体 8M 版は UTF-8 も対応します。（2022 年 4 月頃から出荷）

設定方法は第 15 章 15-3 動作設定 キーボード設定（続き）UTF-8 変換を参照して下さい。

8-3 バーコードを読み取る

- 1) メモリモードになっていることを確認して下さい。メモリならオレンジの LED が点滅しています。
- 2) バーコードを読み取って下さい。ブザーが鳴り、バーコードデータを蓄積します。

8-4 2度読み防止の設定

同じデータを読み取らないように設定できます。

設定開始→**2度読み防止 許可**→**設定終了**を読み取って下さい。（禁止を設定すると同じデータを読みます）



8-5 蓄積データを 1 件消去する

読み間違ったときは、**小**ボタンを押しながら読み取ると、蓄積データからそのデータを 1 件消去します。

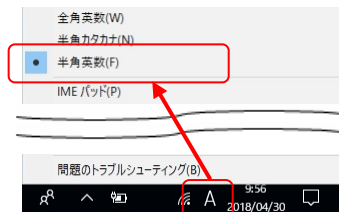
メモ ブザーの意味：1 回の長音、2 回の短音（ピーピピ）→1 件消去した。5 回の短音（ピピピピピ）→該当データが無い。

8-6 蓄積データを転送する

- 1) スキャナを USB ケーブルでパソコンに接続して下さい。
- 2) バーコードデータを入力するアプリ（メモアプリやブラウザ）を立ち上げて下さい。
- 3) バーコードを入力したいところをクリック又はタッチしてカーソルを表示させて下さい。

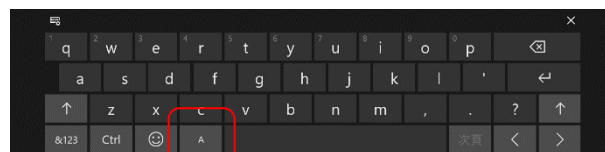
4) (ア) パソコンがデスクトップモードの場合

画面右下の[言語バー]の入力モードを[半角英数]に設定して下さい。[あ]を右クリック→[半角英数]を選択。（あが A になる）



(イ) パソコンがタブレットモードの場合

画面キーボードの[あ]をタッチ→[A]に切り替えて下さい

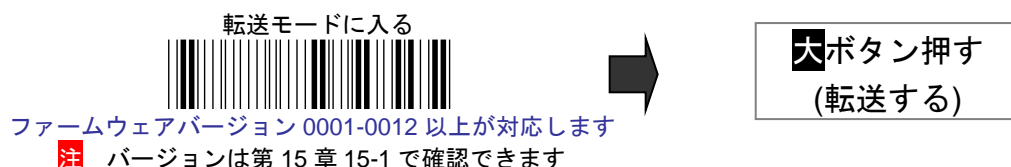


メモ Windows XP は[直接入力]を設定して下さい

- 5) 設定メニュー、又は、ボタン操作で転送モードに入り、データを転送して下さい。

●設定メニューで転送モードに入る

「転送モードに入る」を読み取り**大**ボタンを押して下さい。蓄積データを転送します。



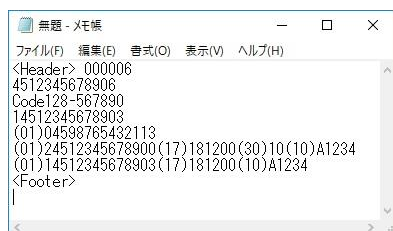
上記メニューを通常バーコードとして読んでしまう場合は下記を読み取り**大**ボタンを押して下さい。



●ボタン操作で転送モードに入る

小ボタンを長押しして下さい。ブザーが3回鳴ります。まだ長押しして下さい。緑のLEDが高速で点滅します。押し続け、長いブザーが1回鳴ったら、ボタンから手を離して下さい。オレンジのランプが点灯します。

大ボタンを押して下さい。蓄積データを転送します。



クリック又はタッチしてカーソルが表示したところにデータが入ります。

困ったときは 改行しない、連続して横に出る、全角になる→第7章 7-5 困ったときは を参照して下さい。

8-7 蓄積データを1件ずつ転送する設定

スキャナが転送モードに入ったとき、**大**ボタンを押すたびに1件ずつデータを転送することが出来ます。

設定開始→**1件ずつ転送**→**設定終了**を読み取って下さい。（すべて転送を設定すると、出荷時の設定に戻ります）



8-8 メモリモードの転送データ形式

蓄積データの転送データ形式は次の通りです。

行	転送する文字	例	説明
先頭行 (1 行目)	ヘッダ、改行注	<Header> . . .	データの開始行を示す文字<Header>と付加情報
2 行目	読み取りデータ、改行注	12345678	出荷時はバーコードデータと改行(Enter)のみ転送します。
残りのデータの行	同上	12345679	同上
最終行	フッタ、改行注	<Footer>	データの終了行を示す文字<Footer>

注 ヘッダとフッタの説明→第 8 章 8-9 ヘッダとフッタを参照

1 件の読み取りデータ

設定	プリアンブル	プレフィックス	日付 (読取日付)	日付と時刻 の間	時刻 (読取時刻)	デリミタ	コード タイプ	コード ID (前)	桁数	GS1 AIM ID	読取データ	(コード ID (後))	サフィ ックス	ポストア ンプル
転送の 初期値	禁止	禁止	禁止		禁止	許可	禁止	禁止	禁止	禁止			禁止	許可
文字の 初期値	なし	なし	YYYY/MM/DD	SP (スペース)	hh:mm:ss	SP (スペース)	(xx.) (文字)	xx (文字)	nnnn (数字)	jxn (文字)			なし	CR LF (Enter)
桁数	1-8	1-8	可変 設定による	1	可変 設定による	1	可変	1-2	4	3	可変 データによる	1-2	1-8	1-8

メモ 第 4 章 4-2-1 読取データ転送形式 と同じ図です。出荷時は二重線の箇所を転送します。

メモ 日付と時刻の位置を読取データの後に設定する場合は 8-10 の設定メニューでデータの位置を後に設定して下さい。

転送例 バーコード 1234567890、4512345678906、ABCD1234 を読み取って蓄積し、転送したときの例です。

```
<Header> 000003 ←ヘッダ
1234567890 ←読み取りデータ
4512345678906 ←同上
ABCD1234 ←同上
<Footer> ←フッタ
```

8-9 ヘッダとフッタ

蓄積データを転送すると、先頭行にヘッダというデータの開始行を示す文字と、最終行にフッタというデータのデータの終了行を示す付加情報を転送します。

転送形式は 8-9-1、8-9-2 の図の通りです。出荷時設定では二重線で示す項目を転送します。

8-9-1 ヘッダの転送形式

設定	ヘッダ	区切文字	ヘッダの日付 (消去日付)	区切文字	ヘッダの時刻 (消去時刻)	区切文字	レコード件数	ポストアンブル 注
転送の初期値	許可	(禁止)	禁止	(禁止)	禁止	(許可)	許可	許可
文字の初期値	<Header>	SP (スペース)	YYYY/MM/DD	SP (スペース)	hh:mm:ss	SP (スペース)	nnnnnn (数字 6 桁)	CR LF (Enter)
桁数	1-16	1	可変 設定による	1	可変 設定による	1	6	1-8

8-9-2 フッタの転送形式

設定	フッタ	区切文字	フッタの日付 (消去日付)	区切文字間	フッタの時刻 (消去時刻)	区切文字	レコード件数	ポストアンブル 注
転送の初期値	許可	(禁止)	禁止	(禁止)	禁止	(禁止)	禁止	許可
文字の初期値	<Footer>	SP (スペース)	YYYY/MM/DD	SP (スペース)	hh:mm:ss	SP (スペース)	nnnnnn (数字 6 桁)	CR LF (Enter)
桁数	1-16	1	可変 設定による	1	可変 設定による	1	6	1-8

8-9-3 ヘッダとフッタ内の付加情報について

ヘッダの日付、ヘッダの時刻、フッタの日付、フッタの時刻

前回、蓄積データをすべて消去した日時です。（読取データを転送した日時ではありません）

レコード件数

蓄積データの件数です。形式は数字(n)6 桁、左側 0 詰めです。例えば 15 件なら 000015 になります。

出荷時、ヘッダのレコード件数は転送が許可になっています。

区切文字

ヘッダとフッタ内の区切文字（スペース、SP）また、ヘッダとフッタ内の区切文字は固定で、変更できません。

それぞれの区切文字の前後の文字を転送する場合、区切文字の SP を転送します。

それぞれの区切文字の前後の文字を転送しない場合、区切文字の SP を転送しません。

注 ポストアンブルは第 4 章 データ転送形式でのポストアンブルと同じ設定です。

メモリモードのポストアンブルは、通常は設定変更しないで下さい。

例 ヘッダの付加情報をすべて転送したときの例です。

```
<Header> 2018/05/13 12:30:21 000003 ←ヘッダ。出荷時は<Header> 000003 を転送します。
1234567890 ←読み取りデータ
4512345678906 ←同上
ABCD1234 ←同上
<Footer> ←フッタ
```

設定例は第 8 章 8-10 を参照して下さい。詳しい設定メニューは第 15 章 15-8 を参照して下さい。

8-10 メモリモードの日時を転送する

このページはメモリモードで蓄積したデータを転送するときの設定です。ケーブルモード→第7章 7-7 BT モード→第9章 9-16

設定例のようにデータを転送するには、スキャナで★印のメニューを読み取って下さい。

メモ データ転送形式の詳細は第4章、第8章 8-8、8-9を参照して下さい。

出荷時の転送形式	設定例
<Header> 000003 1234567890 4512345678906 <Footer>	2018/09/24 (Tab) 17:33:50 (Tab) 1234567890 2018/10/01 (Tab) 09:15:50 (Tab) 4512345678906

上下隣のメニューを間違
って読まないようご注意
下さい。設定後タブ区切
りにならない場合、0,9を
0,0などと読んでいます。
再設定して下さい。隣を



* 印は出荷時設定

設定	禁止(オフ)	許可(オン)
ヘッダの転送	★禁止 * 6 L U 0 *	* 許可 * 6 L U 1 *
フッタの転送	★禁止 * 7 L V 0 *	* 許可 * 7 L V 1 *
日付の転送	* 禁止 * 5 W 9 0 *	★許可 * 5 W 9 1 *
時刻の転送	* 禁止 * 6 W A 0 *	★許可 * 6 W A 1 *
デリミタの転送 日時とデータの 間のキャラクタ	禁止 * 8 W C 0 *	* 許可 * 8 W C 1 *
日時の位置 データの前か後	* 前 * 7 W B 0 *	後 * 7 W B 1 *

日時をタブ(Tab)で
区切る場合はこちら

★区切文字タブ設定

日時と時刻の間

0

9

セット

デリミタ

* 2 W 0 + *

0

9

セット

日時をスペースで区切る場合はこちら
(そのまま設定終了)
※タブにした後、スペースに戻すには、
巻末付録 E 英数メニューを使い、右側
の0,9を2,0で設定して下さい。



8-11 蓄積データをすべて消去する

蓄積データをパソコンに転送した後も、データはスキャナに保存されています。スキャナを操作して蓄積データを消去します。

- 1) スキャナから USB ケーブルを外して下さい。メモリモードになります。オレンジの LED が点滅します。
- 2) 設定メニュー、又は、ボタン操作で蓄積データをすべて消去して下さい。

●設定メニューで消去する

「消去」を読み取って下さい。



上記メニューを通常のバーコードとして読んでしまう場合は下記を読み取って下さい。



●ボタン操作で消去する

メモ メモリモードのときにのみ、ボタン操作で消去できます。

小 ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。オレンジの LED が高速で点滅します。

小 ボタンを長押ししたまま、**大** ボタンを押して下さい。蓄積データをすべて消去します。

8-12 転送したら自動的に消去する設定

蓄積データをパソコンに転送したら、スキャナから蓄積データを自動的に消去する設定ができます。

設定開始 → **蓄積データの自動消去 許可** → **設定終了** を読み取って下さい。(禁止を設定すると消去しません)



メモ 「蓄積データの自動消去 許可」はメモリモードが「標準動作」のときの動作です。マスのストレージに設定したとき自動消去の設定はありません。(第 8 章 8-14 マスのストレージの設定を参照)

8-13 蓄積データ転送のレコード抜け対策

メモリモードで蓄積したデータを転送してレコード抜けが発生する場合（1件のレコードが抜ける）、下記設定メニューを矢印の順で読み取って下さい。1レコード(1件)間の転送時間を長くします。



設定しても改善しない場合

- 設定の 3→0 を大きな数値 3→5(35の意味)や 4→0(40の意味)などで設定し、時間を長くして下さい。
- メモ帳など軽量のソフトに転送して下さい。
- 第8章 8-14 マスストレージの設定の使用をご検討下さい。

8-14 マスストレージの設定

スキャナを「マスストレージ」に設定すると、蓄積データ転送をするとき、スキャナがUSBメモリのようになります。マスストレージでは、蓄積データをテキストファイルとしてパソコンに取り出せます。

設定開始→マスストレージ→設定終了を読み取って下さい。（標準動作を設定すると、元の動作に戻ります）



8-15 マスストレージで蓄積データファイルを取り出す

- 1) スキャナとパソコンを USB ケーブルで接続して下さい。
- 2) 設定メニューかボタンで転送モードに入って下さい。

●設定メニューで転送モードに入る

次の設定メニューを読み取って下さい。



●ボタン操作で転送モードに入る

[小]ボタンを長押しして下さい。

ブザーが3回鳴ります。まだ長押しして下さい。緑のLEDが高速で点滅します。

しばらく待つと、長いブザーが1回鳴ります。緑のLEDが点灯になります。

ボタンから手を離して下さい。転送モードに入りました。オレンジのLEDが点滅します。

- 3) パソコンが「リムーバブルディスク」の画面を開き、テキストファイル「MEMORY.TXT」が現れます。
- 4) テキストファイル「MEMORY.TXT」を、パソコンのお好きな場所にコピーするなどして保存して下さい。
- 5) **[大]**ボタンを押して下さい。スキャナがケーブルスキャナに戻ります。

メモ 自動的にパソコンが画面表示しない場合、パソコンを操作して「リムーバブルディスク」の場所を開いて下さい。
メモ リムーバブルディスク内の「MEMORY.TXT」は書き換えできません。コピーしてご利用下さい。
メモ 万一、リムーバブルディスク内の「MEMORY.TXT」を消去しても、自動的にファイルが作成されます。

8-16 マスストレージのデータを消去する

蓄積データを消去する手順は、標準動作と同じです。第8章 8-11 をお読み下さい。

8-17 マスストレージのデータ形式

テキストファイル「MEMORY.TXT」のデータ形式は固定です。日時は必ずデータの前に付きます。メモリモードの標準動作の付加文字（ヘッダ、フッタ、プリフィックス、サフィックス）は付きません。

データ形式（マスストレージのテキストファイル）

日付(読み取り日付)	日付と時刻の間	時刻(読み取り時刻)	デリミタ	読み取りデータ	ポストアンブル
YYYY/MM/DD	SP (スペース)	hh:mm:ss	SP (スペース)	バーコードデータ	CR,LF (改行)

メモ 日付、時刻、データ間のスペースはタブなどに変更できます。第8章 8-8、8-9、8-10 をお読み下さい。

第9章 BTモード (Bluetooth ワイヤレスモード) 設定と使い方

9-1 ドングル付きセット品の使い方

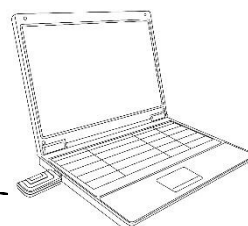
メモ このページはセット品ご購入時の説明です。

注意 初期化した場合、第9章9-2の設定が必要です。

1 パソコンに専用 USB ドングルを取り付ける

専用 USB ドングル A-302 をパソコンの USB ポートに取り付けて下さい。
パソコンが自動で USB ドングルをインストールします。

USB ポート



2 BTモードへ切り替える

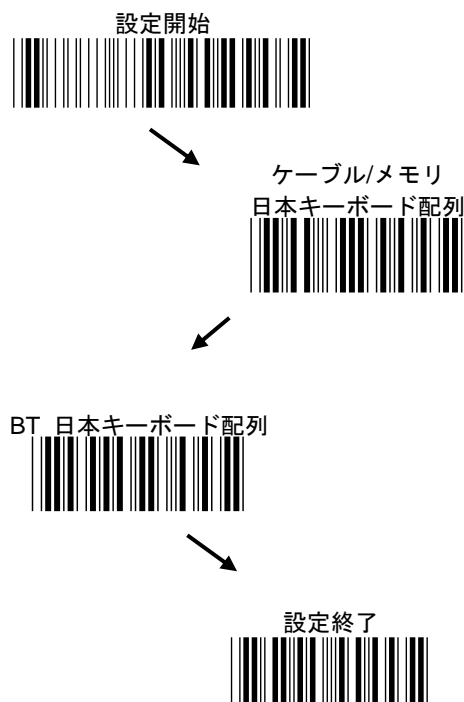
スキャナからケーブルを外し順に読み取って下さい。



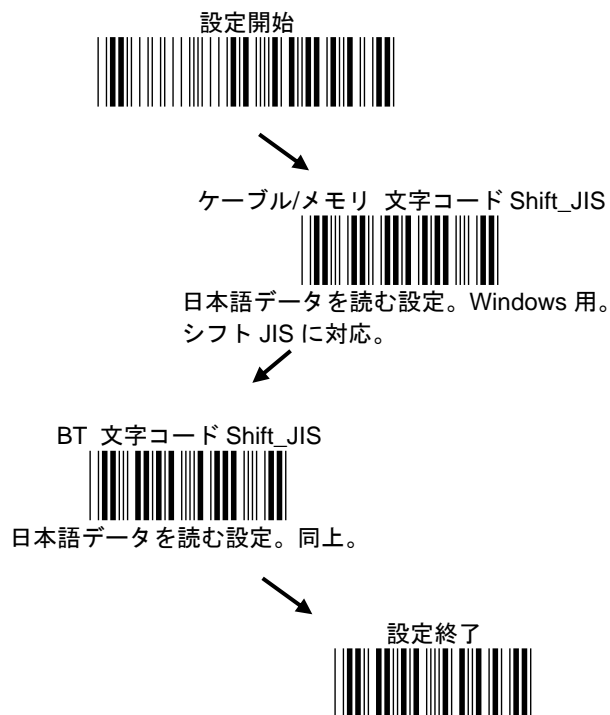
スキャナのブザーが鳴り、
青 LED が点灯したらワイヤレス接続完了です。

3 パソコン向け設定を行う **メモ** 出荷時は設定済みです。

① 次のメニューを順に読み取って下さい



② 日本語(漢字)入りの2次元コードを読むなら設定して下さい
英数データのみなら設定は不要です。



メモ 日本語を読む設定 (文字コード) は Windows 用設定です。又、2次元コードの日本語文字コードは Shift JIS に対応します。出荷時は設定済みです。初期化すると文字コード US になります。アプリケーションによっては日本語入力に対応しない場合があります。

メモ 最新版は UTF-8 も対応します。(2022年4月頃から出荷)
設定方法は第15章 15-3 動作設定 キーボード設定 (続き) UTF-8 変換を参照して下さい。

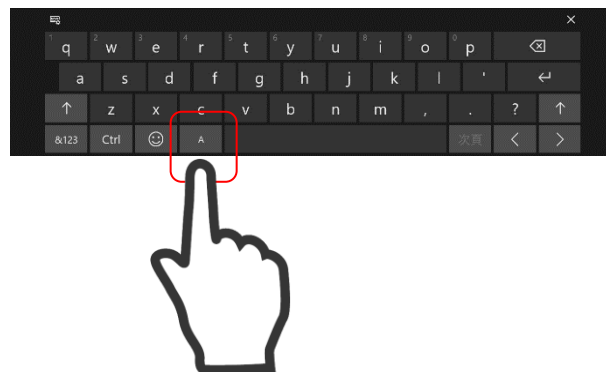
9-1 (続き) ドングル付きセット品の使い方

メモ Windows のバージョンにより画面や設定方法が異なる場合があります。

4 使い方

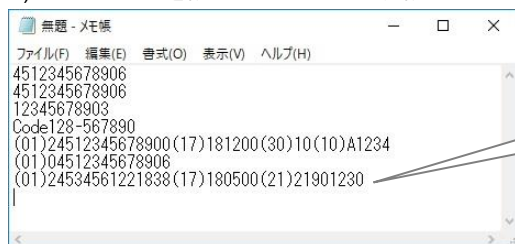
- 1) バーコードデータを入力するアプリ (メモアプリやブラウザ) を立ち上げて下さい。
- 2) バーコードを入力したいところをクリック又はタッチしてカーソルを表示させて下さい。
- 3) (ア) パソコンがデスクトップモードの場合 (イ) パソコンがタブレットモードの場合

画面右下の[言語バー]の入力モードを[半角英数]に設定して下さい。画面キーボードの[あ]をタッチ→[A]に切り替えて下さい。[あ]を右クリック→[半角英数]を選択。(あがAになる)



メモ Windows XP は[直接入力]を設定して下さい

- 4) バーコードを読み取って下さい。読み取りデータを転送します。



クリック又はタッチして
カーソルが表示したところ
にデータが入ります。

メモ スキャナはしばらく時間がたつとスリープします(Bluetooth ワイヤレスを切断します)。
→スリープ時、スキャナの小ボタンまたは大ボタンを押すと、Bluetooth ワイヤレス接続します。

困ったときは (1) 改行しない、連続して横に出る、全角になる→第7章 7-5 困ったときは を参照して下さい。

困ったときは (2) 読み取りデータが桁落ち・文字抜けする→第9章 9-14 BTモード データ転送速度を遅くする設定を参照して下さい。又は、データ入力するアプリやブラウザを変えてご使用下さい。

9-2 専用 USB ドングルとスキャナのペアリング

ご案内 セット品は設定済みの為、この設定は不要です。


初期化した場合などに、設定して下さい。

1 スキャナを設定する


スキャナで上から順に読み取って下さい

BT 接続タイプの設定


設定開始



専用 USB ドングル A-302




設定終了




ドングルの MAC アドレス設定

設定開始

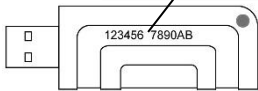


専用 USB ドングル用 MAC アドレス




USB ドングルの半透明のケース越しに表示している文字と同じ文字をメニューから読み取ります。(例) 001C97FF15FC なら 0→0→1→C→9→7→F→F→1→5→F→C と1つずつ読み取ります。


ケース越しの 12 文字




セット




設定終了




英数メニュー




0




1




2




3




4




5




6




7




8




9




A




B




C



D



E



F


2 パソコンに USB ドングルを取り付ける

専用 USB ドングル A-302 をパソコンの USB ポートに取り付けて下さい。


3 BT モードに切り替え、ペアリングする

スキャナから USB ケーブルを外し、次のメニューを読み取って下さい。


設定開始




BT モードへ切替



設定開始



BT ペアリング



しばらく待つとスキャナのブザーが鳴り青色 LED ランプが点灯します。
以上でペアリング完了です。

メモ ペアリング後、第 9 章 9-1 「3 パソコン向け設定を行う」を設定して下さい。

メモ 使い方は、第 9 章 9-1 「4 使い方を」参照して下さい。

メモ スキャナを iPad などとペアリングした後、一度設定したことがある専用 USB ドングルと再びペアリングする場合、「**ドングルの MAC アドレス**」の設定は保存されているので**設定不要**です。
(初期化した場合は設定が必要です)

9-3 iOS デバイス(iPad,iPhone)とスキャナのペアリング・使い方

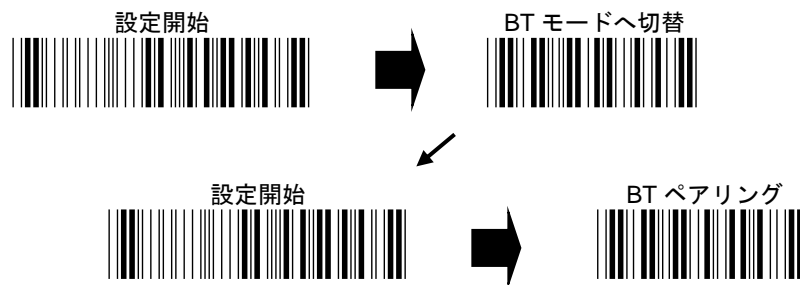
メモ ブザーはオンにしてください。またはバイブレータをオンにしてください。(メニューを読んでいるか確認する為)

1 スキャナを設定し、ペアリングモードにする

①スキャナで順に読み取って下さい

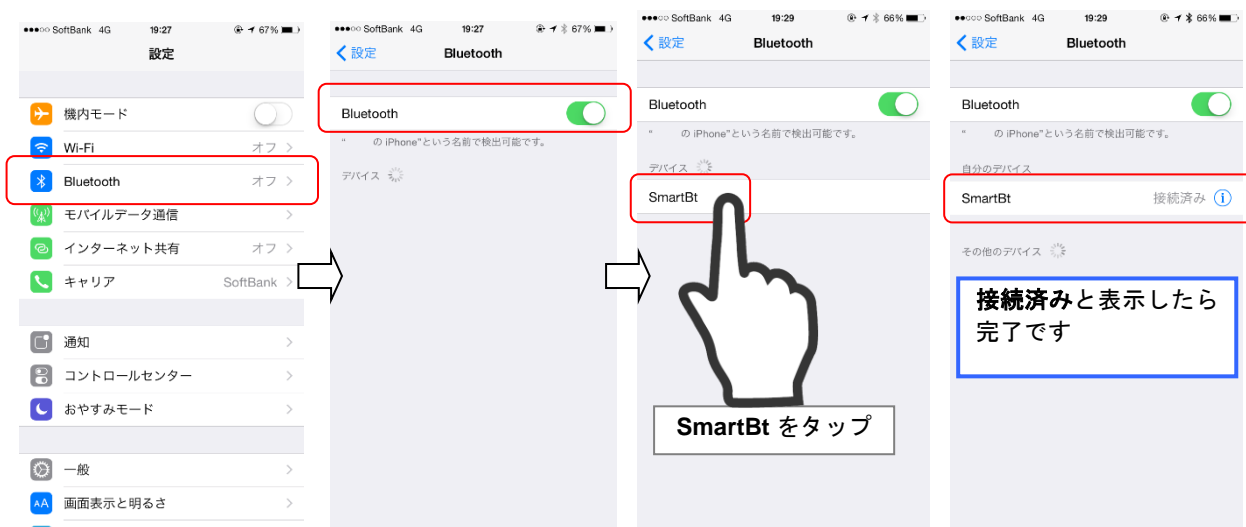


②スキャナからケーブルを外し順に読み取って下さい



2 iOS と Bluetooth ペアリングを行う

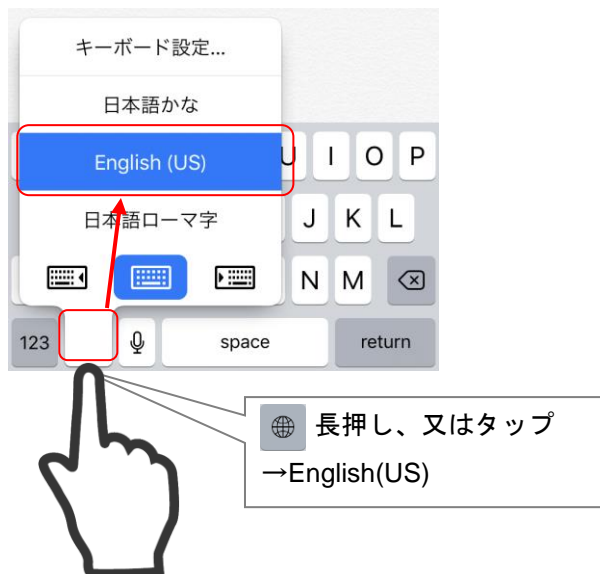
[設定] → [Bluetooth] → [オン]にしてください。→ [SmartBt] をタップします → ブザーが鳴り、青 LED が点灯したら完了



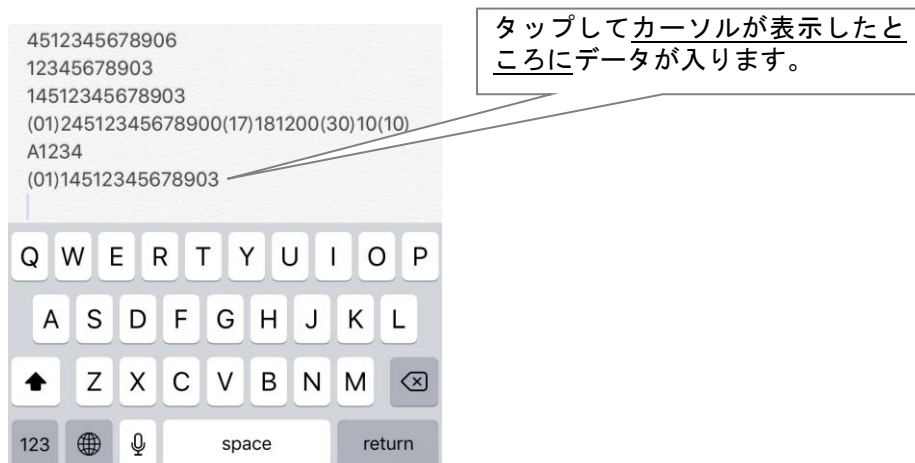
9-3 (続き) iOS デバイス(iPad,iPhone)とスキャナのペアリング・使い方

3 使い方

- 1) バーコードデータを入力するアプリ (メモアプリやブラウザ) を立ち上げて下さい。
- 2) バーコードを入力したいところをタッチしてカーソルを表示させて下さい。
- 3) スキャナの **小** ボタンを 1 回押して下さい。オンスクリーンキーボードが立ち上がります。
- 4) オンスクリーンキーボードの **地球儀** を長押し、又は何度かタップしてキーボードを **English(US)** に設定して下さい。



- 5) バーコードを読み取って下さい。読み取りデータを転送します。



メモ 画面キーボードはスキャナの**小**ボタンでオン/オフして下さい

→iOS はスキャナと Bluetooth 接続中、画面をタップしてもキーボードが出ません

メモ スキャナはしばらく時間がたつとスリープします(Bluetooth 切断します)。

→スリープ時、スキャナの**小**ボタンまたは**大**ボタンを押すと、Bluetooth は接続します。

メモ 手動で Bluetooth を切断できます。

→スキャナの**小**ボタンを長押し→3 回ブザー「ピピピ」が鳴る→すぐボタンをはなす→Bluetooth が切断します。

注意 3 回ブザーが鳴っても押し続けると転送モードに入りますのでご注意下さい。

転送モードに入らない設定が出来ます→第 9 章 9-13 を参照

困ったときは (1) 改行しない、連続して横に出る、全角になる→上記 4)の通り、キーボードを English(US)に設定して下さい。

困ったときは (2) 読み取りデータが桁落ち・文字抜けする→第 9 章 9-14 BT モード データ転送速度を遅くする設定 を参照して下さい。又は、データ入力するアプリやブラウザを変えてご使用下さい。

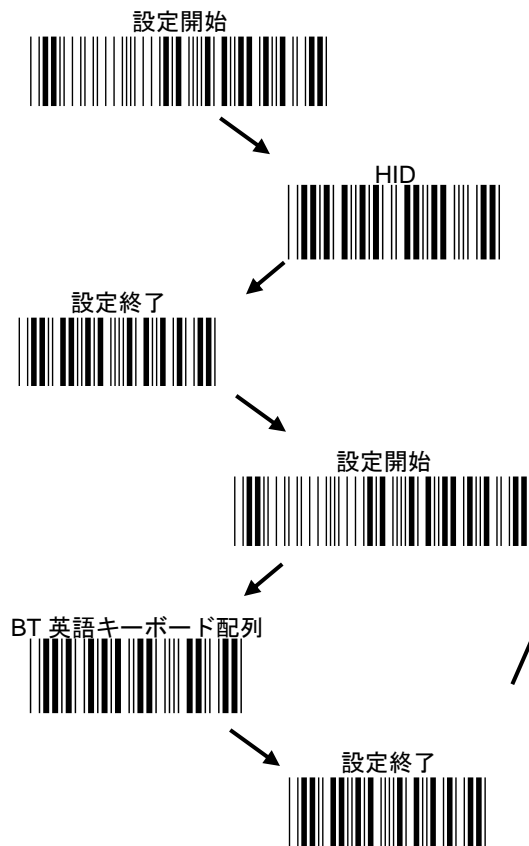
9-4 Android デバイス(タブレット等)とスキャナのペアリング・使い方

注意 Android 4.3 以上推奨。HID 接続となります。Android 2.x は対応しません。SPP 用アプリはありません。

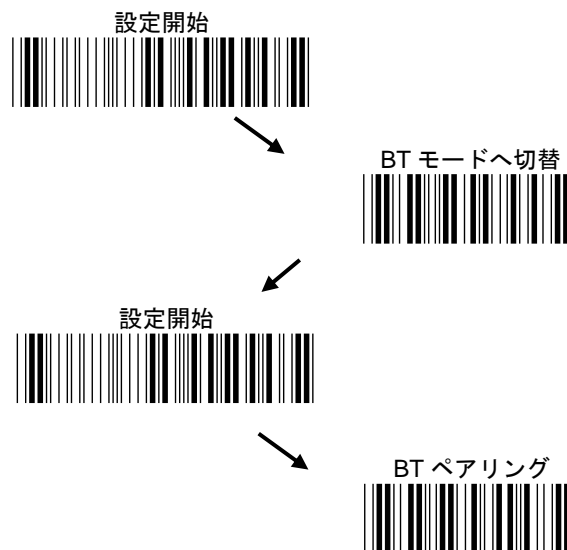
メモ ブザーはオンにしてください。またはバイブレータをオンにしてください。(メニューを読んでいるか確認する為)

1 スキャナを設定し、ペアリングモードにする

①スキャナで順に読み取って下さい



②スキャナからケーブルを外し順に読み取って下さい



2 Android と Bluetooth ペアリングを行う (機器によって画面・設定名は異なります)


[設定] → [Bluetooth] → [オン] → ([デバイスの検索] →) [SmartBt] をタップする → ブザーが鳴り、青 LED が点灯します。

以上でペアリング完了です。



9-4 (続き) Android デバイス(タブレット等) とスキャナのペアリング・使い方

3 使い方 (図は Android 4.3 のタブレットの例。機器により画面・設定名は異なります。)

- 1) バーコードデータを入力するアプリ (メモアプリやブラウザ) を立ち上げて下さい。
- 2) バーコードを入力したいところをタップしてカーソルを表示させて下さい。
- 3) 画面キーボードの  を長押し、又は何度かタップしてキーボードを **英語(米国)QWERTY** に設定して下さい。

例



メモ キーボードが出ないとき、スキャナの **小** ボタン長押しで Bluetooth 切断して下さい

→Android はスキャナと Bluetooth 接続中、画面をタップしてもキーボードが出ません

Bluetooth 切断 (オフ) 方法

→スキャナの **小** ボタンを長押し→3 回ブザー「ピピピ」が鳴る→すぐボタンをはなす→Bluetooth が切断します

注意 3 回ブザーが鳴っても押し続けると転送モードに入りますのでご注意ください。

転送モードに入らない設定が出来ます→第 9 章 9-13 を参照

- 4) バーコードを読み取って下さい。読み取りデータを転送します。



メモ スキャナはしばらく時間がたつとスリープします(Bluetooth 切断します)。

→スリープ時、スキャナの **小** ボタンまたは **大** ボタンを押すと、Bluetooth は接続します。

困ったときは (1) 改行しない、連続して横に出る、全角になる→上記 3) の通り、キーボードを英語(米国)に設定して下さい。

困ったときは (2) 読み取りデータが桁落ち・文字抜けする→第 9 章 9-14 BT モード データ転送速度を遅くする設定 を参照して下さい。又は、データ入力するアプリやブラウザを変えてご使用下さい。

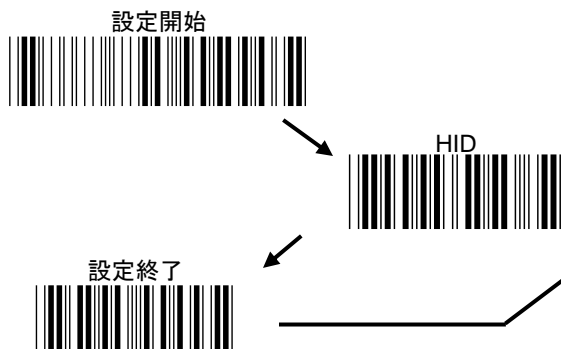
9-5 Window 10 <Bluetooth 対応 PC/タブレット>とスキャナのペアリング・使い方

注意 ドングル付きセット品の説明は本書 9-1、9-2 です。このページはドングル付きセット品の説明ではありません。

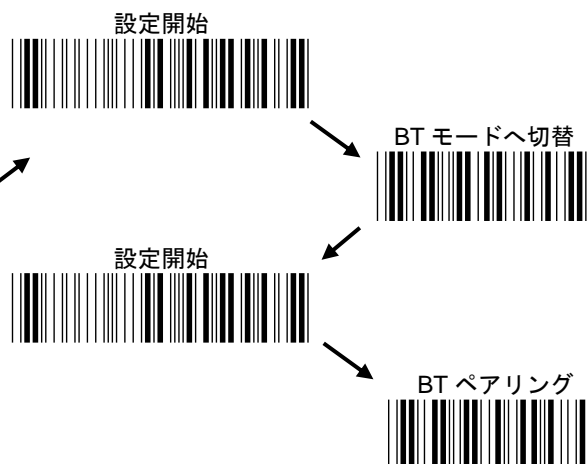
メモ Windows 各種、市販 USB ドングルはこのページで設定して下さい。（画面の表示は異なりますが読み替えて下さい）

1 スキャナを設定し、ペアリングモードにする

①スキャナで順に読み取って下さい

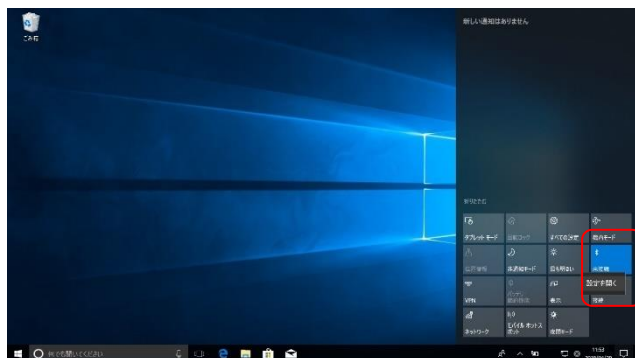


②スキャナからケーブルを外し順に読み取って下さい

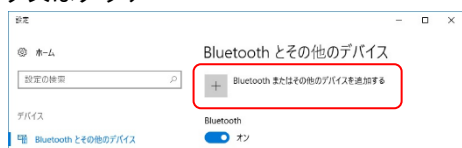


2 Windows10 と Bluetooth ペアリングを行う (OS のバージョンによって画面は異なります)

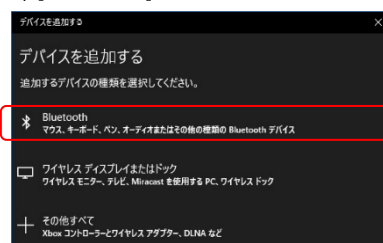
1) [アクションセンター]→[Bluetooth]を右クリック又は長押し→[設定を開く]



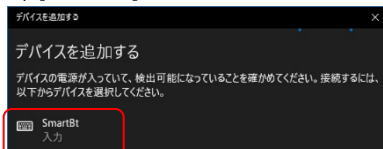
2) [Bluetooth またはその他のデバイスを追加する]をクリック又はタッチ



3) [Bluetooth]をクリック又はタッチ

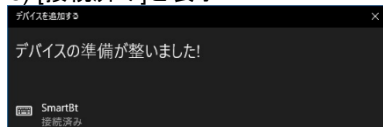


4) [SmartBt]をクリック又はタッチ



※最初「キーボード」と表示した場合、しばらく待つと「SmartBt」に変わります。

5) [接続済み]と表示



ブザーが鳴り、青 LED が点灯します。
以上でペアリング完了です。

3 パソコン向け設定を行う **メモ** 出荷時は設定済みです。

1) 次のメニューを順に読み取って下さい



2) 日本語(漢字)入りの 2 次元コードを読むなら設定して下さい



ご案内 使い方は第 9 章 9-1 ドングル付きセット品「4 使い方」をお読み下さい。

メモ 日本語入力は Windows 用の設定です。アプリによっては対応しない場合があります。

9-6 ペアリングモードに入る方法

ペアリングモードは、設定メニュー読み取りか、ボタン操作で入ることができます。

- 1) スキャナから USB ケーブルを外して下さい。
- 2) スキャナを BT モードに切り替えてください。（第 6 章を参照）
- 2) 設定メニュー、又は、ボタン操作でペアリングモードに入って下さい。

●設定メニューでペアリングモードに入る

次の設定メニューを読み取って下さい。



●ボタン操作でペアリングモードに入る

小ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。青の LED が高速で点滅します。

小ボタンを長押ししたまま、**大**ボタンを押して下さい。ペアリングモードに入ります。

9-7 ペアリング解除を防ぐ設定

スキャナのボタン操作ミスでペアリングモードに入ってしまうと、改めて PC 側もペアリングを行わないとペアリングが解除されます。**小**ボタン長押し+**大**ボタンによってペアリングモードに入ることを防ぐには、**設定開始**→**BT 小ボタン長押し+大ボタン 禁止**→**設定終了**を読み取って下さい。（出荷時は許可です）



メモ 禁止を設定しても、設定メニューの読み取りでペアリングモードに入る事ができます。

9-8 モード切替を防ぐ設定

スキャナの**大**ボタンを長押しし続けると、BT モードからメモリモードに切り替わります。**大**ボタン長押しによるモード切替を防ぐには、モード固定して下さい。**設定開始**→**ケーブル+BT**→**設定終了**を読み取って下さい。詳しくは第 6 章 6-5 を参照して下さい。



9-9 Bluetooth を切断する

ボタン操作で Bluetooth を切断することができます。Bluetooth 機器のキーボードが使用できない場合などは切断して下さい。

●ボタン操作で Bluetooth を切断する

小ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。青の LED が高速で点滅します。

ボタンを離して下さい。

スキャナが Bluetooth を切断し、オフになります。

メモ ペアリングの設定は保持されています。小ボタン、又は、**大**ボタンを押すと電源が入り、Bluetooth 接続します。

9-10 USB 充電しながら BT モードを使う設定

モードの固定で、「BT」「メモリ/BT」（ケーブルモードを使用しない設定）を設定すると、USB ケーブルで充電しながらワイヤレススキャナとして使用できます。

設定開始 → BT（またはメモリ/BT） → 設定終了 を設定して下さい。



メモ 満充電（パワーLED、赤が2秒に1回の点滅）になったら USB ケーブルを外して下さい。
出荷時の状態に戻すには第 6 章 6-5 設定開始 → ケーブル+メモリ+BT(出荷時) → 設定終了 を設定して下さい。

9-11 Bluetooth 接続時間の設定

出荷時、BT モードは何も操作しないと 90 秒後に Bluetooth を切断し、スリープします。

Bluetooth 接続時間は長くすることができます。下記の設定メニューを順に読み取って下さい。

メモ 設定の数字は 10 秒単位です。出荷時の値 9（＝90 秒）、最小値 3（＝30 秒）、最大値 255（＝2550 秒＝42 分 30 秒）
メモ 時間を長く設定すると、スキャナと機器のバッテリー消費が早くなります。



9-12 メモリモードの蓄積データを BT モードで転送する

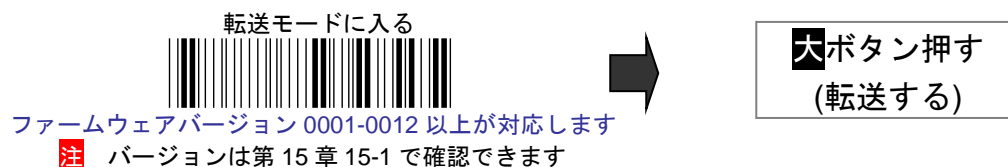
メモリモードで蓄積したデータを、パソコンに Bluetooth ワイヤレスで転送することができます。

メモ モード固定の設定で、メモリを使えないモードを設定している場合は使用できません。

- 1) スキャナから USB ケーブルを外して下さい。
- 2) スキャナを BT モードに切り替えてください。（第 6 章を参照）
- 2) 設定メニュー、又は、ボタン操作で転送モードに入って下さい。

●設定メニューで転送モードに入る

「転送モードに入る」を読み取り **大** ボタンを押して下さい。蓄積データを転送します。



上記メニューを通常バーコードとして読んでしまう場合は下記を読み取り **大** ボタンを押して下さい。



●ボタン操作で転送モードに入る

小 ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。まだ長押しして下さい。青の LED が高速で点滅します。

しばらく待つと、長いブザーが 1 回鳴ります。青の LED が点灯になります。

ボタンから手を離して下さい。オレンジのランプが点灯します。転送モードに入りました。

大 ボタンを押して下さい。蓄積データを転送します。

9-13 BT モードで転送モードに入らない設定

BT モードのとき、スキャナの **小** ボタンを長押しし続けると、転送モードに入ります。操作ミスで **小** ボタン長押しによって転送モードに入ることを防ぐには、**設定開始** → **BT 小ボタン長押し 禁止** → **設定終了** を設定して下さい。



メモ 禁止に設定した後も、ケーブルモードでは **小** ボタンを長押しし続けると転送モードに入ることができます。

9-14 BTモード データ転送速度を遅くする設定（桁落ち、文字抜け対策）

BTモードで読み取りデータの文字が抜ける場合、矢印の順でメニューを読み取って下さい。



メモ 桁落ちが改善しない場合、上記の「2→0」の箇所を、下記の数字メニューを使って、大きな数字を読み取って下さい。数字が大きいくほど、転送速度が遅くなります。例えば、5→0と読み取って下さい。最小値=0、最大値=255



9-15 BT モード(Bluetooth ワイヤレス)の改行設定を変更する

- ・ 出荷時のスキャナは読取データの終端に Enter（エンター、改行）が付きます。
- ・ 読取データの終端を Tab（タブ）、または無しに変更する場合は、スキャナで下記の設定メニューを上から順に読み取り、設定を変更して下さい。

メモ ケーブルモード(USB ケーブル接続時)の改行設定は第 7 章 7-6 を参照して下さい。

1. 設定開始



2. お選び下さい（上から順に読み取る）

読取データ+Enter(改行) (出荷時設定)	読取データ+Tab(タブ)	読取データ+無し(データのみ)
(BT)ポストアンブル 許可 * 2 Z L 1 *	(BT)ポストアンブル 許可 * 2 Z L 1 *	(BT)ポストアンブル 禁止 * 2 Z L 0 *
(BT)ポストアンブル データ * G 0 0 + *	(BT) ポストアンブル データ * G 0 0 + *	
0	0	
D	9	
セット	セット	

3. 設定終了



メモ 詳しくは「第 14 章 設定の方法」「第 15 章 設定メニュー」をお読み下さい。

9-16 BT モードで日時を転送する

このページは Bluetooth ワイヤレスで読むときの設定です。ケーブルモード→第7章 7-7 メモリモード→第8章 8-10

設定例のように読取データを転送するには、スキャナで★印のメニューを読み取って下さい。

メモ 転送形式の詳細は第4章 読取データ転送形式を参照して下さい。

出荷時の転送形式

1234567890
4512345678906
ABCD1234

設定例

2018/09/24 (Tab) 17:33:50 (Tab) 1234567890
2018/10/01 (Tab) 09:15:50 (Tab) 4512345678906
2018/11/15 (Tab) 11:23:45 (Tab) ABCD1234

上下隣のメニューを間違
って読まないようご注意
下さい。設定後タブ区切
りにならない場合、0、9を
0、0などと読んでいます。
再設定して下さい。

★設定開始



* 印は出荷時設定

設定	禁止(オフ)	許可(オン)
日付の転送	<p>* 禁止</p> <p>* 1 Z T 0 *</p>	<p>★許可</p> <p>* 1 Z T 1 *</p>
時刻の転送	<p>* 禁止</p> <p>* 2 Z U 0 *</p>	<p>★許可</p> <p>* 2 Z U 1 *</p>
デリミタの転送 日時とデータの 間のキャラクタ	<p>禁止</p> <p>* 4 Z W 0 *</p>	<p>* 許可</p> <p>* 4 Z W 1 *</p>
日時の位置 データの前か後	<p>* 前</p> <p>* 3 Z V 0 *</p>	<p>後</p> <p>* 3 Z V 1 *</p>

日時をタブ(Tab)で
区切る場合はこちら

★区切文字タブ設定

日付と時刻の間



日時をスペースで区切る場合はこちら
(そのまま設定終了)

※タブにした後、スペースに戻すには、
巻末付録 E 英数メニューを使い、右側
の0、9を2、0で設定して下さい。

★設定終了



第 10 章 メンテナンス

本製品は特別なメンテナンスが不要ですが、定期的に清掃・点検を行うことで高い性能を保つことができます。

読み取り窓の清掃



ご注意



読み取り窓を清掃するときは、傷つけないように注意してください。読み取り窓が傷つくと読み取らなくなります。

読み取り窓が汚れていると、バーコードの読み取り性能が低下するなどの影響が生じます。ほこりや汚れがついている場合は柔らかい布やティッシュを水または薄めた中性洗剤で湿らせて、よく絞ってから読み取り窓を拭いてください。

読み取り窓を拭くときは下記のことをお守り下さい。

- ・ **強くこすらない**
→窓が傷つき読み取らなくなります。
- ・ 研磨剤を使ったり、研磨する布類を使ったりしない
→窓が傷つき読み取らなくなります。
- ・ 有機溶剤を使用しない
→窓が溶けて読み取らなくなります。
- ・ 水やその他の液体を直接窓に吹きかけない
→本製品は防水ではありません。液体が侵入し故障の原因になります。

コネクタ・ケーブルの点検

コネクタ・ケーブルが破損・故障していると、正常に動作しません。

定期的の下記のことを確認して下さい。

- ・ コネクタが破損・変形していないか確認する
→コネクタが異常だと動作しなくなります。
- ・ ケーブルがねじれていたり、物が乗っていたり、挟まったりしていないか確認する。
→ケーブルが断線し、動作しなくなります。

第 11 章 困ったときは・よくある質問

Q:バーコードデータ中の記号 * () + : が正しく転送しない。他の記号になる

A: 日本語の Windows パソコンであれば、次の設定をして下さい。第 15 章 15-3 動作設定 キーボード設定 **設定開始** → **(ケーブル/メモリ) キーボード配列 日本キーボード** → **(BT) キーボード配列 日本キーボード** → **設定終了**

Q:NW7 のスタート/ストップキャラクタ A を転送したい

A: 次の設定をして下さい。第 15 章 15-17 読取設定 Codabar / NW7 **設定開始** → **スタート/ストップ転送 許可** → **設定終了**

Q:Code 39 のスタート/ストップキャラクタ * を転送したい

A: 次の設定をして下さい。第 15 章 15-18 読取設定 Code 39 **設定開始** → **スタート/ストップ転送 許可** → **設定終了**

Q:JAN-13(13桁)が12桁で転送してしまう 先頭0が出ない

A: そのバーコードの1桁目が0の場合、バーコードタイプUPC-Aに対し、次の設定をして下さい。

第 15 章 15-27 読取設定 UPC-A **設定開始** → **UPC-A を EAN-13 に変換 許可** → **設定終了**

Q:GS1-128、GS1 データバー、GS1 DataMatrix の AI のカッコ()を出したい

A: 次の設定をして下さい。第 15 章 15-42 読取設定 GS1-128、GS1 データバー、GS1 DataMatrix の AI カッコ追加 / 区切り FNC1 置換 **設定開始** → **AI カッコ()追加 許可** → **設定終了**

Q:バーコードデータ内の制御文字 (HT や CR) を転送したい

A: 次の設定をして下さい。

第 15 章 15-16 動作設定 アルファベット大文字小文字の変換/制御文字 **設定開始** → **(ケーブル) 制御文字の転送 許可** → **(メモリ) 制御文字の転送 許可** → **(BT) 制御文字の転送 許可** → **設定終了**

但し、USB HID、Bluetooth HID(及びドングル A-302)では、制御文字は本製品が割り当てたキーボード上のキーに変換して転送します。制御文字とキーの割り当ては巻末付録 D ASCII コード表を参照して下さい。

Q:データの最後に転送する Enter(エンター、改行)を Tab(タブ)や無しに変更したい

A:ケーブルモードなら第 7 章 7-6 7-6 ケーブルモードの改行設定を変更する を参照して下さい。

BT モードなら第 9 章 9-15 BT モード(Bluetooth ワイヤレス)の改行設定を変更する を参照して下さい。

詳しくは第 14 章 14-7 「読み取りデータの前後に文字やキーを転送する設定」をお読み下さい。

Q:Excel に転送すると E+12 などと表示する、最初の 0 が消える

A:Excel でデータを入力する列を選択→右クリック→セルの書式設定→表示形式→文字列→OK を設定して下さい

Q:Enter(改行)の設定をしたが改行しない、データが横につながって出る

A:第 7 章 7-5 困ったときは データ転送すると改行しない、横に連続で出る、全角になるとき を参照して下さい。

第 12 章 仕様

仕様表

読み取り 1 次元バーコード	Codabar (NW7), Code 11, Code 128, Code 39 ,Code 32(PARAF), Code 93, EAN/JAN-13, EAN/JAN 8, UPC-A, UPC E,UPC-A/EAN-13 with Extended coupon Code, Coupon GS1,Interleaved 2 of 5, Code 2 of 5(Straight 2 of 5 Industrial),IATA Code 2 of 5,Matrix 2 of 5,MSI,GS1 データバー (標準型,限定型,拡張型), EAN-UCC Emulation
読み取り 2 次元バーコード	Codablock A, Codablock F, PDF417, MicroPDF417,GS1 合成シンボル QR Code , Data Matrix,A MaxiCode, ztec Code, Chinese Sensible(Han Xin) code
読み取り郵便コード	日本郵便コード、各国郵便コード
スキャンエンジン	受光:CMOS イメージセンサ 640 x 480pix 光源:白色 LED(照明) 赤色 LED(エイマー) スキャン速度:30 フレーム/秒 読取距離:50-250mm(Code 39,PCS0.9,細バー0.4mm) スキャン角度: チルト 360°、ピッチ±45°、スキュー±45° PCS:0.3 以上 読取深度: 最短 5cm、最長 25cm (PCS 0.9,Code39,15.6mil=0.39mm)
バッテリー	リチウムポリマーバッテリー 3.7V,1100mAH (USB ポートで充電)
読取回数(満充電から)	(5 秒に 1 回の読み取り、バイブレータ・オン、ブザーありで) メモリモード 14,000 回 Bluetooth モード 9,600 回 (HID)、9,000 回 (SPP)
メモリ	8MB (13 万件蓄積、JAN13 で) ※
ボタン	2 (スキャン/モード切替、消去/転送、ペアリング)
消費電流	400mA 以下(動作)、25mA(待機)
USB	USB mini B コネクタ(メス) クラス:USB HID,USB バーチャル COM,マストレージ
無線	Bluetooth Version 2.1,Class1, 対応プロファイル : HID,iOS 用 HID, SPP(Slave,Master) 周波数帯域 2.4GHz,想定干渉距離 100m
LED 通知	3(緑: 読み取り、オレンジ:転送モード、赤:バッテリー通知、青:Bluetooth ワイヤレス通知)
ブザー通知	あり (音量 4 段階またはブザー禁止に設定可能)
バイブレータ	あり (禁止に設定可能)
動作温度/保管温度/湿度	-10℃~40℃ / -40℃~60℃ /95%RH 以下(結露なきこと)
防塵防滴	IP54
周囲照度	100,000lux
衝撃	1.2m の高さからコンクリート面に自然落下後、正常動作
寸法	135 (L) x 41 (W)x 29.9 (H)mm
重量	87g
安全規格	FCC class B,CE,VCCI class B
法令等	技術適合認証(無線モジュール P120) ,RoHS
動作確認 OS	Windows11※,Windows 10, Windows 8.1, Windows 7, Windows XP (各 32bit,64bit)

注意 バーコードの品質に影響を受ける為、すべての読み取りを保証するものではありません。

注意 すべての機器との接続動作を保証するものではありません。

※8MB の本体でも、読取データの保存領域は 4MB です。残りはシステム用の領域です。そのため蓄積データの件数は 4MB の本体と同じ件数です。

※Windows 11 標準アプリのメモ帳では 2 次元コードの日本語データ入力を行えません(2022 年 5 月現在)

第 13 章 出荷時の初期値一覧

初期値の一覧

設定の初期値です。第 15 章 15-1 の設定メニュー **設定開始**→**初期化**を読み取り、初期化を行うと、設定が初期値になります。

メモ 一部の設定は弊社出荷時に設定変更しています。弊社出荷時の設定値は**出荷時設定**として注記します。初期化を行うと、弊社出荷時の設定は初期値に設定されます。

初期値の一覧表

モード	キーボード配列	初期値	参照 章
ケーブル/メモリ	キーボード配列	英語キーボード (出荷時設定 日本キーボード)	15-3
BT	キーボード配列	英語キーボード (出荷時設定 日本キーボード)	15-3

モード	出力文字コード	初期値	参照 章
ケーブル/メモリ	出力文字コード	US(英数) (出荷時設定 Shift_JIS)	15-3
BT	出力文字コード	US(英数) (出荷時設定 Shift_JIS)	15-3

モード	UTF-8変換※	初期値	参照 章
ケーブル	UTF-8変換	禁止	15-3
メモリ	UTF-8変換	禁止	15-3
BT	UTF-8変換	禁止	15-3

※UTF-8 変換は最新版が対応します

モード	Caps Lock	初期値	参照 章
ケーブル/メモリ	Caps Lock	オート	15-3
BT	Caps Lock	Caps Lock オフ	15-3

モード	数字データ	初期値	参照 章
ケーブル/メモリ	数字データ	フルキーとしてデータを転送	15-3
BT	数字データ	フルキーとしてデータを転送	15-3

モード	ギャップ	初期値	参照 章
ケーブル/メモリ	桁間隔	0 (桁)	15-3
	1文字間の転送時間	0 (1msec)	15-3
	1レコード間の転送時間	0 (10msec)	15-3
BT	桁間隔	0 (桁)	15-3
	1文字間の転送時間	0 (1msec)	15-3
	1レコード間の転送時間	0 (10msec)	15-3

モード固定	初期値	参照 章
スキャナのモード選択	ケーブル+メモリ+BT	15-4

モード	小ボタンの設定	初期値	参照 章
ケーブル	蓄積データの転送モードに入る	許可	15-5
メモリ	蓄積データを1件消去する	許可(許可に固定)	15-5
BT	蓄積データの転送モードに入る	許可	15-5

モード	小ボタン長押し+大ボタンの設定	初期値	参照 章
ケーブル	充電オン/オフ	許可	15-5
メモリ	蓄積データをすべて消去する	許可	15-5
BT	ペアリングモードに入る	許可	15-5

初期値の一覧表(続き)

モード	スキャナ本体の日時設定	初期値	参照 章
すべて	日時の設定	2013/01/01 00:00:00 (開封時すすんでいる場合あり)	15-6
	日付の区切文字	/ (設定値2F、スラッシュ)	15-6
	時刻の区切文字	: (設定値3A、コロン)	15-6

メモ 初期化を行っても日時（タイマー）は初期化されません。区切文字は初期化されます。

モード	日付の形式	初期値	参照 章
すべて	日付の形式	YYYYMMDD	15-6

モード	時刻の形式	初期値	参照 章
すべて	時刻の形式	hhmmss	15-6

モード	日時の転送	初期値	参照 章
ケーブル	日付の転送	禁止	15-7
	時刻の転送	禁止	15-7
	日付と時刻の間のキャラクタ	SP (設定値20)	15-7
	デリミタの転送	禁止	15-7
	デリミタのキャラクタ	SP (設定値20)	15-7
	日時の位置	データの前	15-7
メモリ	日付の転送	禁止	15-7
	時刻の転送	禁止	15-7
	日付と時刻の間のキャラクタ	SP (設定値20)	15-7
	デリミタの転送	禁止	15-7
	デリミタのキャラクタ	SP (設定値20)	15-7
	日時の位置	データの前	15-7
BT	日付の転送	禁止	15-7
	時刻の転送	禁止	15-7
	日付と時刻の間のキャラクタ	SP (設定値20)	15-7
	デリミタの転送	禁止	15-7
	デリミタのキャラクタ	SP (設定値20)	15-7
	日時の位置	データの前	15-7

モード	メモリモードの動作	初期値	参照 章	
メモリ	転送タイプ	標準動作	15-8	
メモリ/BT	蓄積データの転送単位	すべて転送	15-8	
	転送モードの待ち時間	30(sec)	15-8	
	蓄積データの自動消去	禁止	15-8	
メモリ	ヘッダの転送	許可	15-8	
	フッタの転送	許可	15-8	
	ヘッダ内の文字の転送	<Header>の転送	許可	15-8
		<Header>の文字変更	<Header>	15-8
		ヘッダの日付の転送	禁止	15-8
		ヘッダの時刻の転送	禁止	15-8
		レコード件数の転送	許可	15-8
	フッタ内の文字の転送	<Footer>の転送	許可	15-8
		<Footer>の文字変更	<Footer>	15-8
		フッタの日付の転送	禁止	15-8
フッタの時刻の転送		禁止	15-8	
レコード件数の転送		禁止	15-8	

初期値の一覧表(続き)

モード	BTモードの動作	初期値	参照 章	
BT	Bluetooth接続タイプ	(N/A) (出荷時設定 リーダー単品→iOS、セット品→A-302)	15-9	
	MACアドレス	SPP Master 用	000000000000	15-9
		A-302 専用 Dongle 用	000000000000 (出荷時設定 セット品→同梱の A-302 の 12 桁のアドレス)	15-9
	Slave/Master用PINコード	1234	15-9	
	通信時間	ペアリングの時間	90 (1sec)	15-9
		Bluetooth 接続の時間	9 (10sec)	15-9
	スキャナの表示名	SmartBt	15-9	

モード	スキャンモード	初期値	参照 章
ケーブル	スキャンモード	グッドリードオフ	15-10
メモリ	スキャンモード	グッドリードオフ	15-10
BT	スキャンモード	グッドリードオフ	15-10

モード	エイマーの点灯時間	初期値	参照 章
ケーブル	エイマーの点灯時間	10 (1sec)	15-10
メモリ	エイマーの点灯時間	10 (1sec)	15-10
BT	エイマーの点灯時間	10 (1sec)	15-10

モード	読み取り対象	初期値	参照 章
ケーブル	読み取り対象	通常	15-10
メモリ	読み取り対象	通常	15-10
BT	読み取り対象	通常	15-10

モード	白色照明ライトの消灯/点灯	初期値	参照 章
すべて	白色照明ライト の消灯/点灯	点灯	15-10

モード	エイマーの消灯/点滅/点灯	初期値	参照 章
すべて	エイマーの消灯/点滅/点灯	点灯	15-10

モード	2度読み防止	初期値	参照 章
メモリ	2度読み防止	禁止	15-10

初期値の一覧表(続き)

モード	センタリング	初期値	参照 章	
すべて(ケーブル/メモリ/BT)	センタリング	禁止	15-10	
	センタリングの範囲	上	40	15-10
		下	60	15-10
		左	40	15-10
		右	60	15-10

モード	アイドルモードになる時間	初期値	参照 章
メモリ	アイドルモードになる時間	15(1sec)	15-11
BT	アイドルモードになる時間	15(1sec)	15-11

モード	スタンバイモードになる時間	初期値	参照 章
メモリ	スタンバイモードになる時間	3(10sec)	15-11
BT	スタンバイモードになる時間	9(10sec)	15-11

モード	ブザーの音量	初期値	参照 章
すべて	システムのブザー	最大	15-12
ケーブル	読み取り	最大	15-12
	警告	最大	15-12
	機能操作	最大	15-12
メモリ	読み取り	最大	15-12
	警告	最大	15-12
	機能操作	最大	15-12
BT	読み取り	最大	15-12
	警告	最大	15-12
	機能操作	最大	15-12

モード	バイブレータの禁止と許可	初期値	参照 章
すべて	システムのバイブレータ	禁止	15-13
ケーブル	読み取り	許可 (出荷時設定 禁止)	15-13
	警告	禁止	15-13
	機能操作	禁止	15-13
	バイブの長さ	5 (10msec)	15-13
メモリ	読み取り	許可 (出荷時設定 禁止)	15-13
	警告	禁止	15-13
	機能操作	禁止	15-13
	バイブの長さ	5 (10msec)	15-13
BT	読み取り	許可 (出荷時設定 禁止)	15-13
	警告	禁止	15-13
	機能操作	禁止	15-13
	バイブの長さ	5 (10msec)	15-13

初期値の一覧表(続き)

モード	プリアンブル/プリフィックス/サフィックス/ポストアンブル	初期値	参照 章
ケーブル	プリアンブルの転送	禁止	15-14
	プリアンブル データ	(なし)	15-14
	プリフィックスの転送	禁止	15-14
	プリフィックス データ	(なし)	15-14
	サフィックスの転送	禁止	15-14
	サフィックス データ	(なし)	15-14
	ポストアンブルの転送	許可	15-14
	ポストアンブル データ	CR LF (設定値 0D 0A)	15-14
メモリ	プリアンブルの転送	禁止	15-14
	プリアンブル データ	(なし)	15-14
	プリフィックスの転送	禁止	15-14
	プリフィックス データ	(なし)	15-14
	サフィックスの転送	禁止	15-14
	サフィックス データ	(なし)	15-14
	ポストアンブルの転送	許可	15-14
	ポストアンブル データ	CR LF (設定値 0D 0A)	15-14
BT	プリアンブルの転送	禁止	15-14
	プリアンブル データ	(なし)	15-14
	プリフィックスの転送	禁止	15-14
	プリフィックス データ	(なし)	15-14
	サフィックスの転送	禁止	15-14
	サフィックス データ	(なし)	15-14
	ポストアンブルの転送	許可	15-14
	ポストアンブル データ	CR LF (設定値 0D 0A)	15-14

モード	コードタイプ/コードID/GS1 AIM ID/桁数	初期値	参照 章
ケーブル	コードタイプの転送	禁止	15-15
	コードIDの転送	禁止	15-15
	コードIDの位置	前	15-15
	桁数の転送	禁止	15-15
メモリ	コードタイプの転送	禁止	15-15
	コードIDの転送	禁止	15-15
	コードIDの位置	前	15-15
	桁数の転送	禁止	15-15
BT	コードタイプの転送	禁止	15-15
	コードIDの転送	禁止	15-15
	コードIDの位置	前	15-15
	桁数の転送	禁止	15-15

初期値の一覧表(続き)

モード	アルファベット大文字小文字の変換	初期値	参照 章
ケーブル	アルファベット大文字小文字の変換	変換しない	15-16
メモリ	アルファベット大文字小文字の変換	変換しない	15-16
BT	アルファベット大文字小文字の変換	変換しない	15-16

モード	制御文字の転送	初期値	参照 章
ケーブル	制御文字の転送	禁止	15-16
メモリ	制御文字の転送	禁止	15-16
BT	制御文字の転送	禁止	15-16

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読取設定		初期値	参照 章	
Codabar / NW7	読み取り	許可	15-17	
	スタート/ストップ転送	禁止	15-17	
	チェックキャラクタ確認 (MOD16)	禁止	15-17	
	連結機能	禁止	15-17	
	連結待ち時間	800(msec)	15-17	
	最小読取桁数	4	15-17	
	最大読取桁数	60	15-17	
	一致回数	0	15-17	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-17	
	データの削除	前方から削除	0	15-17
		後方から削除	0	15-17
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-17
		挿入データ2の位置	0	15-17
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-17
		挿入データ2	(なし)	15-17
	コードID	a (設定値 61)	15-17	

Code 39	読み取り	許可	15-18	
	スタート/ストップ転送	禁止	15-18	
	チェックキャラクタ確認	禁止	15-18	
	Code 39の形式	標準	15-18	
	最小読取桁数	0	15-18	
	最大読取桁数	48	15-18	
	一致回数	0	15-18	
	Code 32で読み取り	禁止	15-18	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-18	
	データの削除	前方から削除	0	15-18
		後方から削除	0	15-18
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-18
		挿入データ2の位置	0	15-18
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-18
		挿入データ2	(なし)	15-18
	コードID	Code39	b (設定値 62)	15-18
Code32		< (設定値 3C)	15-18	

Interleaved 2 of 5 (ITF)	読み取り	許可	15-19	
	チェックデジット確認	禁止	15-19	
	最小読取桁数	4	15-19	
	最大読取桁数	80	15-19	
	一致回数	0	15-19	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-19	
	データの削除	前方から削除	0	15-19
		後方から削除	0	15-19
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-19
		挿入データ2の位置	0	15-19
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-19
		挿入データ2	(なし)	15-19
	コードID	e (設定値 65)	15-19	

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読取設定		初期値	参照 章	
NEC 2 of 5	読み取り	許可	15-20	
	チェックデジット確認	禁止	15-20	
	最小読取桁数	4	15-20	
	最大読取桁数	80	15-20	
	一致回数	0	15-20	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-20	
	データの削除	前方から削除	0	15-20
		後方から削除	0	15-20
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-20
		挿入データ2の位置	0	15-20
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-20
		挿入データ2	(なし)	15-20
コードID	Y(設定値 58)	15-20		

Code 93	読み取り	許可	15-21	
	連結機能	禁止	15-21	
	最小読取桁数	0	15-21	
	最大読取桁数	0	15-21	
	一致回数	0	15-21	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-21	
	データの削除	前方から削除	0	15-21
		後方から削除	0	15-21
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-21
		挿入データ2の位置	0	15-21
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-21
		挿入データ2	(なし)	15-21
コードID	i(設定値 68)	15-21		

Straight 2 of 5	Straight 2of 5(Industrial 2 of 5) 読み取り		禁止	15-22
	Straight 2of 5(IATA) 読み取り		禁止	15-22
	Industrial 2 of 5 最小読取桁数		4	15-22
	Industrial 2 of 5 最大読取桁数		48	15-22
	IATA 最小読取桁数		4	15-22
	IATA 最大読取桁数		48	15-22
	Straight 2of 5(IATA) 一致回数		0	15-22
	先頭から連続する0の削除		禁止	15-22
	データの削除	前方から削除	0	15-22
		後方から削除	0	15-22
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-22
		挿入データ2の位置	0	15-22
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-22
		挿入データ2	(なし)	15-22
コードID	f(設定値 66)	15-22		

Matrix 2 of 5	読み取り	許可	15-23	
	最小読取桁数	4	15-23	
	最大読取桁数	80	15-23	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-23	
	データの削除	前方から削除	0	15-23
		後方から削除	0	15-23
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-23
		挿入データ2の位置	0	15-23
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-23
		挿入データ2	(なし)	15-23
コードID	m(設定値 6D)	15-23		

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読取設定		初期値	参照 章	
Code 11	読み取り	禁止	15-24	
	チェックデジット確認	1桁	15-24	
	最小読取桁数	4	15-24	
	最大読取桁数	80	15-24	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-24	
	データの削除	前方から削除	0	15-24
		後方から削除	0	15-24
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-24
		挿入データ2の位置	0	15-24
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-24
		挿入データ2	(なし)	15-24
コードID	h (設定値 68)	15-24		

Code 128	読み取り	許可	15-25	
	連結機能	許可	15-25	
	最小読取桁数	0	15-25	
	最大読取桁数	0	15-25	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-25	
	データの削除	前方から削除	0	15-25
		後方から削除	0	15-25
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-25
		挿入データ2の位置	0	15-25
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-25
		挿入データ2	(なし)	15-25
コードID	j (設定値 6A)	15-25		

GS1-128	読み取り	禁止 (出荷時設定 許可)	15-26	
	最小読取桁数	0	15-26	
	最大読取桁数	0	15-26	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-26	
	データの削除	前方から削除	0	15-26
		後方から削除	0	15-26
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-26
		挿入データ2の位置	0	15-26
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-26
		挿入データ2	(なし)	15-26
	コードID	l (設定値 49)	15-26	

UPC-A	読み取り	許可	15-27	
	チェックデジット転送	許可	15-27	
	アドオン2桁の読み取り	禁止	15-27	
	アドオン5桁の読み取り	禁止	15-27	
	アドオン待ち時間	120(msec)	15-27	
	アドオンの要求	禁止	15-27	
	アドオンのセパレータ	許可	15-27	
	UPC-AをEAN-13に変換	禁止	15-27	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-27	
	拡張クーポン付きUCPC-A/EAN-13	禁止	15-27	
	クーポンGS1データバー出力	禁止	15-27	
	データの削除	前方から削除	0	15-27
		後方から削除	0	15-27
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	15-27
		挿入データ1の位置	0	15-27
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	15-27
		挿入データ1	(なし)	15-27
	コードID	c (設定値 63)	15-27	

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読取設定		初期値	参照 章	
UPC-E	読み取り	許可	15-28	
	UPC-E拡張	禁止	15-28	
	チェックデジット転送	許可	15-28	
	アドオン2桁の読み取り	禁止	15-28	
	アドオン5桁の読み取り	禁止	15-28	
	アドオン待ち時間	120(msec)	15-28	
	アドオンの要求	禁止	15-28	
	アドオンのセパレータ	許可	15-28	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-28	
	データの削除	前方から削除	0	15-28
		後方から削除	0	15-28
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	15-28
		挿入データ1の位置	0	15-28
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	15-28
		挿入データ1	(なし)	15-28
	コードID	E (設定値 45)	15-28	

EAN-13/JAN-13	読み取り	許可	15-29	
	チェックデジット転送	許可	15-29	
	アドオン2桁の読み取り	禁止	15-29	
	アドオン5桁の読み取り	禁止	15-29	
	アドオン待ち時間	120(msec)	15-29	
	アドオンの要求	禁止	15-29	
	アドオンのセパレータ	許可	15-29	
	ISBN/ISSNに変換	禁止	15-29	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-29	
	データの削除	前方から削除	0	15-29
		後方から削除	0	15-29
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	15-29
		挿入データ1の位置	0	15-29
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	15-29
		挿入データ1	(なし)	15-29
	コードID	d (設定値 64)	15-29	

EAN-8/JAN-8	読み取り	許可	15-30	
	チェックデジット転送	許可	15-30	
	アドオン2桁の読み取り	禁止	15-30	
	アドオン5桁の読み取り	禁止	15-30	
	アドオン待ち時間	120(msec)	15-30	
	アドオンの要求	禁止	15-30	
	アドオンのセパレータ	許可	15-30	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-30	
	データの削除	前方から削除	0	15-30
		後方から削除	0	15-30
	挿入データの位置	挿入データ0の位置	0	15-30
		挿入データ1の位置	0	15-30
	挿入データ	挿入データ0	(なし)	15-30
		挿入データ1	(なし)	15-30
	コードID	D (設定値 44)	15-30	

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読取設定		初期値	参照 章	
MSI	読み取り	禁止	15-31	
	チェックデジット確認	Mod10	15-31	
	最小読取桁数	4	15-31	
	最大読取桁数	48	15-31	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-31	
	データの削除	前方から削除	0	15-31
		後方から削除	0	15-31
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-31
		挿入データ2の位置	0	15-31
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-31
		挿入データ2	(なし)	15-31
コードID	g (設定値 67)	15-31		

GS1データバー 標準型 (オムニ ディレクショナル)	読み取り	許可	15-32	
	データの削除	前方から削除	0	15-32
		後方から削除	0	15-32
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-32
		挿入データ2の位置	0	15-32
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-32
		挿入データ2	(なし)	15-32
コードID	y (設定値 79)	15-32		

GS1データバー 限定型 (リミテ ッド)	読み取り	許可	15-33	
	データの削除	前方から削除	0	15-33
		後方から削除	0	15-33
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-33
		挿入データ2の位置	0	15-33
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-33
		挿入データ2	(なし)	15-33
コードID	{ (設定値 7B)	15-33		

GS1データバー 拡張型 (エク スパンデッド)	読み取り	許可	15-34	
	データの削除	前方から削除	0	15-34
		後方から削除	0	15-34
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-34
		挿入データ2の位置	0	15-34
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-34
		挿入データ2	(なし)	15-34
コードID	} (設定値 7D)	15-34		

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読取設定		初期値	参照 章	
Codablock A	読み取り	禁止	15-35	
	最小読取桁数	1	15-35	
	最大読取桁数	600	15-35	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-35	
	データの削除	前方から削除	0	15-35
		後方から削除	0	15-35
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-35
		挿入データ2の位置	0	15-35
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-35
		挿入データ2	(なし)	15-35
コードID	V(設定値 56)	15-35		

Codablock F	読み取り	禁止	15-36	
	最小読取桁数	1	15-36	
	最大読取桁数	2048	15-36	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-35	
	データの削除	前方から削除	0	15-36
		後方から削除	0	15-36
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-36
		挿入データ2の位置	0	15-36
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-36
		挿入データ2	(なし)	15-36
コードID	q(設定値 71)	15-36		

PDF 417	読み取り	許可	15-37	
	MicroPDF417 読み取り	許可	15-37	
	低品質PDF417 読み取り	禁止	15-37	
	最小読取桁数	1	15-37	
	最大読取桁数	2750	15-37	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-37	
	データの削除	前方から削除	0	15-37
		後方から削除	0	15-37
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-37
		挿入データ2の位置	0	15-37
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-37
		挿入データ2	(なし)	15-37
	コードID	r(設定値 72)	15-37	

MicroPDF 417	読み取り	許可	15-38	
	最小読取桁数	1	15-38	
	最大読取桁数	366	15-38	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-38	
	データの削除	前方から削除	0	15-38
		後方から削除	0	15-38
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-38
		挿入データ2の位置	0	15-38
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-38
		挿入データ2	(なし)	15-38
コードID	R(設定値 52)	15-38		

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読取設定		初期値	参照 章	
TLC39 (TCIF Linked Code 39)	読み取り	禁止	15-39	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-39	
	データの削除	前方から削除	0	15-39
		後方から削除	0	15-39
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-39
		挿入データ2の位置	0	15-39
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-39
		挿入データ2	(なし)	15-39
コードID	T (設定値 54)	15-39		

GS1合成シンボル (GS1 Composite)	読み取り	禁止 (出荷時設定 許可)	15-40	
	UPC/EANバージョン	禁止	15-40	
	最小読取桁数	0	15-40	
	最大読取桁数	2435	15-40	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-40	
	データの削除	前方から削除	0	15-40
		後方から削除	0	15-40
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-40
		挿入データ2の位置	0	15-40
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-40
挿入データ2		(なし)	15-40	

GS1エミュレーション	GS1エミュレーション	GS1-128エミュレーション	15-41
-------------	-------------	-----------------	-------

GS1-128、GS1 データバー、 GS1 DataMatrix のAI カッコ追加 / 区切りFNC1 置換	AIにカッコ追加	禁止	15-42
	AIのカッコ指定	(15-42
	区切りFNC1置換	禁止	15-42
	区切りFNC1指定	<GS> (メモ Hexの3C 47 53 3E)	15-42

注 GS1 DataMatrix はファームウェアバージョン 0001-0013 以上が対応します。

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読取設定		初期値	参照 章	
QRコード	読み取り	許可	15-43	
	連結機能	許可	15-43	
	最小読取桁数	1	15-43	
	最大読取桁数	7089	15-43	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-43	
	データの削除	前方から削除	0	15-43
		後方から削除	0	15-43
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-43
		挿入データ2の位置	0	15-43
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-43
		挿入データ2	(なし)	15-43
コードID	s (設定値 73)	15-43		

Data Matrix	読み取り	許可	15-44	
	最小読取桁数	0	15-44	
	最大読取桁数	3116	15-44	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-44	
	データの削除	前方から削除	0	15-44
		後方から削除	0	15-44
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-44
		挿入データ2の位置	0	15-44
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-44
		挿入データ2	(なし)	15-44
	コードID	w (設定値 77)	15-44	

Maxi Code	読み取り	禁止	15-45	
	最小読取桁数	1	15-45	
	最大読取桁数	150	15-45	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-45	
	データの削除	前方から削除	0	15-45
		後方から削除	0	15-45
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-45
		挿入データ2の位置	0	15-45
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-45
		挿入データ2	(なし)	15-45
	コードID	x (設定値 78)	15-45	

Aztec Code	読み取り	許可	15-46	
	連結機能	許可	15-46	
	最小読取桁数	1	15-46	
	最大読取桁数	3832	15-46	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-46	
	データの削除	前方から削除	0	15-46
		後方から削除	0	15-46
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-46
		挿入データ2の位置	0	15-46
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-46
		挿入データ2	(なし)	15-46
コードID	z (設定値 7A)	15-46		

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読取設定		初期値	参照 章	
Chinese Sensible (Han Xin Code) 中国漢信コード	読み取り	許可	15-47	
	最小読取桁数	1	15-47	
	最大読取桁数	7883	15-47	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-47	
	データの削除	前方から削除	0	15-47
		後方から削除	0	15-47
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-47
		挿入データ2の位置	0	15-47
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-47
		挿入データ2	(なし)	15-47
コードID	H (設定値 48)	15-47		

2次元郵便コード	(各国コード)	読取禁止	15-48	
	Posnetチェックデジット転送	禁止	15-48	
	Planetチェックデジット転送	禁止	15-48	
	オーストラリア郵便解釈	バー出力	15-48	
	先頭から連続する0の削除	(各国禁止)	15-48	
	データの削除 (各国)	前方から削除	0	15-48
		後方から削除	0	15-48
	挿入データの位置 (各国)	挿入データ1の位置	0	15-48
		挿入データ2の位置	0	15-48
	挿入データ (各国)	挿入データ1	(なし)	15-48
		挿入データ2	(なし)	15-48
	コードID	オーストラリア郵便	A (設定値 41)	15-48
		InfoMail	, (設定値 2C)	15-48
		日本郵便	J (設定値 4A)	15-48
		Planet	L (設定値 4C)	15-48
		Postnet	P (設定値 50)	15-48
		イギリス郵便	B (設定値 42)	15-48
Postal-4i		N (設定値 4E)	15-48	
Intelligent Mail		M (設定値 4D)	15-48	
カナダ郵便	C (設定値 43)	15-48		
KIX (オランダ郵便)	K (設定値 4B)	15-48		

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読取設定		初期値	参照 章	
1次元郵便コード 中国郵便コード (香港 2 of 5)	読み取り	禁止	15-49	
	最小読取桁数	4	15-49	
	最大読取桁数	80	15-49	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-49	
	データの削除	前方から削除	0	15-49
		後方から削除	0	15-49
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-49
		挿入データ2の位置	0	15-49
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-49
		挿入データ2	(なし)	15-49
	コードID	Q (設定値 51)	15-49	

1次元郵便コード 韓国郵便コード	読み取り	禁止	15-50	
	最小読取桁数	4	15-50	
	最大読取桁数	48	15-50	
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-50	
	データの削除	前方から削除	0	15-50
		後方から削除	0	15-50
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-50
		挿入データ2の位置	0	15-50
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-50
		挿入データ2	(なし)	15-50
	コードID	? (設定値 3F)	15-50	

第 14 章 設定の方法

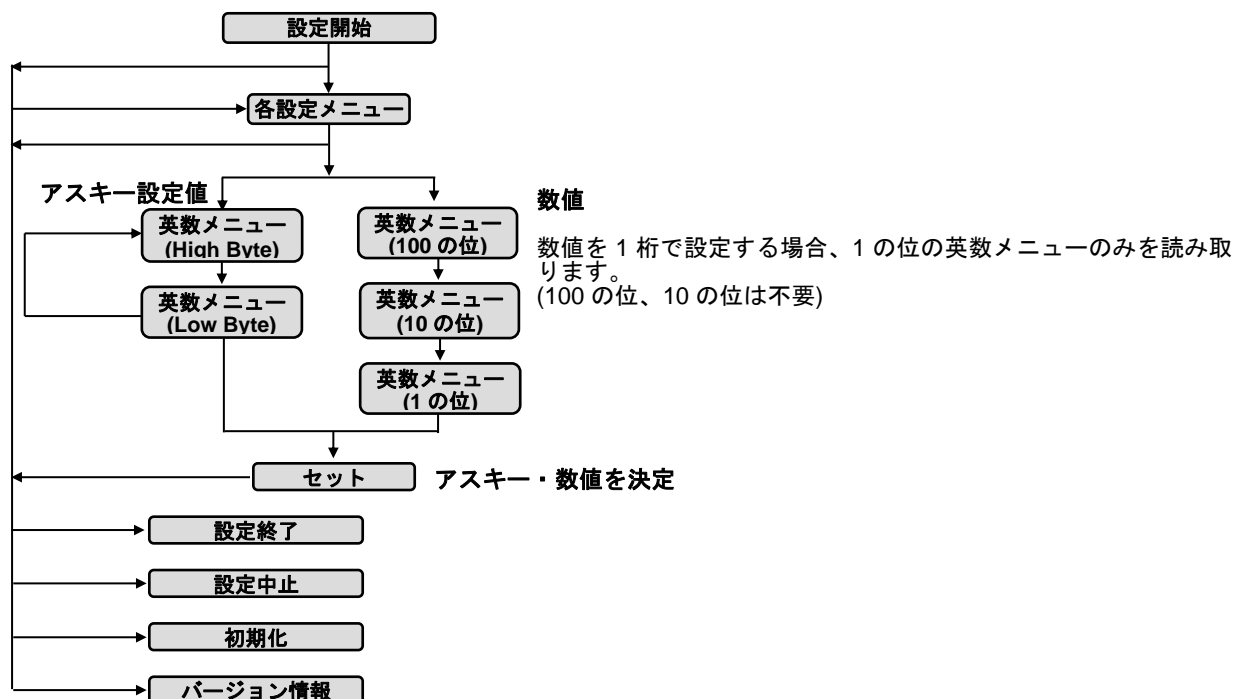
14-1 設定について

本製品は第 15 章の設定メニュー(設定用バーコード)を読み取ると設定を変更することが出来ます。設定は本製品の不揮発性メモリに保存され、電源を切った後も保持されます。

メモ 設定について

- ・ 主な操作の設定は第 2 章から第 9 章までの説明をお読みいただき、そちらに記載している設定メニューを読み取ることで設定することができます。
- ・ 詳しい設定を行う場合、本章の説明をお読みいただき、第 15 章の設定メニューを読み取って設定して下さい。

14-2 設定フローチャート



14-3 設定の初期化

次の設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 初期化

注意 初期化すると Bluetooth の設定も初期化されます。再度、ペアリングの設定をして下さい。ドングル付きセット品も専用 USB ドングルとのペアリングの設定が初期化されます。第 8 章 8-2 を参照し、設定して下さい。

注意 初期化するとバイブレータが許可(オン)になります。→第 15 章 15-13 参照

14-4 基本的な設定

禁止(オフ)、許可(オン)、動作を選択する設定は、次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 各設定 → 設定終了

ご案内 動作設定(ブザーなど)は、ケーブル、メモリ、BT のモードごとに設定します。メニュー表の「モード」を確認し、設定するモードの設定メニューを読み取って下さい。読取設定(コードタイプごとの設定)は、すべてのモード共通の設定です。

例 すべての音量を小にする(第 15 章 15-12 動作設定 ブザーを参照 ※2 ページ分あります)

設定開始 → (ケーブル、メモリ、BT とも)読み取り 小 → 警告 小 → 機能操作 小 → 設定終了

例 すべてのバイブレータをオフにする(第 15 章 15-13 動作設定 バイブレータを参照 ※2 ページ分あります)

設定開始 → (ケーブル、メモリ、BT とも)読み取り 禁止 → 警告 禁止 → 機能操作 禁止 → 設定終了

14-5 数値・桁数の設定

設定メニューの下か横に「→0~255(桁/0)」など数字の指示がある設定は次の順で読み取って下さい。「0~255」なら 0 から 255 の範囲で数字を設定します。カッコは設定値の「単位/初期値」です。(桁/0)なら桁を設定し、初期値は 0 桁の意味です。

英数メニュー、セット、設定終了は巻末 **付録 E 英数メニュー** にあります。

設定開始 → 各設定 → 英数メニュー 1~3 桁 → セット → 設定終了

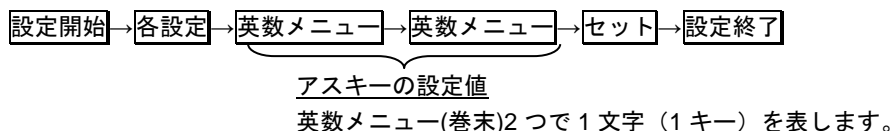
例 BT モードのデータ転送の速度を遅くする

設定開始 → ギャップ BT 桁間隔 → 1 → セット → ギャップ 1 文字間の転送時間 → 1 → 5 → セット → 設定終了

注意 設定メニュー中に指示のある桁数の最大値は論理値です。実際にはスキャナが光学的に読み取りできる範囲で読み取ります。実際に読み取るバーコードの桁数などを確認して設定して下さい。

14-6 アスキーの設定（文字・キーの設定）

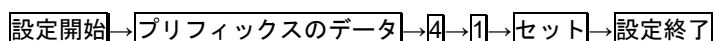
アスキー(ASCII)とは文字やキーを表す 2 桁の設定値です。メニュー表に「→アスキー(8 桁)」などアスキーの指示がある設定は、次の順で設定メニューを読み取って下さい。英数メニューは巻末にあります。



14-6-1 アスキーの設定値の求め方

例えば文字「A」の設定値を求める場合、巻末付録 D ASCII コード表(アスキーコード表)から「A」を見つけます。A は行の見出し(High)が 4、列の見出し(Low)が 1 です。「A」の設定値は「41」となります。英数メニューは「4」「1」と 1 個ずつ読み取ります。

例 プリフィックスに「A (設定値 41)」を設定する



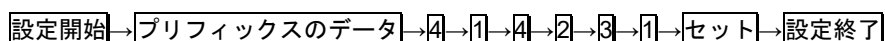
メモ プリフィックス、サフィックス、プリアンブル、ポストアンブルについては 13-7(次項)をお読み下さい。

14-6-2 複数のアスキー設定

設定メニューに「→アスキー(8 桁)」と指示がある場合、8 桁までアスキー（文字やキー）を設定できます。

複数の文字とキーを設定する場合、英数メニューでアスキーの設定値を連続して読み取ります。

例 プレフィックスに「AB1 (設定値 41 42 31)」を設定する

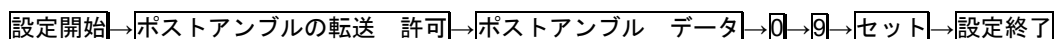


14-6-3 ファンクションキーの設定

巻末 付録 D ASCII コード表(アスキーコード表)の「00」から「1F」までの設定値はファンクションキーとして転送します。

例えば設定値「09」は Tab (タブ)、設定値「0D」は Enter (改行) となります。

例 読み取りデータの後に転送するキーを「Tab (設定値 09)」に設定する



14-6-4 アスキーの消去

アスキーの設定値を「00」と設定すると、消去と同等になります。

または、初期化して初期値に戻して下さい。

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります。

14-7 読み取りデータの前後に文字やキーを転送する設定

動作設定の「**プリアンブルのデータ**」、「**プリフィックスのデータ**」、「**サフィックスのデータ**」、「**ポストアンブルのデータ**」にアスキーを設定すると、すべての読み取りデータの前後に文字やキーを追加して転送します。

それぞれの設定は転送の「**許可**」と「**禁止**」の設定があります。「**禁止**」に設定すると転送しませんが、設定した文字やキーは保持されています。

読み取りデータ転送形式

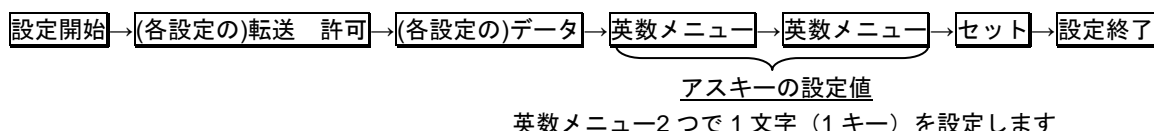
プリアンブル	プリフィックス	コードタイプ	コードID	GS1 AIM ID	桁数	読取データ	(コードID)	サフィックス	ポストアンブル
1-8 桁	1-8 桁	可変	1-2 桁	3 桁	4 桁		1-2 桁	1-8 桁	1-8 桁

メモ この図は概要です。日時も含めた完全なデータ転送形式は第 4 章 データ転送形式を参照して下さい。

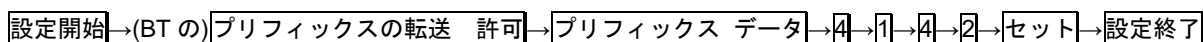
プリアンブル	すべてのデータの前方に文字を追加する設定です。8 桁まで文字やキー設定できます。
プリフィックス	プリアンブルの次に文字を追加する設定です。8 桁まで文字やキー設定できます。
サフィックス	読み取りデータの後に文字を追加する設定です。8 桁まで文字やキー設定できます。
ポストアンブル	すべてのデータの後方に文字を追加する設定です。8 桁まで文字やキー設定できます。 出荷時は Enter (アスキーの CR LF 設定値 0D 0A) が設定されています。 USB HID では設定値 0D のみで Enter となります

14-7-1 設定の方法

次の順で設定メニューを読み取って下さい。英数メニューとセットは巻末にあります。

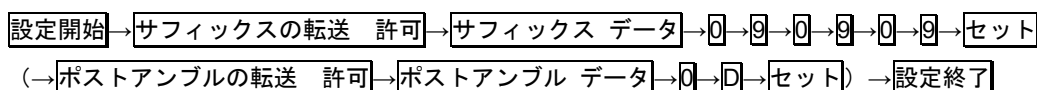


例 BT モードの読み取りデータの前に「A B(設定値 41 42)」を設定する



例 BT モードの読み取りデータの後に、Tab(設定値 09)を 3 回、Enter(設定値 0D)を 1 回転送する

※ () は、出荷時の初期値です。この例の場合、省略してかまいません。



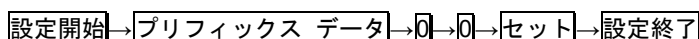
メモ アスキーの設定値については 14-6 アスキーの設定をお読み下さい

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります

14-7-2 設定の消去

アスキーを 00 に設定して下さい。(または「**禁止**」を設定すると、転送しなくなります。)

例 プリフィックスに設定した文字を消去する



14-8 コードタイプ、コードID、桁数を転送する設定、およびGS1 AIM ID

動作設定に「コードタイプの転送」、「コードIDの転送」、「桁数の転送」の設定があります。これらの設定を「許可」に設定すると読み取りデータに情報を追加して転送します。

読取設定に「GS1-128、GS1 データバー、GS1 DataMatrix のAI カッコ追加 / 区切り FNC1 置換」の設定があります。「区切り FNC1 置換」の設定を「許可」に設定すると、GS1-128、GS1 データバー、GS1 合成シンボル、GS1 DataMatrix の読取データの直前に GS1 AIM ID を追加します。又、区切り FNC1 を規定のキャラクタに置換して転送します。

データ転送形式

プリアンブル	プレフィックス	コードタイプ	コードID	桁数	GS1 AIM ID	読取データ	(コードID)	サフィックス	ポストアンブル
1-8 桁	1-8 桁	可変	1-2 桁	4 桁	3 桁		1-2 桁	1-8 桁	1-8 桁

メモ この図は概要です。日時も含めた完全なデータ転送形式は第4章 データ転送形式を参照して下さい。

コードタイプ	読み取ったバーコードの種類です。 例 Code39 のデータ 1234→(Code-39)1234 と転送します。
コードID	読み取ったバーコードの種類を識別する 1~2 文字です。本製品固有の文字です。 コードID の位置は読み取りデータの前か後を設定できます。 コードID の一覧は巻末 付録A シンボル一覧表(コードID表)の「コードID」を参照して下さい。 例 Code128 のデータ 12345→j12345 と転送します。
桁数	読み取ったバーコードの桁数です。4 桁で転送します。 例 6 桁のデータ 123456 の場合→0006 と転送します。
GS1 AIM ID	AIM ID は国際自動認識工業会が定めたバーコードの種類を識別する 3 文字です。本製品は GS1-128、GS1 データバー、GS1 合成シンボル、GS1 DataMatrix のみ、読取データの直前に AIM ID を追加します。本製品では便宜上 GS1 AIM ID と呼びます。GS1-128 はjC1、GS1 データバー各種はje0、GS1 合成シンボルはje0、GS1 DataMatrix はjd2 が GS1 AIM ID です。(GS1 DataMatrix はファームウェアバージョン 0001-0013 以上が対応します) 例 GS1 -128 のデータ 014512345678906→jC1014512345678906 と転送します。

コードIDの文字の設定変更

各コードタイプの「コードIDの文字」の設定で、コードIDの文字を変更できます。

例 Code39 のコードID を「Z (設定値 5A)」に設定する (初期値は M)

設定開始 → (Code39)コードIDの文字 → 5 → A → セット → 設定終了

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります

14-9 1桁目から連続する0（ゼロ）を削除する設定

読取設定のコードタイプごと、「1桁目から連続する0を削除」の設定があります。「許可」に設定すると1桁目から連続する0を削除して、0以外の数字・文字がある桁からデータを転送します。

例えば会員番号などのバーコードが前方（左側）を連続した0で埋めているとき、0を削除して転送できます。

設定方法

次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → (1桁目から連続する0を削除)許可 → 設定終了

例 NW7 の1桁目から連続する0を削除する

000056789010→56789010 と転送する。

設定開始 → (NW7)1桁目から連続する0の削除 許可 → 設定終了

14-10 読み取りデータの前方と後方を削除する設定

読取設定のコードタイプごとに「データの削除 前方から削除」と「データの削除 後方から削除」の設定があります。設定すると読み取りデータの前方または後方からデータを削除します。

前方から削除	1桁目から後方に向かって設定した桁数を削除します。
後方から削除	後方から前方に向かって設定した桁数を削除します。

設定方法

次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 前方から削除(後方から削除) → 英数メニュー → セット → 設定終了

例 Code 39 の前方から 3 桁を削除する。1234567890 → 4567890 と転送する

設定開始 → (Code 39)データの削除 前方から削除 → 3 → セット → 設定終了

例 Code 39 の後方から 4 桁を削除する。1234567890 → 123456 と転送する

設定開始 → (Code 39)データの削除 後方から削除 → 4 → セット → 設定終了

元に戻す方法 (削除しない)

次の順で次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 前方から削除(後方から削除) → 0 → セット → 設定終了

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります

14-11 読み取りデータに文字やキーを挿入する設定

読取設定のコードタイプごとにデータの挿入メニューがあります。

挿入は2箇所まで設定できます。挿入する桁の位置は「挿入データ0の位置」と「挿入データ1の位置」のメニューで設定します。

挿入データ0の位置	1箇所目の挿入の桁位置を設定します。 桁を0に設定すると、バーコードの先頭に挿入データが付きます。1に設定すると、1桁目の後に挿入データが付きます。
挿入データ1の位置	2箇所目の挿入の桁位置です。（桁の設定は上記と同様）

挿入するデータは「挿入データ0」と「挿入データ1」のメニューで設定します。

挿入データ0	1箇所目に挿入する文字・キーを設定します。 2桁まで設定できます。
挿入データ1	2箇所目に挿入する文字・キーを設定します。 2桁まで設定できます。

挿入のイメージ図 1234567890 に挿入を設定する例

123	挿入データ0の位置 →3を設定	456	挿入データ1の位置 →6を設定	7890
	挿入データ0 →Tabを設定		挿入データ1 →ABを設定	

設定方法

設定メニューの読み取り方は下記の例を参照して下さい。

例 Code 39 の3桁目の後に Tab、6桁目の後に A を挿入する。

1234567890→123 Tab 456AB7890 と転送する。

設定開始

- (Code 39)挿入データ0の位置→3→セット
- (Code 39)挿入データ0→0→9→セット
- (Code 39)挿入データ1の位置→6→セット
- (Code 39)挿入データ1→4→1→4→2→セット→設定終了

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります

第 15 章 設定メニュー

15-1 初期化、設定中止、バージョン情報

	設定開始	このページのメニューは 設定終了 が 不要 です
---	------	--

システムメニュー




モード	システムメニュー
すべて (ケーブル/メモリ/BT)	初期化  * Z A D E *
	<p>設定開始を読み取り、次に初期化を読み取ると、スキャナの設定を初期値に戻します。初期値については第 13 章を参照して下さい。</p> <p>注意 一部の設定は弊社出荷時に設定を変更しています。設定内容は欄外の「表 初期値と出荷時の設定」の通りです。初期化を行うと、弊社出荷時の設定は失われ、初期値に戻ります。</p> <p>ご案内 「巻末付録 B 出荷時の設定のメニュー」を読み取ると弊社出荷時の設定になります。但し Bluetooth の設定は失われます。別途、第 9 章を参照し設定して下さい。</p> <p>メモ 初期化を行うと、Bluetooth 設定が失われワイヤレス通信しなくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドングル付きセット品はスキャナと専用 USB ドングルのペアリングが失われます。 →第 9 章 9-2 を参照し、専用 USB ドングルとスキャナをペアリングして下さい。 ・リーダー単品はタブレット、スマートフォンなどとスキャナのペアリングが失われます。 →タブレット、スマートフォンの Bluetooth 設定画面に残っている本製品(SmartBt)の表示を削除して下さい。削除した後、第 9 章 9-3~9-7 を参照しペアリングして下さい。 <p>メモ 初期化を行っても、メモリモードの蓄積データと日時の設定は残ります。</p>
	設定中止  * Z E X T *
	設定メニューを読み間違ったときなどに読み取ると、設定を中止し、設定モードを終了します。
	バージョン情報  * Z V E R *
	スキャナとパソコンを USB ケーブルで接続して下さい。パソコンのソフト (メモ帳など) を開いて下さい。設定開始を読み取り、次にバージョン情報を読み取って下さい。パソコンのソフト (メモ帳など) にスキャナのバージョン情報を転送します。

表 初期値と出荷時の設定

初期化を行うと、「出荷時の設定」は失われ、「初期値」に戻ります。及びお客様が行った設定も初期値に戻ります。

設定	初期値	出荷時の設定	参照 章
(ケーブル/メモリ) キーボード配列	英語キーボード	日本キーボード	15-3
(BT) キーボード配列	英語キーボード	日本キーボード	15-3
(ケーブル/メモリ) 出力文字コード	US (日本語データ オフ)	Shift_JIS (日本語データ オン)	15-3
(BT) 出力文字コード	US (日本語データ オフ)	Shift_JIS (日本語データ オン)	15-3
Bluetooth 接続タイプ	N/A(未使用)	リーダー単品→iOS、セット品→A-302	15-9
MAC アドレス A-302 専用ドングル用	000000000000	セット品→同梱の A-302 の 12 桁のアドレス	15-9
(ケーブル) バイブレータ 読み取り	許可(バイブレータ オン)	禁止 (バイブレータ オフ)	15-13
(メモリ) バイブレータ 読み取り	許可(バイブレータ オン)	禁止 (バイブレータ オフ)	15-13
(BT) バイブレータ 読み取り	許可(バイブレータ オン)	禁止 (バイブレータ オフ)	15-13
GS1-128 読み取り	禁止(読み取らない)	許可 (読み取る)	15-26
GS1 合成シンボル 読み取り	禁止(読み取らない)	許可 (読み取る)	15-40

メモ 第 15 章について

- ・第 15 章は第 2 章から第 9 章までの設定メニューを一覧として記載しています。
- ・第 15 章は第 2 章から第 9 章までに説明が無い詳しい設定メニューも記載しています。意味は設定メニューの付近に記載した説明をお読み下さい。



15-2 スキャナの操作

	設定開始	このページのメニューは 設定終了が不要 です
---	------	-------------------------------

モード切替 ケーブルを外してください。

モード	メモリモードに切り替える	BT モードに切り替える
メモリ	 * Z T O M *	 * Z T O B *
BT		

蓄積データの転送/消去



モード	蓄積データの転送モードに入る	蓄積データを消去する
ケーブル	 * Z M T X *	 * Z F C A *
BT	→次に、大ボタンを押す	
	読み取った後、大ボタンを押すと蓄積データを転送します。 (注) 読み取っただけでは転送しません。	読み取ると、蓄積データを消去します。 ヘッダの日時は消去した日時になります。

ペアリング ケーブルを外し、BT モードに切り替えて下さい。

モード	ペアリングモードに入る
BT	 * Z P A R *
	読み取ると、スキャナの青ランプが点滅し、Bluetooth ペアリングモードに入ります。

追記 クイックメニュー（設定開始が不要）

注 ファームウェアが新しい場合、下記のメニューを使えます。設定開始メニューが不要で、直接読むと動作します。
上記の従来のメニュー（設定開始→転送モードに入る、又は消去）も使えます。

<p>転送モードに入る</p>  <p>ファームウェアバージョン 0001-0012 以上が対応 (読み取り後、大ボタンを押すと転送します)</p> <p>注 バージョン 0001-0011 以下では読まないで下さい (Bluetooth ペアリングが解除されます)</p>	<p>消去</p>  <p>ファームウェアバージョン 0001-0011 以上が対応 又は 2D Eng CZ000178BBA かつ 0001.0001 以上が対応 (蓄積データをすべて消去します)</p>
---	---

15-3 動作設定 キーボード設定


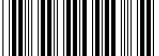




* 印は出荷時設定

キーボード配列

モード	英語キーボード	日本キーボード
ケーブル	*  * 6 7 8 0 *	
メモリ	* 6 7 8 0 *	 * 6 7 8 2 *
	英語版 Windows などにスキャナを USB 接続して使用するときには英語キーボードを設定して下さい。設定することでカッコ()やプラス+などバーコードデータの記号を正しく入力します。	日本版 Windows などにスキャナを USB 接続して使用するときには日本キーボードを設定して下さい。設定することでカッコ()やプラス+などバーコードデータの記号を正しく入力します。
BT	*  * 8 E C 0 *	 * 8 E C 2 *
	Android や英語版 Windows にスキャナを Bluetooth 接続して使用するときには英語キーボードを設定して下さい。設定することでカッコ()やプラス+などバーコードデータの記号を正しく入力します。 メモ Bluetooth の接続モードが iOS(HID)のときキーボード配列は自動的に英語に設定されます。	日本版 Windows などにスキャナを Bluetooth 接続して使用するときには日本キーボードを設定して下さい。日本キーボードを設定することでカッコ()やプラス+などバーコードデータの記号を正しく入力します。

出力文字コード（日本語 Shift JIS の設定） 日本語データ（2バイト文字）が Shift JIS の2次元コードを読み込む設定です。

モード	US(英数)	Shift_JIS(日本語)
ケーブル	*  * 7 7 9 0 *	
メモリ	* 7 7 9 0 *	 * 7 7 9 3 *
	出荷時の設定です。文字コードを ASCII(英数データ)で解釈します。	注意 Windows 専用の設定です。Shift_JIS を設定するとシフト JIS で作成した日本語（漢字、かな、カナ）の2次元コードをパソコンに入力できます。メモリモードのマストレージ設定でデータを取り出す場合、設定不要です。
BT	*  * 0 E D 0 *	 * 0 E D 3 *
	(説明は同上)	(説明は同上)

続きがあります↓

15-3 動作設定 キーボード設定 (続き)



* 印は出荷時設定

UTF-8 変換 (日本語 UTF-8 の設定) 日本語データ (2 バイト文字) が UTF-8 の 2 次元コードを読み込む設定です。

ご案内 UTF-8 変換は最新版が対応します (8MB、2Dエンジンバージョン CZ000178BBA以上、2022年7月頃より出荷)

モード	UTF-8 変換 禁止	UTF-8 変換 許可 (日本語)
ケーブル	<p style="text-align: center;">*</p>  <p style="text-align: center;">* 4 S U 0 *</p>	 <p style="text-align: center;">* 4 S U 3 *</p>
	<p>出荷時の設定です。 UTF-8 変換 禁止を設定すると Shift JIS で作成した日本語 (漢字、かな、カナ) の 2 次元コードを読むようになります (弊社出荷時のままの場合)</p>	<p>注意 Windows 専用の設定です。 UTF-8 変換 許可を設定すると UTF-8 で作成した日本語 (漢字、かな、カナ) の 2 次元コードをパソコンに入力できます。 前ページの「出力文字コード」を「Shift_JIS(日本語)」に設定しておく必要があります。</p>
メモリ	<p style="text-align: center;">*</p>  <p style="text-align: center;">* 1 W E 0 *</p>	 <p style="text-align: center;">* 1 W E 3 *</p>
	(説明は同上)	(説明は同上)
BT	<p style="text-align: center;">*</p>  <p style="text-align: center;">* 6 Z Y 0 *</p>	 <p style="text-align: center;">* 6 Z Y 3 *</p>
	(説明は同上)	(説明は同上)

メモ 日本語データが UTF-8 の 2 次元コードを読む設定の手順は次の通りです。

前ページの「出力文字コード」を「Shift_JIS(日本語)」に設定して下さい

※弊社出荷時は設定済みです。※設定名称が Shift JIS ですが、この設定も必要です。

次に「UTF-8 変換 許可(日本語)」を設定して下さい。

メモ UTF-8 の 2 次元コードと Shift JIS の 2 次元コードは同時に読み込めません。どちらかに設定してご使用下さい。

サンプル 動作確認にお使いください

<Shift JIS の 2 次元コード>

ShiftJIS 日本語データです 123Ab



<UTF-8 の 2 次元コード>

UTF-8 日本語サンプルです 123Ab










15-3 動作設定 キーボード設定 (続き)



* 印は出荷時設定

Caps Lock スキャナ側の Caps Lock 状態です。Alt+テンキーは Windows 用の設定かつ PC の Num Lock がオンのとき使用可能です。



モード	オート	Caps Lock オフ	Caps Lock オン	Alt+テンキー
ケーブル	*  * 3 7 5 0 *		 * 3 7 5 2 *	
メモリ		 * 3 7 5 1 *		 * 3 7 5 3 *
BT	(なし)	*  * 5 E 9 1 *	 * 5 E 9 2 *	(説明は同上)  * 5 E 9 3 *

注意 Windows 専用。
設定すると IME の設定に関わらず半角英数でデータ入力しますが低速になります。

数字データ 「テンキーとして数字データを転送」を設定する場合、PC の NumLock をオンにする必要があります。

モード	フルキーとして数字データを転送	テンキーとして数字データを転送
ケーブル	*  * 4 7 6 0 *	 * 4 7 6 1 *
メモリ		
BT	*  * 6 E A 0 *	 * 6 E A 1 *

ギャップ 送信データの遅れ時間の設定です。設定するときは桁間隔 1 に設定し、1 文字間の転送時間を 10 などに設定して下さい。








モード	桁間隔	1 文字間の転送時間	1 レコード間の転送時間
ケーブル	 * 3 7 W + *		 * 5 7 Y + *
メモリ	→0-255(桁ごと/0)→セット→設定 終了	 * 4 7 X + * →0-255(1ms/0)→セット→設定終了	→0-255(10ms/0)→セット→設定終了
BT (※iOS、HID)	 * 6 F 0 + *	 * 7 F 1 + * →0-255(1ms/0)→セット→設定終了	 * 8 F 2 + * →0-255(10ms/0)→セット→設定終了

15-4 動作設定 モード固定



* 印は出荷時設定

スキャナのモード選択 設定すると、そのモードでのみ動作します。

モード	モードの選択
ケーブル+メモリ+BT	*  * 5 3 K 6 *
ケーブル	 * 5 3 K 0 *
メモリ	 * 5 3 K 1 *
ケーブル+メモリ	 * 5 3 K 2 *
BT	 * 5 3 K 3 *
ケーブル+BT	 * 5 3 K 4 *
メモリ+BT	 * 5 3 K 5 *

15-5 動作設定 ボタンの設定

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

小ボタンの設定

モード	設定	禁止	許可
ケーブル	蓄積データの 転送モードに入る	 * 5 H X 0 *	*  * 5 H X 2 *
		転送モードに入らない。	長押しすると転送モードに入る。 (ブザー3回→まだ長押し→ブザー1回→ボタンをはなす) 備考：転送モードになってから大ボタンを押すと転送する。
メモリ	蓄積データを 1件消去する	(なし)	* (なし)
			(設定は許可に固定) 読み間違ったときなどに、小ボタンを押してそのバーコードを読むと蓄積データから1件消去する。
BT	蓄積データの 転送モードに入る	 * 8 P 1 0 *	*  * 8 P 1 2 *
		転送モードに入らない。	長押しすると転送モードに入る。 (ブザー3回→まだ長押し→ブザー1回→ボタンをはなす) メモ 転送モードに入ってから大ボタンを押すと転送する。

小ボタン長押し+大ボタンの設定

モード	設定	禁止	許可
ケーブル	充電オン/オフ	 * 4 H W 0 *	*  * 4 H W 1 *
		充電オン/オフしない。	充電オン/オフする。 メモ ケーブルモードが使えるときのみ有効です。
メモリ	蓄積データを すべて消去する	 * 1 L G 0 *	*  * 1 L G 1 *
		消去しない。	小ボタンを長押しする。オレンジのランプが高速点滅したら、小ボタンを押したまま大ボタンを押す。→蓄積データをすべて消去する。
BT	ペアリングモード に入る	 * 7 P 0 0 *	*  * 7 P 0 1 *
		ペアリングモードに入らない。 メモ ボタンではペアリングモードに入りませんが、設定メニューの読み取りでペアリングモードに入ることができます。	ペアリングモードに入る。

15-6 動作設定 スキャナ本体の日時設定



* 印は出荷時設定

日時の設定 スキャナ本体の日時合わせの設定。

モード	日時の設定	日付の区切文字	時刻の区切文字
すべて (ケーブル/メモリ/BT)	 * Z C L K * →数値 12 桁→セット	 * 2 4 G + * →アスキー1 桁(-)→セット→設定終了	 * 3 4 H + * →アスキー1 桁(:)→セット→設定終了
出荷時の設定	2013/01/01 00:00:00	/ (スラッシュ、設定値 2F)	: (コロン、設定値 3A)
備考	2018/05/27 10:30:52 に設定するなら、次にメニューを 180527103052、セット、設定終了と読む	-(ハイフン)に設定するなら、次にメニューを 2、D、セット、設定終了と読む	:が+で表示される場合、キーボード配列(第 15 章 15-3)を接続機器に合わせて設定して下さい。

日付の形式 Y(年)、M(月)、D(日)の形式。YMD の間は日付の区切文字-(ハイフン、出荷時設定)が付きます

モード	形式		
すべて (ケーブル/メモリ/BT)	* YYYYMMDD  * 6 3 U 0 *		DDMMYYYY  * 6 3 U 2 *
		MMDDYYYY  * 6 3 U 1 *	
	YYMMDD  * 6 3 U 3 *		DDMMYY  * 6 3 U 5 *
		MMDDYY  * 6 3 U 4 *	

時刻の形式 h(時)、m(分)、s(秒)の形式。hms の間は時刻の区切文字-(コロン、出荷時設定)が付きます
















モード	形式		
すべて (ケーブル/メモリ/BT)	* hhmmss  * 7 3 V 0 *		mmss  * 7 3 V 2 *
		hhmm  * 7 3 V 1 *	

15-7 動作設定 日時の転送設定



* 印は出荷時設定

日時の転送 許可に設定すると読み取り日時（タイムスタンプ）を読み取りデータとともに転送します。

モード	設定	禁止	許可	オプション
ケーブル	日付の転送	*  * 8 S P 0 *	 * 8 S P 1 *	
	時刻の転送	*  * 0 S Q 0 *	 * 0 S Q 1 *	日付と時刻の間のキャラクタ  * 7 T 5 + * →アスキー1桁(SP)→セット→設定終了
	デリミタの転送 日時とデータの間 のキャラクタ	 * 2 S S 0 *	(日付又は時刻の転送許可時) *  * 2 S S 1 *	デリミタのキャラクタ  * 6 T 4 + * →アスキー1桁(SP)→セット→設定終了
	日時の位置 データの前か後	*前  * 1 S R 0 *	後  * 1 S R 1 *	
メモリ	日付の転送	*  * 5 W 9 0 *	 * 5 W 9 1 *	
	時刻の転送	*  * 6 W A 0 *	 * 6 W A 1 *	日付と時刻の間のキャラクタ  * 3 W P + * →アスキー1桁(SP)→セット→設定終了
	デリミタの転送 日時とデータの間 のキャラクタ	 * 8 W C 0 *	(日付又は時刻の転送許可時) *  * 8 W C 1 *	デリミタのキャラクタ  * 2 W 0 + * →アスキー1桁(SP)→セット→設定終了
	日時の位置 データの前か後	*前  * 7 W B 0 *	後  * 7 W B 1 *	

続きがあります↓

15-7 動作設定 日時の転送設定（続き）



* 印は出荷時設定

日時の転送 許可に設定すると読み取り日時（タイムスタンプ）を読み取りデータとともに転送します。

モード	設定	禁止	許可	オプション
BT	日付の転送	* * 1 Z T 0 *	 * 1 Z T 1 *	
	時刻の転送	* * 2 Z U 0 *	 * 2 Z U 1 *	日付と時刻の間のキャラクタ * A 0 9 + * →アスキー1桁(SP)→セット→設定終了
	デリミタの転送 日時とデータの間のキャラクタ	 * 4 Z W 0 *	(日付又は時刻の転送許可時) * * 4 Z W 1 *	デリミタのキャラクタ * 9 0 8 + * →アスキー1桁(SP)→セット→設定終了
	日時の位置 データの前か後	* 前 * 3 Z V 0 *	後 * 3 Z V 1 *	

読み取りデータ形式

日付(読み取り日付)	日付と時刻の間	時刻(読み取り時刻)	デリミタ	読み取りデータ	ポストアンブル
YYYY/MM/DD	SP (スペース)	hh:mm:ss	SP (スペース)	バーコードデータ	CR,LF (改行)

メモ この図は概要です。他の付加情報を含めた完全なデータ転送形式は第4章 データ転送形式を参照して下さい。

15-8 動作設定 メモリモードの動作



* 印は出荷時設定


メモリモードの転送タイプ

モード	標準動作	マストレージ
メモリ	*  * O L F 0 *	 * O L F 5 *
	蓄積データをキーボードキャラクタとして転送します。	スキャナをパソコンに USB 接続すると、USB メモリのように認識します。蓄積データはテキストファイルとなります。 注意 USB 接続時のみ使用できます。

蓄積データの転送単位 「転送モード 標準」設定時のオプション設定

モード	すべて転送	1 件ずつ転送
メモリ	*  * 4 L S 0 *	 * 4 L S 1 *
BT	転送モードになった後、大ボタンを押すとすべての蓄積データを転送します。	転送モードになった後、大ボタンを押すたびに蓄積データを 1 件ずつ転送します。

転送モードの待ち時間 「転送モード」になったとき、この時間内に大ボタンを押さないと転送モードを終了します。

モード	転送モードの待ち時間
メモリ	 * 4 W Q + *
BT	→0-255(1sec/30)→セット→設定終了

蓄積データの自動消去 「転送モード 標準」設定時のオプション設定

モード	禁止	許可
メモリ	*  * 5 L T 0 *	 * 5 L T 1 *
BT	蓄積データを転送した後も、蓄積データはスキャナに残ります。	蓄積データを転送した後、すべての蓄積データをスキャナから消去します。

続きがあります↓

15-8 動作設定 メモリモードの動作（続き）



* 印は出荷時設定

ヘッダ/フッタの転送 ヘッダ/フッタはメモリモードが「標準モード」のみの設定です。マストレージには付きません。

モード	設定	禁止(オフ)	許可(オン)	オプション
メモリ	ヘッダの転送	 * 6 L U 0 *	*  * 6 L U 1 *	禁止(オフ)に設定すると、ヘッダ内、フッタ内の文字をすべて転送しなくなります。
	フッタの転送	 * 7 L V 0 *	*  * 7 L V 1 *	

ヘッダ内の文字の転送 ヘッダ内の文字を個別にオンオフします。転送するには上記の「ヘッダの転送」を許可にしてください。

モード	設定	禁止(オフ)	許可(オン)	オプション
メモリ	<Header> の転送	 * 8 3 W 0 *	*  * 8 3 W 1 *	<Header>の文字変更  * H 3 4 + * →アスキー16桁(<Header>)→セット→設定終了
	ヘッダの日付の転送 注意 これはヘッダ内に転送する、前回の蓄積消去の日付です	*  * 1 3 Y 0 *	 * 1 3 Y 1 *	
	ヘッダの時刻の転送 注意 これはヘッダ内に転送する、前回の蓄積消去の時刻です	*  * 2 3 Z 0 *	 * 2 3 Z 1 *	
	レコード件数の転送	 * 4 4 0 0 *	*  * 4 4 0 1 *	

続きがあります↓

15-8 動作設定 メモリモードの動作（続き）



* 印は出荷時設定

フッタ内の文字の転送 フッタ内の文字を個別にオンオフします。転送するには前ページの「フッタの転送」を許可して下さい。

モード	設定	禁止(オフ)	許可(オン)	オプション
メモリ	<Footer>の転送	 * 5 4 1 0 *	 * 5 4 1 1 *	<Footer>の文字変更  * F 3 K + * →アスキー16桁(<Footer>)→セット ト→設定終了
	フッタの日付転送 注意 これはフッタ内に転送する、前回の蓄積消去の日付です	 * 7 4 3 0 *	 * 7 4 3 1 *	
	フッタの時刻の転送 注意 これはフッタ内に転送する、前回の蓄積消去の時刻です	 * 8 4 4 0 *	 * 8 4 4 1 *	
	レコード件数の転送	 * 0 4 5 0 *	 * 0 4 5 1 *	

ヘッダ/フッタ内の文字の形式

ヘッダの文字 (フッタの文字)	区切文字	日付 時刻(蓄積データの消去日時)	区切文字	レコード件数	ポストアンブル
<Header> (<Footer>)	SP	YYYY/MM/DD SP hh:mm:ss	SP	nnnnnn	CR,LF (改行)

メモ SP（スペース）は固定で、変更できません。区切文字の前後の文字を転送しない場合、SPを転送しません。

メモ この図は概要です。詳細な説明は第8章 ヘッダとフッタを参照して下さい。

15-9 動作設定 BT モードの動作



* 印は出荷時設定

Bluetooth 接続タイプ

モード	Bluetooth 接続タイプ	
BT	SPP Slave  * 5 0 Z 1 *	HID  * 5 0 Z 3 *
	スキャナが Bluetooth SPP スレーブになる設定です。	スキャナが Bluetooth キーボードとして PC 側に認識される設定です。
	SPP Master  * 5 0 Z 2 *	iOS (HID)  * 5 0 Z 4 *
	スキャナが Bluetooth SPP マスターになる設定です。ペアリングする相手機器の Bluetooth MAC アドレスの設定が必要です。	スキャナが iOS 用 Bluetooth キーボードとして iOS 側に認識される設定です。スキャナのキーボード配列は英語に固定されます。
	SPP Master 自動検出  * 5 0 Z 9 *	*  * 5 0 Z 5 *
	スキャナが Bluetooth SPP マスターになる設定です。ペアリングする相手機器の Bluetooth MAC アドレスの設定が不要です。機器によってはペアリングできません。その場合は上記 SPP Master を設定し、下記 SPP Master 用 MAC アドレスを設定して下さい。	(N/A 初期値)
	A-302(専用 USB HID ドングル)  * 5 0 Z 6 *	
	スキャナが専用ドングルと通信する設定です。	

注意 Bluetooth はすべての機器との接続を保証するものではありません。

MAC アドレス Bluetooth 機器側(PC やドングル)の Bluetooth アドレスを、スキャナに設定します

モード	SPP Master 用 MAC アドレス	A-302 専用ドングル用 MAC アドレス
BT	 * A 4 W + * →0-F,12 桁(000000000000)→セット→設定終了	 * D 6 0 + * →0-F,12 桁(000000000000)→セット→設定終了
	注意 HID,iOS には使わない設定です。	専用ドングルの 12 文字を設定します。

Slave/Master 用 PIN コード

モード	PIN コード
BT	 * 9 5 C + * →アスキー8文字(1234)→セット→設定終了
	注意 HID,iOS,専用ドングルには使わない設定です。



続きがあります↓

15-9 動作設定 BTモードの動作（続き）

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

通信時間

モード	ペアリングの時間	Bluetooth 接続の時間
BT	 * 1 Q K + * →1-255(1sec/90)→セット→設定終了	 * 4 Q N + * →3-255(10sec/9)→セット→設定終了
	初期値は 90 秒。時間が過ぎるとペアリングモードを終了します。	初期値は 90 秒(設定値 9)。時間が過ぎるとワイヤレス通信を切断します。

スキャナの表示名

モード	スキャナの表示名
BT	 * G 5 S + * →アスキー16文字(SmartBt)→セット→設定終了
	初期値は SmartBt。ペアリング時、デバイスが発見するスキャナの名前です。

15-10 動作設定 スキャニング



* 印は出荷時設定

スキャンモード エイマー(読み取り光)の点灯方法です。

モード	グッドリードオフ	モーメンタリ	トグル	プレゼンテーション
	ボタン離しても5秒点灯 読むと消灯	ボタン押す間のみ点灯 読むと消灯	ボタンで点灯消灯を切替 読むと消灯 注意	物体を検知し自動点灯
ケーブル	 * 0 H S 0 *	 * 0 H S 1 *	 * 0 H S 3 *	 * 0 H S 4 *
メモリ	 * 6 L C 0 *	 * 6 L C 1 *	 * 6 L C 3 *	(無し)
BT	 * 2 0 W 0 *	 * 2 0 W 1 *	 * 2 0 W 3 *	(無し)

注意 トグルでも、エイマーの点灯時間が経過すると消灯します

エイマーの点灯時間 エイマー(読み取り光)の点灯時間です メモリとBTの切り替えるときの大ボタン長押しの間でもあります

モード	エイマーの点灯時間
ケーブル	 * 0 J H + * →5-255(1sec/10)→セット→設定終了
メモリ	 * 6 N 1 + * →5-255(1sec/10)→セット→設定終了
BT	 * 2 Q L + * →1-30(1sec/10)→セット→設定終了

続きがあります↓

15-10 動作設定 スキャニング（続き）

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

読み取り対象 液晶画面は画面のバーコードをが読みやすくします。但し紙のバーコードの読取率が低下する事があります。

モード	通常	液晶画面
ケーブル	*  * 1 H T 0 *	 * 1 H T 1 *
メモリ	*  * 7 L D 0 *	 * 7 L D 1 *
BT	*  * 3 0 X 0 *	 * 3 0 X 1 *

白色照明ライト の消灯/点灯 <バージョン 0001-0011 以上が対応> 消灯は読取率が下がる場合があります。

注意 白色照明ライトとエイマーの両方を消灯しないで下さい。何も点灯しなくなります。両方点灯しなくても周囲の明るさによって読み取りはできますが、使いにくくなる為どちらかは点灯させて下さい。

モード	消灯	点灯
ケーブル/メモリ/BT	 * N 0 6 0 *	*  * N 0 6 1 *

エイマーの消灯/点滅/点灯 <バージョン 0001-0011 以上が対応> 点滅はバーコードを読みやすくなる場合があります。

メモ 2D エンジンバージョン CZ000178BBA 以上は点灯と消灯のみ設定可能です。点灯は高速な点滅状態となります。

モード	消灯	点滅	点灯
ケーブル/メモリ/BT	 * 0 0 7 0 *	 * 0 0 7 3 *	*  * 0 0 7 1 *

2度読み防止

モード	禁止	許可
メモリ	*  * 4 W H 0 *	 * 4 W H 1 *
		メモリモード時、同一コードは読まない

続きがあります↓

15-10 動作設定 スキャニング（続き）



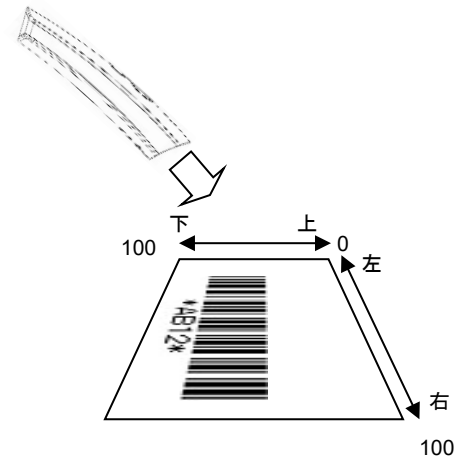
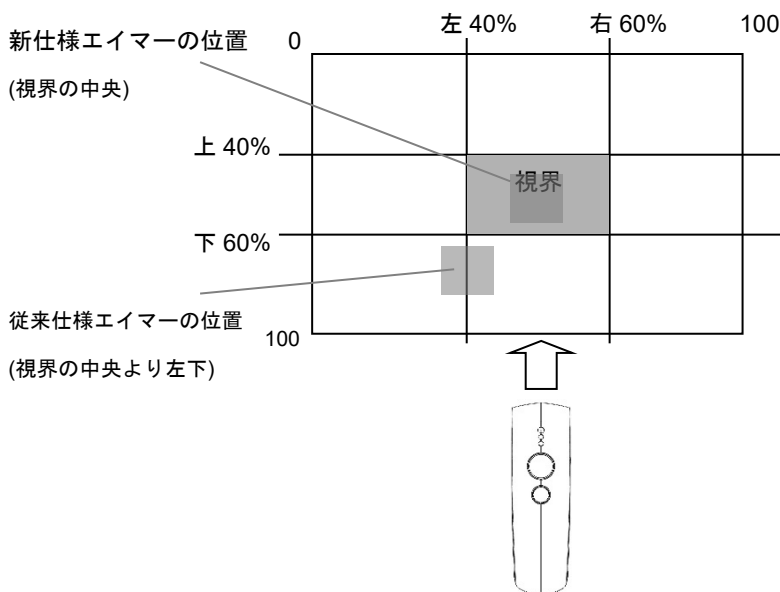
* 印は出荷時設定

センタリング スキャナの視界を絞る設定です。

モード	禁止	許可
すべて (ケーブル/メモリ/BT)	<p style="text-align: center;">*</p> <p style="text-align: center;">* K I R 0 *</p> <p>センタリングを行いません。</p>	<p style="text-align: center;">*</p> <p style="text-align: center;">* K I R 1 *</p> <p>センタリングを行います。許可にするとセンタリングの範囲を読み込みます。</p>

図 スキャナの視界と方向

ご案内 新仕様はエイマーの照射位置が変わりました。



センタリングの範囲 センタリングを許可に設定したときのスキャナの視界の範囲です。センタリングを禁止に設定したときは無効です。

モード	範囲（初期値は上 40、下 60、左 40、右 60）		
すべて (ケーブル/メモリ/BT)	上		
	<p style="text-align: center;">* L I S + *</p> <p style="text-align: center;">→0-100(初期値 40)→セット→設定終了</p>		
	左		右
	<p style="text-align: center;">* N I U + *</p> <p style="text-align: center;">→0-100(初期値 40)→セ ット→設定終了</p>		<p style="text-align: center;">* O I V + *</p> <p style="text-align: center;">→0-100(初期値 60)→セ ット→設定終了</p>
		下	
		<p style="text-align: center;">* M I T + *</p> <p style="text-align: center;">→0-100(初期値 60)→セット→設定終了</p>	

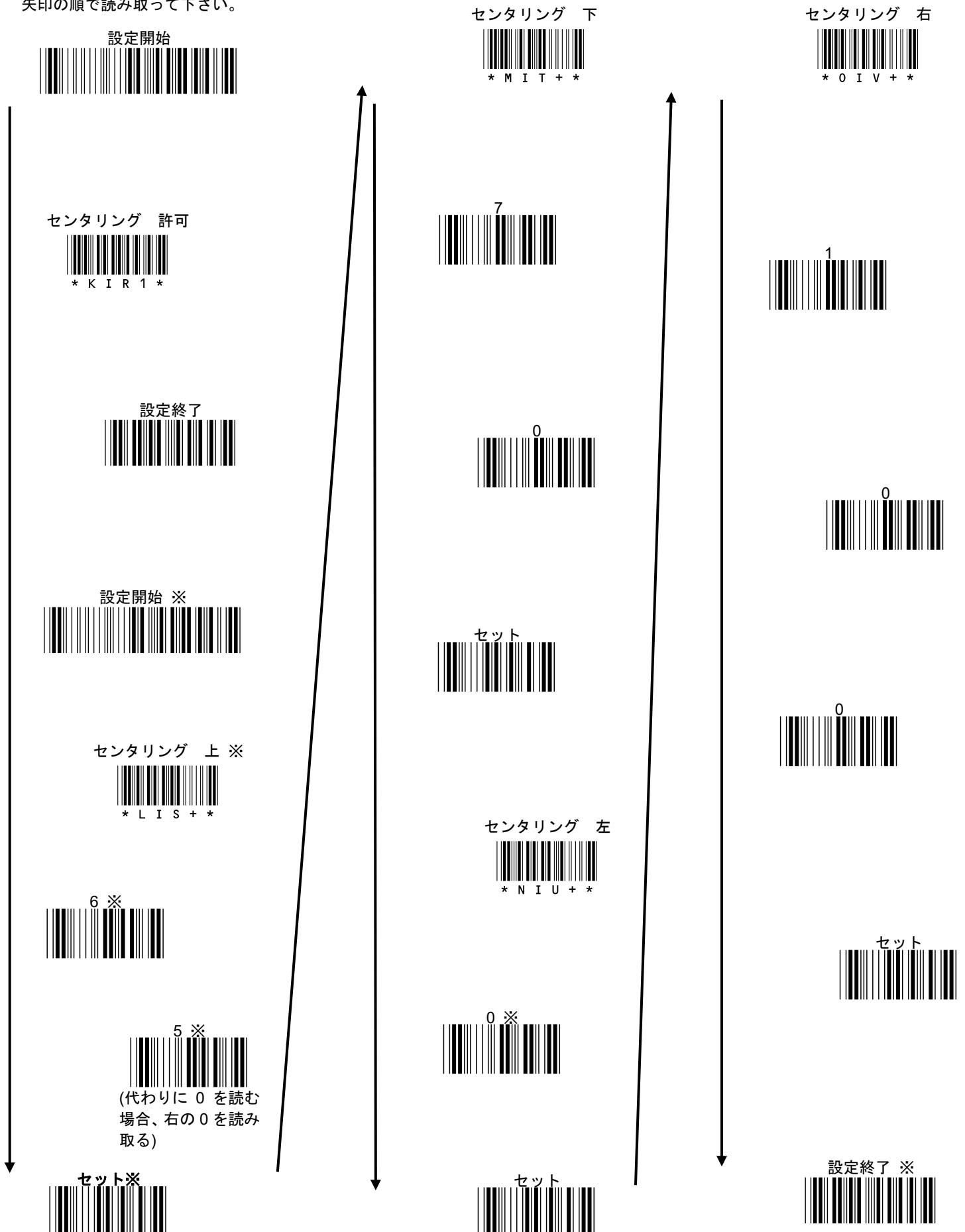
メモ 次のページに、センタリングの設定例があります。

続きがあります↓

15-10 動作設定 スキャニング（続き）

例 **ご案内** 従来仕様向けのセンタリング設定例です。縦に並んだバーコードを読みやすくします（上65、下70、左0、右100に設定）。設定して読みづらくなった場合、※印の「設定開始→センタリング上→6→0→セット→設定終了」を設定しお試しください。

矢印の順で読み取って下さい。





15-11 動作設定 省電力モード





* 印は出荷時設定

アイドルモードになる時間 エイマー消灯後、アイドルモード(省電力モード)になるまでの時間です。

モード	アイドル時間
メモリ	 * 7 N 2 + * →1-255(1sec/15)→セット→設定終了 ----- エイマー消灯後、アイドルモードになる時間。 メモリモードでの初期値は 15 秒(設定値 15)。
BT	 * 3 Q M + * ----- →1-255(1sec/15)→セット→設定終了 ----- エイマー消灯後、アイドルモードになる時間。 BT モードでの初期値は 15 秒(設定値 15)。

スタンバイモードになる時間 アイドルモードからスタンバイモード(超省電力)になるまでの時間です。

モード	スタンバイ時間
メモリ	 * 8 N 3 + * ----- →0-255(10sec/3)→セット→設定終了 ----- アイドルモードからスタンバイモードになる時間。メモリモードでの初期値は 30 秒(設定値 3)。
BT	 * 3 Q M + * ----- →3-255(10sec/9)→セット→設定終了 ----- アイドルモードからスタンバイモードになる時間。BT モードでの初期値は 90 秒(設定値 9)。

省電力モードについて

スキャナがメモリモード又は BT モードのとき、バッテリーの消耗を抑える為に自動的に省電力モードになります。スキャナのエイマーが消灯した後、自動的にアイドルモード(省電力モード)になり、次にスタンバイモード(超省電力モード)になります。

メモ BT モードのとき、アイドルモード又はスタンバイモードになっても Bluetooth の接続は継続します(初期値の場合)。Bluetooth 接続の時間は第 9 章 9-11 Bluetooth 接続時間の設定 (又は第 15 章 15-9 Bluetooth 接続の時間) で設定します。

15-12 動作設定 ブザー



* 印は出荷時設定

ブザーの音量

メモ ブザー音量です。小にするには「小」の列を上から順に全部読み取って下さい。**BTモードの設定は次ページです。**

モード	設定	無し	小	中	大	最大
ケーブル/メモリ/BT 共通	システム のブザー		* 1 3 P 1 *		* 1 3 P 3 *	
	USB 抜き差し、モード切替後、他	* 1 3 P 0 *		* 1 3 P 2 *		* 1 3 P 4 *
ケーブル	読み取り	* 7 H Z 0 *	* 7 H Z 1 *		* 7 H Z 3 *	* 7 H Z 4 *
	警告 メモリ転送 でボタン離 した後の音 量	(削除)	* 3 I 3 1 *	* 3 I 3 2 *	* 3 I 3 3 *	* 3 I 3 4 *
	機能操作 メモリ転送 で小ボタン 長押し時の 音	* 1 I 1 0 *	* 1 I 1 1 *	* 1 I 1 2 *	* 1 I 1 3 *	* 1 I 1 4 *
メモリ	読み取り	* 4 L J 0 *	* 4 L J 1 *	* 4 L J 2 *	* 4 L J 3 *	* 4 L J 4 *
	警告 小ボタンで 1件消去時、 該当データ 無しの時	(削除)	* 8 L N 1 *	* 8 L N 2 *	* 8 L N 3 *	* 8 L N 4 *
	機能操作 大ボタン長 押し時(BT 切替前)、 小ボタン長 押し時(全 消去前)の 音量	* 6 L L 0 *	* 6 L L 1 *	* 6 L L 2 *	* 6 L L 3 *	* 6 L L 4 *

続きがあります↓

15-12 動作設定 ブザー（続き）



* 印は出荷時設定

メモ ブザーを小にするには「小」の列を上から順に全部読み取って下さい。

モード	設定	無し	小	中	大	最大
BT	読み取り		 * 1 P 3 1 *	 * 1 P 3 2 *	 * 1 P 3 3 *	 * 1 P 3 4 *
	警告 通信確立、 エラー、ペ アリング開 始の音量	(削除)	 * 5 P 7 1 *	 * 5 P 7 2 *	 * 5 P 7 3 *	 * 5 P 7 4 *
	機能操作 小ボタン長 押しでペア リングに入 る音量		 * 3 P 5 1 *	 * 3 P 5 2 *	 * 3 P 5 3 *	 * 3 P 5 4 *

15-13 動作設定 バイブレータ


















* 印は出荷時設定

バイブレータの禁止（オフ）と許可（オン）

注意 読み取りのバイブレータはすべて**オフに設定して出荷**しています。初期化すると**許可(オン)**になります。

メモ バイブレータをオンにするには「オン」の列を**上から順に全部読み取って下さい**。BTモードの設定は次ページです。

モード	設定	禁止(オフ)	許可(オン)	オプション
すべて (ケーブル/ メモリ/BT)	システムの バイブレー タ USB 抜き差し、 設定メニュー読 み取り時	*  * 2 3 Q 0 *	 * 2 3 Q 1 *	(なし)
ケーブル 注意	読み取り	 * 0 I 0 0 *	*  * 0 I 0 1 *	バイブの長さ  * 8 I Q + * →0-255(10ms/5)→セット→設 定終了
	警告 メモリ転送でポ タン離れた後の バイブ	*  * 4 I 4 0 *	 * 4 I 4 1 *	
	機能操作 メモリ転送で小 ボタン長押し時 のバイブ	*  * 2 I 2 0 *	 * 2 I 2 1 *	
メモリ 注意	読み取り	 * 5 L K 0 *	*  * 5 L K 1 *	(なし)
	警告	*  * 0 L 0 0 *	 * 0 L 0 1 *	
	機能操作 メモリ消去で小 ボタン長押し+ 大ボタン押した 時のバイブ	*  * 7 L M 0 *	 * 7 L M 1 *	








続きがあります↓

15-13 動作設定 バイブレータ（続き）



* 印は出荷時設定

メモ すべてオフにするには「禁止」の列を上から順に全部読み取って下さい。

モード	設定	禁止(オフ)	許可(オン)	オプション
BT 注意	読み取り	 * 2 P 4 0 *	*  * 2 P 4 1 *	バイブの長さ  * 1 P U + * →0-255 (10ms/5) →セット→設定終了
	警告 エラーのバイブ (通信確立前に読み取り)	*  * 6 P 8 0 *	 * 6 P 8 1 *	
	機能操作 小ボタン長押し ペアリングに入る、ペアリング 開始、通信確立のバイブ	*  * 4 P 6 0 *	 * 4 P 6 1 *	

























15-14 動作設定 プリアンブル/プリフィックス/サフィックス/ポストアンブル



* 印は出荷時設定

プリアンブル/プリフィックス/サフィックス/ポストアンブルの転送

メモ BTモードの設定は次ページです。

モード	設定	禁止	許可	オプション
ケーブル	プリアンブルの転送	*  * 8 S G 0 *	 * 8 S G 1 *	プリアンブル データ  * 5 T C + * →アスキー8桁 →セット→設定終了
	プリフィックスの転送	*  * 1 S I 0 *	 * 1 S I 1 *	プリフィックス データ  * 3 T S + * →アスキー8桁 →セット→設定終了
	サフィックスの転送	*  * 2 S J 0 *	 * 2 S J 1 *	サフィックス データ  * 3 U O + * →アスキー8桁 →セット→設定終了
	ポストアンブルの転送	 * 0 S H 0 *	*  * 0 S H 1 *	ポストアンブル データ  * 4 T K + * →アスキー8桁 (CR,LF)→セット →設定終了
メモリ	プリアンブルの転送	*  * 5 W 0 0 *	 * 5 W 0 1 *	プリアンブル データ  * 1 W W + * →アスキー8桁 →セット→設定終了
	プリフィックスの転送	*  * 7 W 2 0 *	 * 7 W 2 1 *	プリフィックス データ  * 0 X C + * →アスキー8桁 →セット→設定終了
	サフィックスの転送	*  * 8 W 3 0 *	 * 8 W 3 1 *	サフィックス データ  * 8 X K + * →アスキー8桁 →セット→設定終了
	ポストアンブルの転送	 * 6 W 1 0 *	*  * 6 W 1 1 *	ポストアンブル データ  * 1 X 4 + * →アスキー8桁 (CR,LF)→セット →設定終了




続きがあります↓

15-14 動作設定 プリアンブル/プリフィックス/サフィックス/ポストアンブル (続き)

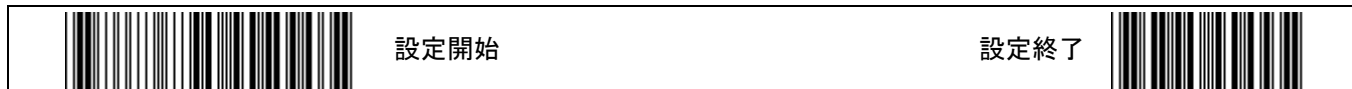


* 印は出荷時設定

プリアンブル/プリフィックス/サフィックス/ポストアンブルの転送

モード	設定	禁止	許可	オプション	
BT	プリアンブルの 転送	*  * 1 Z K 0 *	 * 1 Z K 1 *	プリアンブル データ  * H 0 G + *	→アスキー8桁 →セット→設定 終了
	プリフィックス の転送	*  * 3 Z M 0 *	 * 3 Z M 1 *	プリフィックス データ  * F 0 W + *	→アスキー8桁 →セット→設定 終了
	サフィックスの 転送	*  * 4 Z N 0 *	 * 4 Z N 1 *	サフィックス データ  * F 1 4 + *	→アスキー8桁 →セット→設定 終了
	ポストアンブル の転送	 * 2 Z L 0 *	*  * 2 Z L 1 *	ポストアンブル データ  * G 0 0 + *	→アスキー8桁 (CR,LF)→セット →設定終了

15-15 動作設定 コードタイプ/コード ID/桁数



* 印は出荷時設定

コードタイプ/コード ID/桁数の転送

メモ BT モードの設定は次ページです。

モード	設定	禁止	許可
ケーブル	コードタイプの転送	* * 3 S K 0 *	 * 3 S K 1 *
	コード ID の転送 すべてのバーコードに コード ID を転送しま す。付録 A 参照。	* * 4 S L 0 *	 * 4 S L 1 *
	コード ID の位置 データの前か後	* 前 * 5 S M 0 *	後 * 5 S M 1 *
	桁数の転送	* * 7 S 0 0 *	 * 7 S 0 1 *
メモリ	コードタイプの転送	* * 0 W 4 0 *	 * 0 W 4 1 *
	コード ID の転送 すべてのバーコードに コード ID を転送しま す。付録 A 参照。	* * 1 W 5 0 *	 * 1 W 5 1 *
	コード ID の位置 データの前か後	* 前 * 2 W 6 0 *	後 * 2 W 6 1 *
	桁数の転送	* * 4 W 8 0 *	 * 4 W 8 1 *

続きがあります↓

15-15 動作設定 コードタイプ/コード ID/桁数 (続き)



* 印は出荷時設定

コードタイプ/コード ID/桁数の転送









モード	設定	禁止	許可
BT	コードタイプの転送	<p style="text-align: center;">*</p> <p style="text-align: center;">* 5 Z 0 0 *</p>	<p style="text-align: center;">* 5 Z 0 1 *</p>
	コード ID の転送 すべてのバーコードに コード ID を転送しま す。付録 A 参照。	<p style="text-align: center;">*</p> <p style="text-align: center;">* 6 Z P 0 *</p>	<p style="text-align: center;">* 6 Z P 1 *</p>
	コード ID の位置 データの前か後	<p style="text-align: center;">前</p> <p style="text-align: center;">* 7 Z Q 0 *</p>	<p style="text-align: center;">後</p> <p style="text-align: center;">* 7 Z Q 1 *</p>
	桁数の転送	<p style="text-align: center;">*</p> <p style="text-align: center;">* 0 Z S 0 *</p>	<p style="text-align: center;">* 0 Z S 1 *</p>

15-16 動作設定 アルファベット大文字小文字の変換/制御文字



* 印は出荷時設定

アルファベット大文字小文字の変換

モード	変換しない	大小を逆に変換	全て小文字に変換	全て大文字に変換
ケーブル	*  * 6 S W 0 *	 * 6 S W 1 *	 * 6 S W 2 *	 * 6 S W 3 *
メモリ	*  * 3 W G 0 *	 * 3 W G 1 *	 * 3 W G 2 *	 * 3 W G 3 *
BT	*  * A 0 0 0 *	 * A 0 0 1 *	 * A 0 0 2 *	 * A 0 0 3 *

制御文字の転送 許可に設定すると、読み取りデータ内のアスキー制御文字を転送します

モード	禁止	許可
ケーブル	*  * 3 S T 0 *	 * 3 S T 1 *
		バーコード内のアスキー制御文字を転送します。スキャナがHID（キーボードとして入力する動作）のとき、制御文字は付録D ASCIIコード表に割り当てたキーとして転送します。
メモリ	*  * 0 W D 0 *	 * 0 W D 1 *
		(同上)
BT	*  * 5 Z X 0 *	 * 5 Z X 1 *
		(同上)

15-17 読取設定 Codabar / NW7



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	* 禁止 * K Y 2 0 *	* 許可 * K Y 2 1 *
スタート/ストップ転送	* 禁止 * L Y 3 0 *	許可 * L Y 3 1 *
チェックキャラクタ確認 許可は MOD16 のチェックキャラクタがあるときのみ読みます。又、チェックキャラクタを送信しないか送信するかを設定します。	* 禁止 * M Y 4 0 *	許可、送信しない * M Y 4 1 *
	許可、送信する * M Y 4 2 *	
連結機能 許可はスタートが D のとき隣接するストップが D の NW7 とデータを連結して送信します。要求するはスタートが D のとき単独で読まなくなります。	* 禁止 * N Y 5 0 *	許可 * N Y 5 1 *
	要求する * N Y 5 2 *	
連結待ち時間 連結機能許可のとき隣接するストップが D の NW7 を検索し待つ時間です	連結待ち時間 * K V E + * →10-4000(msec/800)→ セット→設定終了	
最小/最大読取桁数	最小読取桁数 * O Y 6 + * →2-60(桁/4)→セット →設定終了	最大読取桁数 * P Y 7 + * →0-60(桁/60)→セット →設定終了
Codabar (NW7) 一致回数	一致回数 * Q Y 8 + * →0-10(桁/0)→セット→ 設定終了	

続きがあります↓

15-17 読取設定 Codabar / NW7 (続き)






* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
先頭から連続する0の削除	<p>* 禁止</p> <p>* L O A 0 *</p>	<p>許可</p> <p>* L O A 1 *</p>
データの削除	<p>前方から削除</p> <p>* Q 0 6 + *</p> <p>→2-60(桁/0)→セット →設定終了</p>	<p>後方から削除</p> <p>* J 0 8 + *</p> <p>→2-60(桁/0)→セット →設定終了</p>
挿入データの位置	<p>挿入データ 1 位置</p> <p>* N O C + *</p> <p>→2-60(桁/0)→セット→ 設定終了</p>	<p>挿入データ 2 位置</p> <p>* I O G + *</p> <p>→2-60(桁/0)→セット→設 定終了</p>
挿入データ	<p>挿入データ 1</p> <p>* P O E + *</p> <p>→アスキー2文字(な し)→セット→設定終了</p>	<p>挿入データ 2</p> <p>* K O I + *</p> <p>→アスキー2文字(な し)→セット→設定終了</p>
コードID	<p>コードIDの文字</p> <p>* E 9 M + *</p> <p>→アスキー2文字(a)→ セット→設定終了</p>	

15-18 読取設定 Code 39



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	禁止  * D C 0 0 *	* 許可  * D C 0 1 *
スタート/ストップ転送 許可はスタート/ストップの*を転送します。	* 禁止  * E C 1 0 *	許可  * E C 1 1 *
チェックキャラクタ確認 許可はチェックキャラクタがあるときのみ読みます。又、チェックキャラクタを送信しないか送信するかを設定します。	* 禁止  * F C 2 0 *	許可、送信する  * F C 2 2 *
	許可、送信しない  * F C 2 1 *	
Code 39 の形式	* 標準  * G C 3 0 *	Full ASCII Code 39  * G C 3 1 *
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * H C 4 + * →0-48(桁/0)→セット →設定終了	最大読取桁数  * 9 C 5 + * →0-48(桁/48)→セット →設定終了
一致回数 読取の信頼性を向上します。スキャナ内部のデコード結果が設定した回数分だけ得られたとき読み込みます。但し低品質なバーコードは読みにくくなります。	一致回数  * B C 7 + * →0-10(桁/0)→セット→ 設定終了	
Code32 で読み取り Code 39 を Pharmaceutical(PARAF)の形式に変換して送信します。	* 禁止  * K Y K 0 *	許可  * K Y K 1 *

続きがあります↓

15-18 読取設定 Code 39 (続き)



* 印は出荷時設定

定	設定メニュー	
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * Q 0 0 0 *	許可  * Q 0 0 1 *
データの削除	前方から削除  * M 0 K + * →0-48(桁/0)→セット →設定終了	後方から削除  * 0 0 M + * →0-48(桁/0)→セット →設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * J 0 Q + * →0-48 桁/0)→セット→設 定終了	挿入データ 2 の位置  * N 0 U + * →0-48(桁/0)→セット→設 定終了
挿入データ	挿入データ 1  * L 0 S + * →アスキー2文字(な し)→セット→設定終了	挿入データ 2  * P 0 W + * →アスキー2文字(な し)→セット→設定終了
コードID	コードIDの文字 Code39  * G 9 0 + * →アスキー2文字(b)→ セット→設定終了	コードIDの文字 Code32  * 9 8 I + * →アスキー2文字(<)→ セット→設定終了

15-19 読取設定 Interleaved 2 of 5 (ITF)



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	禁止  * 0 Y 0 0 *	* 許可  * 0 Y 0 1 *
チェックデジット確認 許可はチェックデジットがあるときのみ読みます。又、チェックデジットを送信しないか送信するかを設定します。	* 禁止  * P Y P 0 *	許可、送信しない  * P Y P 1 *
	許可、送信する  * P Y P 2 *	
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * Q Y Q + * →2-80(桁/4)→セット →設定終了	最大読取桁数  * I Y R + * →0-80(桁/80)→セット →設定終了
一致回数	一致回数  * J Y S + * →0-10(桁/0)→セット→ 設定終了	

続きがあります ↓

15-19 読取設定 Interleaved 2 of 5(ITF) (続き)



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
先頭から連続する0の削除	<p>* 禁止</p>  <p>* 0 1 U 0 *</p>	<p>許可</p>  <p>* 0 1 U 1 *</p>
データの削除	<p>前方から削除</p>  <p>* K 1 Q + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→</p> <p>設定終了</p>	<p>後方から削除</p>  <p>* M 1 S + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→</p> <p>設定終了</p>
挿入データの位置	<p>挿入データ 1 の位置</p>  <p>* Q 1 W + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→</p> <p>設定終了</p>	<p>挿入データ 2 の位置</p>  <p>* M 2 0 + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→</p> <p>設定終了</p>
挿入データ	<p>挿入データ 1</p>  <p>* J 1 Y + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p>挿入データ 2</p>  <p>* 0 2 2 + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>
コードID	<p>コードIDの文字</p>  <p>* D 9 U + *</p> <p>→アスキー2文字(e)→</p> <p>セット→設定終了</p>	

15-20 読取設定 NEC 2 of 5



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	禁止  * K Y T 0 *	* 許可  * K Y T 1 *
チェックデジット確認 許可はチェックデジットがあるときのみ読みます。又、チェックデジットを送信しないか送信するかを設定します。	* 禁止  * L Y U 0 *	許可、送信しない  * L Y U 1 *
	許可、送信する  * L Y U 2 *	
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * M Y V + * →2-80(桁/4)→セット →設定終了	最大読取桁数  * N Y W + * →0-80(桁/80)→セット →設定終了
一致回数	一致回数  * J Y S + * →0-10(桁/0)→セット→ 設定終了	

続きがあります ↓

15-20 読取設定 NEC 2 of 5 (続き)

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * E Z W 0 *	許可  * E Z W 1 *
データの削除	前方から削除  * A Z S + * →0-80(桁/0)→セット→ 設定終了	後方から削除  * C Z U + * →0-80(桁/0)→セット→ 設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * G Z Y + * →0-80(桁/0)→セット→ 設定終了	挿入データ 2 の位置  * M O 2 + * →0-80(桁/0)→セット→ 設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * K O 0 + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 2  * 0 0 4 + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コードID	コードIDの文字  * C 9 K + * →アスキー2文字(Y)→ セット→設定終了	

15-21 読取設定 Code 93



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	<p style="text-align: center;">禁止</p> <p style="text-align: center;">* 0 Y X 0 *</p>	<p style="text-align: center;">* 許可</p> <p style="text-align: center;">* 0 Y X 1 *</p>
連結機能 1桁目がスペースのとき一時的に保存しSP以外を読むと連結して出力します	<p style="text-align: center;">* 禁止</p> <p style="text-align: center;">* K Z 1 0 *</p>	<p style="text-align: center;">許可</p> <p style="text-align: center;">* K Z 1 1 *</p>
最小/最大読取桁数	<p style="text-align: center;">最小読取桁数</p> <p style="text-align: center;">* P Y Y + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→</p> <p style="text-align: center;">設定終了</p>	<p style="text-align: center;">最大読取桁数</p> <p style="text-align: center;">* Q Y Z + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→</p> <p style="text-align: center;">設定終了</p>
先頭から連続する0の削除	<p style="text-align: center;">* 禁止</p> <p style="text-align: center;">* J 3 E 0 *</p>	<p style="text-align: center;">許可</p> <p style="text-align: center;">* J 3 E 1 *</p>
データの削除	<p style="text-align: center;">前方から削除</p> <p style="text-align: center;">* O 3 A + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→</p> <p style="text-align: center;">設定終了</p>	<p style="text-align: center;">後方から削除</p> <p style="text-align: center;">* Q 3 C + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→</p> <p style="text-align: center;">設定終了</p>
挿入データの位置	<p style="text-align: center;">挿入データ 1 の位置</p> <p style="text-align: center;">* L 3 G + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→</p> <p style="text-align: center;">設定終了</p>	<p style="text-align: center;">挿入データ 2 の位置</p> <p style="text-align: center;">* P 3 K + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→</p> <p style="text-align: center;">設定終了</p>
挿入データ	<p style="text-align: center;">挿入データ 1</p> <p style="text-align: center;">* N 3 I + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p style="text-align: center;">挿入データ 2</p> <p style="text-align: center;">* I 3 M + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>
コード ID	<p style="text-align: center;">コード ID の文字</p> <p style="text-align: center;">* D A 2 + *</p> <p>→アスキー2文字(i)→セット→設定終了</p>	

15-22 読取設定 Straight 2 of 5 (Industrial 2 of 5 と IATA)



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
Straight 2of 5 (Industral 2 of 5) 読み取り	* 禁止  * L Z 2 0 *	許可  * L Z 2 1 *
Straight 2of 5 (IATA) 読み取り	* 禁止  * 0 Z 5 0 *	許可  * 0 Z 5 1 *
Straight 2of 5 (Industral 2 of 5) 最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * M Z 3 + * →1-48(桁/4)→セット→ 設定終了	最大読取桁数  * N Z 4 + * →0-48(桁/48)→セット →設定終了
Straight 2of 5 (IATA) 最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * P Z 6 + * →1-48(桁/4)→セット →設定終了	最大読取桁数  * Q Z 7 + * →0-48(桁/48)→セット →設定終了
Straight 2of 5 (IATA) 一致回数	一致回数  * I Z 8 + * →0-10(桁/0)→セット→ 設定終了	

続きがあります ↓

15-22 読取設定 Straight 2 of 5 (Industrial 2 of 5 と IATA) (続き)

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
先頭から連続する0の削除	<p>* 禁止</p>  * L 2 8 0 *	<p>許可</p>  * L 2 8 1 *
データの削除	<p>前方から削除</p>  * Q 2 4 + * →0-48(桁/0)→セット→ 設定終了	<p>後方から削除</p>  * J 2 6 + * →0-48(桁/0)→セット →設定終了
挿入データの位置	<p>挿入データ 1 の位置</p>  * N 2 A + * →0-48(桁/0)→セット→ 設定終了	<p>挿入データ 2 の位置</p>  * I 2 E + * →0-48(桁/0)→セット→ 設定終了
挿入データ	<p>挿入データ 1</p>  * P 2 C + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	<p>挿入データ 2</p>  * K 2 G + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	<p>コード ID の文字</p>  * F 9 W + * →アスキー2文字(f)→ セット→設定終了	

15-23 読取設定 Matrix 2 of 5



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	<p>* 禁止</p> <p>* J Z 9 0 *</p>	<p>許可</p> <p>* J Z 9 1 *</p>
最小/最大読取桁数	<p>最小読取桁数</p> <p>* K Z A + *</p> <p>→0-80(桁/4)→セット→</p> <p>設定終了</p>	<p>最大読取桁数</p> <p>* L Z B + *</p> <p>→0-80(桁/80)→セット</p> <p>→設定終了</p>
先頭から連続する0の削除	<p>* 禁止</p> <p>* Q 4 K 0 *</p>	<p>許可</p> <p>* Q 4 K 1 *</p>
データの削除	<p>前方から削除</p> <p>* M 4 G + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→</p> <p>設定終了</p>	<p>後方から削除</p> <p>* O 4 I + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット</p> <p>→設定終了</p>
挿入データの位置	<p>挿入データ 1 の位置</p> <p>* J 4 M + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→</p> <p>設定終了</p>	<p>挿入データ 2 の位置</p> <p>* N 4 Q + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設 定終了</p>
挿入データ	<p>挿入データ 1</p> <p>* L 4 O + *</p> <p>→アスキー2文字(な し)→セット→設定終了</p>	<p>挿入データ 2</p> <p>* P 4 S + *</p> <p>→アスキー2文字(な し)→セット→設定終了</p>
コード ID	<p>コード ID の文字</p> <p>* A A 8 + *</p> <p>→アスキー2文字(m)→ セット→設定終了</p>	

15-24 読取設定 Code 11
















	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	* 禁止  * M Z C 0 *	許可  * M Z C 1 *
チェックデジット確認	* 1桁  * P Z F 0 *	2桁  * P Z F 1 *
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * N Z D + * →1-80(桁/4)→セット→ 設定終了	最大読取桁数  * O Z E + * →1-80(桁/80)→セット →設定終了
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * N 3 0 0 *	許可  * N 3 0 1 *
データの削除	前方から削除  * I 2 W + * →0-80(桁/0)→セット→ 設定終了	後方から削除  * K 2 Y + * →0-80(桁/0)→セット →設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * P 3 2 + * →0-255(桁/0)→セット→ 設定終了	挿入データ 2 の位置  * K 3 6 + * →0-255(桁/0)→セット→ 設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * I 3 4 + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 2  * M 3 8 + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コードID	コードIDの文字  * B A 0 + * →アスキー2文字(h)→セット→設定終了	

15-25 読取設定 Code 128 **メモ** GS1-128 の設定は 15-26 読取設定 GS1-128 を参照して下さい。

* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	禁止  * Q Z G 0 *	* 許可  * Q Z G 1 *
連結機能 許可は許可連結キャラクタ (Code128 Code A,B の FNC2) を含む Code 128 を読み取ると一時的にスキャナに保存し、連結キャラクタがない Code128 を読むと保存したデータを連結して送信します。	禁止  * M Z L 0 *	* 許可  * M Z L 1 *
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * I Z H + * →0-80(桁/0)→セット →設定終了	最大読取桁数  * J Z I + * →0-80(桁/80)→セット→ 設定終了
先頭から連続する 0 の削除	* 禁止  * 0 3 S 0 *	許可  * 0 3 S 1 *
データの削除	前方から削除  * K 3 0 + * →0-80(桁/0)→セット →設定終了	後方から削除  * M 3 Q + * →0-80(桁/0)→セット→ 設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * Q 3 U + * →0-80(桁/0)→セット→ 設定終了	挿入データ 2 の位置  * L 3 Y + * →0-80(桁/0)→セット→ 設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * J 3 W + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 2  * 0 4 0 + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字  * F A 4 + * →アスキー2文字(j)→セット→設定終了	

15-26 読取設定 GS1-128



Code 128 の設定は 15-25 読取設定 Code 128 を参照して下さい。



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	<p style="text-align: center;">* 禁止</p> <p style="text-align: center;">* 0 Z N 0 *</p>	<p style="text-align: center;">許可</p> <p style="text-align: center;">* 0 Z N 1 *</p>
最小/最大読取桁数	<p style="text-align: center;">最小読取桁数</p> <p style="text-align: center;">* P Z 0 + *</p> <p style="text-align: center;">→0-80(桁/0)→セット →設定終了</p>	<p style="text-align: center;">最大読取桁数</p> <p style="text-align: center;">* Q Z P + *</p> <p style="text-align: center;">→0-80(桁/80)→セット→ 設定終了</p>
先頭から連続する 0 の削除	<p style="text-align: center;">* 禁止</p> <p style="text-align: center;">* 9 V M 0 *</p>	<p style="text-align: center;">許可</p> <p style="text-align: center;">* 9 V M 1 *</p>
データの削除	<p style="text-align: center;">前方から削除</p> <p style="text-align: center;">* E V I + *</p> <p style="text-align: center;">→0-80(桁/0)→セット →設定終了</p>	<p style="text-align: center;">後方から削除</p> <p style="text-align: center;">* G V K + *</p> <p style="text-align: center;">→0-80(桁/0)→セット→ 設定終了</p>
挿入データの位置	<p style="text-align: center;">挿入データ 1 の位置</p> <p style="text-align: center;">* B V 0 + *</p> <p style="text-align: center;">→0-80(桁/0)→セット→ 設定終了</p>	<p style="text-align: center;">挿入データ 2 の位置</p> <p style="text-align: center;">* F V S + *</p> <p style="text-align: center;">→0-80(桁/0)→セット→ 設定終了</p>
挿入データ	<p style="text-align: center;">挿入データ 1</p> <p style="text-align: center;">* D V Q + *</p> <p style="text-align: center;">→アスキー-2 文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p style="text-align: center;">挿入データ 2</p> <p style="text-align: center;">* H V U + *</p> <p style="text-align: center;">→アスキー-2 文字(なし)→セット→設定終了</p>
コード ID	<p style="text-align: center;">コード ID の文字</p> <p style="text-align: center;">* G 8 Y + *</p> <p style="text-align: center;">→アスキー-2 文字(l)→ セット→設定終了</p>	

メモ AI カッコと区切り FNC1 の設定は 15-42 読取設定 GS1-128、GS1 データバーの AI カッコ追加 / 区切り FNC1 置換を参照して下さい。

15-27 読取設定 UPC-A



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	禁止 * Q V B 0 *	* 許可 * Q V B 1 *
チェックデジット転送	禁止 * K V 5 0 *	* 許可 * K V 5 1 *
アドオン 2 桁の読み取り	* 禁止 * M V 7 0 *	許可 * M V 7 1 *
アドオン 5 桁の読み取り	* 禁止 * N V 8 0 *	許可 * N V 8 1 *
アドオン待ち時間	 * K V E + * →0-500(msec/120)→セ ット→設定終了	
アドオンの要求 許可は UPC の読み取りにアドオンを必要とします。	* 禁止 * 0 V 9 0 *	許可 * 0 V 9 1 *
アドオンのセパレータ 許可は UPC とアドオンの間にスペースを追加します。	禁止 * P V A 0 *	* 許可 * P V A 1 *
UPC-A を EAN-13 に変換 ご案内 先頭が0の JAN13 を 13 桁で転送するにはこの設定を許可にしてください。許可は UPC-A(12 桁)の先頭に 0 を追加して 13 桁として送信します。コード ID は EAN-13 の ID が付きます。	* 禁止 * J V 4 1 *	許可 * J V 4 0 * (13 桁に変換する)

続きがあります↓

15-27 読取設定 UPC-A (続き)


















* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
先頭から連続する 0 の削除	* 禁止  * N 1 2 0 *	許可  * N 1 2 1 *
拡張クーポンコード付き UPC-A /EAN-13 (許可又は要求するを利用するには GS1-128 を読み取り許可に設定して下さい) 許可: UPC-A/EAN-13 と拡張クーポンコードの両方が認識されたとき両方を送信します。 要求する: UPC-A/EAN-13 と拡張クーポンコードの両方の認識が必要になります。	* 禁止  * I V C 0 *	許可  * I V C 1 *
	要求する  * I V C 2 *	
クーポン GS1 データバー出力 許可: UPC-A/EAN-13 と拡張クーポンコードの両方が認識されたとき GS1 データバーのみ送信します。	* 禁止  * J V D 0 *	許可  * J V D 1 *
データの削除 データの前か後	前方から削除  * I O Y + * →0-12(桁/0)→セット→ 設定終了	後方から削除  * L 1 0 + * →0-12(桁/0)→セット→ 設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * P 1 4 + * →0-12(桁/0)→セット →設定終了	挿入データ 2 の位置  * K 1 8 + * →0-12(桁/0)→セット →設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * I 1 6 + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 2  * M 1 A + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字  * 9 9 Q + * →アスキー2文字(c)→セット→設定終了	

15-28 読取設定 UPC-E



* 印は出荷時設定








設定	設定メニュー	
読み取り	禁止  * M V G 0 *	* 許可  * M V G 1 *
UPC-E 拡張 0 を挿入し UPC-A 12 桁に拡張し ます	* 禁止  * O V I 0 *	許可  * O V I 1 *
チェックデジット転送	禁止  * P V J 0 *	* 許可  * P V J 1 *
アドオン 2 桁の読み取り	* 禁止  * I V L 0 *	許可  * I V L 1 *
アドオン 5 桁の読み取り	* 禁止  * J V M 0 *	許可  * J V M 1 *
アドオン待ち時間	 * K V E + * →0-500(msec/120)→ セット→設定終了	
アドオンの要求 許可は UPC の読み取りにアドオン を必要とします。	* 禁止  * K V N 0 *	許可  * K V N 1 *
アドオンのセパレータ 許可は UPC とアドオンの間にスペ ースを追加します。	禁止  * L V O 0 *	* 許可  * L V O 1 *

続きがあります↓

15-28 読取設定 UPC-E (続き)


















* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
先頭から連続する0の削除	<p>* 禁止</p>  <p>* G U U 0 *</p>	<p>許可</p>  <p>* G U U 0 1 *</p>
データの削除 データの前か後	<p>前方から削除</p>  <p>* C U Q + *</p> <p>→0-8(桁/1)→セット→ 設定終了</p>	<p>後方から削除</p>  <p>* E U S + *</p> <p>→0-8(桁/0)→セット →設定終了</p>
挿入データの位置	<p>挿入データ 1 の位置</p>  <p>* 9 U W + *</p> <p>→0-8(桁/0)→セット→設 定終了</p>	<p>挿入データ 2 の位置</p>  <p>* E V O + *</p> <p>→0-8(桁/0)→セット→設 定終了</p>
挿入データ	<p>挿入データ 1</p>  <p>* B U Y + *</p> <p>→アスキー2文字(な し)→セット→設定終了</p>	<p>挿入データ 2</p>  <p>* G V 2 + *</p> <p>→アスキー2文字(な し)→セット→設定終了</p>
コードID	<p>コードIDの文字</p>  <p>* C 8 U + *</p> <p>→アスキー2文字(E)→セ ット→設定終了</p>	

15-29 読取設定 EAN-13/JAN-13



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	禁止  * M V P 0 *	* 許可  * M V P 1 *
チェックデジット転送	禁止  * N V Q 0 *	* 許可  * N V Q 1 *
アドオン 2 桁の読み取り	* 禁止  * O V R 0 *	許可  * O V R 1 *
アドオン 5 桁の読み取り	* 禁止  * P V S 0 *	許可  * P V S 1 *
アドオン待ち時間	 * K V E + * →0-500(msec/120)→セ ット→設定終了	
アドオンの要求	* 禁止  * Q V T 0 *	許可  * Q V T 1 *
アドオンのセパレータ	禁止  * I V U 0 *	* 許可  * I V U 1 *
ISBN/ISSN に変換	* 禁止  * J V V 0 *	許可  * J V V 1 *

ご案内 先頭が 0 の JAN13 を 13 桁で転送するには 15-27 読取設定 UPC-A UPC-A を EAN-13 に変換を許可に設定して下さい。

続きがあります↓

15-29 読取設定 EAN-13/JAN-13 (続き)
















* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
先頭から連続する0の削除	<p>* 禁止</p>  <p>* J 1 G 0 *</p>	<p>許可</p>  <p>* J 1 G 1 *</p>
データの削除	<p>前方から削除</p>  <p>* 0 1 C + *</p> <p>→0-13(桁/0)→セット →設定終了</p>	<p>後方から削除</p>  <p>* Q 1 E + *</p> <p>→0-13(桁/0)→セット →設定終了</p>
挿入データの位置	<p>挿入データ 1 の位置</p>  <p>* L 1 I + *</p> <p>→0-13(桁/0)→セット→ 設定終了</p>	<p>挿入データ 2 の位置</p>  <p>* P 1 M + *</p> <p>→0-13(桁/0)→セット→ 設定終了</p>
挿入データ	<p>挿入データ 1</p>  <p>* N 1 K + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p>挿入データ 2</p>  <p>* I 1 O + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>
コードID	<p>コードIDの文字</p>  <p>* B 9 S + *</p> <p>→アスキー2文字(d)→セット→設定終了</p>	

15-30 読取設定 EAN-8/JAN-8



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	禁止  * K V W 0 *	* 許可  * K V W 1 *
チェックデジット転送	禁止  * L V X 0 *	* 許可  * L V X 1 *
アドオン2桁の読み取り	* 禁止  * M V Y 0 *	許可  * M V Y 1 *
アドオン5桁の読み取り	* 禁止  * N V Z 0 *	許可  * N V Z 1 *
アドオン待ち時間	 * K V E + * →0-500(msec/120)→セ ット→設定終了	
アドオンの要求	* 禁止  * P W O 0 *	許可  * P W O 1 *
アドオンのセパレータ	禁止  * Q W 1 0 *	* 許可  * Q W 1 1 *

続きがあります↓

15-30 読取設定 EAN-8/JAN-8 (続き)














* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * B U G 0 *	許可  * B U G 1 *
データの削除	前方から削除  * G U C + * →0-8(桁/0)→セット→ 設定終了	後方から削除  * 9 U E + * →0-8(桁/0)→セット →設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * D U I + * →0-8(桁/0)→セット→設 定終了	挿入データ 2 の位置  * H U M + * →0-8(桁/0)→セット→設 定終了
挿入データ	挿入データ 1  * F U K + * →アスキー2文字(な し)→セット→設定終了	挿入データ 2  * A U O + * →アスキー2文字(な し)→セット→設定終了
コードID	コードIDの文字  * A 8 S + * →アスキー2文字(D)→ セット→設定終了	

15-31 読取設定 MSI

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	* 禁止  * I W 2 0 *	許可  * I W 2 1 *
チェックデジット確認	* Mod10  * J W 3 0 *	Mod10 送信する  * J W 3 1 *
	Mod10/10  * J W 3 2 *	Mod10/10 送信する  * J W 3 3 *
	Mod11  * J W 3 4 *	Mod11 送信する  * J W 3 5 *
	禁止  * J W 3 6 *	
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * K W 4 + * →4-48(桁/4)→セット →設定終了	最大読取桁数  * L W 5 + * →4-48(桁/48)→セット →設定終了

続きがあります↓

15-31 読取設定 MSI (続き)

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * Q 2 M 0 *	* 許可  * Q 2 M 1 *
データの削除	前方から削除  * M 2 I + * →4-48(桁/0)→セット →設定終了	後方から削除  * 0 2 K + * →4-48(桁/0)→セット →設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * J 2 0 + * →0-48(桁/0)→セット→ 設定終了	挿入データ 2 の位置  * N 2 S + * →0-48(桁/0)→セット→ 設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * L 2 Q + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 2  * P 2 U + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コードID	コードIDの文字  * H 9 Y + * →アスキー2文字(g)→セット→設定終了	

15-32 読取設定 GS1 データバー標準型 (オムニディレクショナル)



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	禁止 * M W 6 0 *	* 許可 * M W 6 1 *
データの削除	前方から削除 * 0 7 6 + * →0-16(桁/0)→セット→ 設定終了	後方から削除 * Q 7 8 + * →0-16(桁/0)→セット →設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置 * L 7 C + * →0-16(桁/0)→セット→ 設定終了	挿入データ 2 の位置 * P 7 G + * →0-16(桁/0)→セット→設 定終了
挿入データ	挿入データ 1 * N 7 E + * →アスキー2文字(な し)→セット→設定終了	挿入データ 2 * I 7 I + * →アスキー2文字(な し)→セット→設定終 了
コード ID	コード ID の文字 * F A M + * →アスキー2文字(y)→ セット→設定終了	

メモ AI カッコの設定は 15-42 読取設定 GS1-128、GS1 データバーの AI カッコ追加 / 区切り FNC1 置換 を参照して下さい。

メモ 先頭のアプリケーション識別子 01 を転送しない設定 → 次の設定をして下さい。

設定開始 → 前方から削除 → 2 → セット → 設定終了

(設定後、元に戻す場合 設定開始 → 前方から削除 → 0 → セット → 設定終了)



15-33 読取設定 GS1 データバー限定型 (リミテッド)



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	禁止 * N W 7 0 *	* 許可 * N W 7 1 *
データの削除	前方から削除 * P 7 Y + * →0-255(桁/0)→セット →設定終了	後方から削除 * J 8 0 + * →0-255(桁/0)→セッ ト→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置 * N 8 4 + * →0-15(桁/0)→セット→設 定終了	挿入データ 2 の位置 * I 8 8 + * →0-15(桁/0)→セット→ 設定終了
挿入データ	挿入データ 1 * P 8 6 + * →アスキー2文字(な し)→セット→設定終了	挿入データ 2 * K 8 A + * →アスキー2文字(な し)→セット→設定終 了
コード ID	コード ID の文字 * A A Q + * →アスキー2文字({})→ セット→設定終了	

メモ AI カッコの設定は 15-42 読取設定 GS1-128、GS1 データバーの AI カッコ追加 / 区切り FNC1 置換 を参照して下さい。

メモ 先頭のアプリケーション識別子 01 を転送しない設定 → 次の設定をして下さい。

設定開始 → 前方から削除 → 2 → セット → 設定終了

(設定後、元に戻す場合 設定開始 → 前方から削除 → 0 → セット → 設定終了)



15-34 読取設定 GS1 データバー拡張型 (エクспанデッド)



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	<p>禁止</p> <p>* 0 W 8 0 *</p>	<p>* 許可</p> <p>* 0 W 8 1 *</p>
最小/最大読取桁数	<p>最小読取桁数</p> <p>* P W 9 + *</p> <p>→4-74(桁/4)→セット→ 設定終了</p>	<p>最大読取桁数</p> <p>* Q W A + *</p> <p>→4-47(桁/74)→セット →設定終了</p>
データの削除	<p>前方から削除</p> <p>* M 8 C + *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット →設定終了</p>	<p>後方から削除</p> <p>* O 8 E + *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット →設定終了</p>
挿入データの位置	<p>挿入データ 1 の位置</p> <p>* J 8 I + *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→ 設定終了</p>	<p>挿入データ 2 の位置</p> <p>* N 8 M + *</p> <p>→0-255(桁/0)→セット→ 設定終了</p>
挿入データ	<p>挿入データ 1</p> <p>* L 8 K + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p>挿入データ 2</p> <p>* P 8 O + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>
コード ID	<p>コード ID の文字</p> <p>* C A S + *</p> <p>→アスキー2文字()→ セット→設定終了</p>	

メモ AI カッコの設定は 15-42 読取設定 GS1-128、GS1 データバーの AI カッコ追加 / 区切り FNC1 置換 を参照して下さい。

15-35 読取設定 Codablock A



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	<p>* 禁止</p> <p>* I W B 0 *</p>	<p>許可</p> <p>* I W B 1 *</p>
最小/最大読取桁数	<p>最小読取桁数</p> <p>* J W C + *</p> <p>→1-600(桁/1)→セット →設定終了</p>	<p>最大読取桁数</p> <p>* L W E + *</p> <p>→1-600(桁/600)→セッ ト→設定終了</p>
先頭から連続する0の削除	<p>* 禁止</p> <p>* 9 Z I 0 *</p>	<p>許可</p> <p>* 9 Z I 1 *</p>
データの削除	<p>前方から削除</p> <p>* E Z E + *</p> <p>→1-600(桁/0)→セット →設定終了</p>	<p>後方から削除</p> <p>* G Z G + *</p> <p>→1-600(桁/0)→セット →設定終了</p>
挿入データの位置	<p>挿入データ 1 の位置</p> <p>* B Z K + *</p> <p>→1-600(桁/0)→セット→ 設定終了</p>	<p>挿入データ 2 の位置</p> <p>* F Z O + *</p> <p>→1-600(桁/0)→セット→ 設定終了</p>
挿入データ	<p>挿入データ 1</p> <p>* D Z M + *</p> <p>→アスキー2文字(な し)→セット→設定終了</p>	<p>挿入データ 2</p> <p>* H Z Q + *</p> <p>→アスキー2文字(な し)→セット→設定終了</p>
コード ID	<p>コード ID の文字</p> <p>* A 9 I + *</p> <p>→アスキー2文字(V)→セ ット→設定終了</p>	

15-36 読取設定 Codablock F



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	* 禁止  * N W G 0 *	許可  * N W G 1 *
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * 0 W H + * →1-2048(桁/1)→セッ ト→設定終了	最大読取桁数  * Q W J + * →1-2048(桁/2048)→セ ット→設定終了
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * M 4 Y 0 *	許可  * M 4 Y 1 *
データの削除	前方から削除  * I 4 U + * →1-2048(桁/0)→セッ ト→設定終了	後方から削除  * K 4 W + * →1-2048(桁/0)→セッ ト→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * P 5 0 + * →1-2048(桁/0)→セット →設定終了	挿入データ 2 の位置  * K 5 4 + * →1-2048(桁/0)→セット →設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * I 5 2 + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 2  * M 5 6 + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コードID	コードIDの文字  * A 9 I + * →アスキー2文字(q)→セ ット→設定終了	

15-37 読取設定 PDF417



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	禁止  * J W L 0 *	* 許可  * J W L 1 *
MacroPDF417 読み取り MacroPDF417 は1つのデータを複数のシンボルに分割した PF417 です。許可は、複数の MacroPDF417 をすべて読み取ってから1つのデータとして送信します。	禁止  * K W M 0 *	* 許可  * K W M 1 *
低品質 PDF417 読み取り 低品質な印刷を読みやすくしますが通常の印刷は読みにくくなることがあります。	* 禁止  * Q W S 0 *	許可  * Q W S 1 *
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * L W N + * →1-2750(桁/1)→セット →設定終了	最大読取桁数  * N W P + * →1-2750(桁/2750)→ セット→設定終了

続きがあります↓

15-37 読取設定 PDF417 (続き)



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
先頭から連続する0の削除	<p>* 禁止</p>  <p>* J 5 C 0 *</p>	<p>許可</p>  <p>* J 5 C 1 *</p>
データの削除	<p>前方から削除</p>  <p>* 0 5 8 + *</p> <p>→1-2750(桁/0)→セット →設定終了</p>	<p>後方から削除</p>  <p>* Q 5 A + *</p> <p>→1-2750(桁/0)→セッ ト→設定終了</p>
挿入データの位置	<p>挿入データ 1 の位置</p>  <p>* L 5 E + *</p> <p>→1-2750(桁/0)→セット→ 設定終了</p>	<p>挿入データ 2 の位 置</p>  <p>* P 5 I + *</p> <p>→1-2750(桁/0)→セット →設定終了</p>
挿入データ	<p>挿入データ 1</p>  <p>* N 5 G + *</p> <p>→アスキー2文字(な し)→セット→設定終了</p>	<p>挿入データ 2</p>  <p>* I 5 K + *</p> <p>→アスキー2文字(な し)→セット→設定終了</p>
コードID	<p>コードIDの文字</p>  <p>* E A C + *</p> <p>→アスキー2文字(r)→ セット→設定終了</p>	

15-38 読取設定 MicroPDF417



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	<p>* 禁止</p>  <p>* J W U 0 *</p>	<p>許可</p>  <p>* J W U 1 *</p>
最小/最大読取桁数	<p>最小読取桁数</p>  <p>* K W V + *</p> <p>→1-366(桁/1)→セット →設定終了</p>	<p>最大読取桁数</p>  <p>* M W X + *</p> <p>→1-366(桁/366)→セ ット→設定終了</p>
先頭から連続する0の削除	<p>* 禁止</p>  <p>* G Y Q 0 *</p>	<p>許可</p>  <p>* G Y Q 1 *</p>
データの削除	<p>前方から削除</p>  <p>* C Y M + *</p> <p>→1-366(桁/0)→セット →設定終了</p>	<p>後方から削除</p>  <p>* E Y 0 + *</p> <p>→1-366(桁/0)→セット →設定終了</p>
挿入データの位置	<p>挿入データ 1 の位置</p>  <p>* 9 Y S + *</p> <p>→0-366(桁/0)→セット→ 設定終了</p>	<p>挿入データ 2 の位置</p>  <p>* D Y W + *</p> <p>→0-366(桁/0)→セット→ 設定終了</p>
挿入データ	<p>挿入データ 1</p>  <p>* B Y U + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p>挿入データ 2</p>  <p>* F Y Y + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>
コード ID	<p>コード ID の文字</p>  <p>* F 9 E + *</p> <p>→アスキー2文字(R)→セ ット→設定終了</p>	

15-39 読取設定 TLC39 (TCIF Linked Code 39)



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	* 禁止  * P X 8 0 *	許可  * P X 8 1 *
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * D Z 4 0 *	許可  * D Z 4 1 *
データの削除	前方から削除  * 9 Z 0 + * →0-48(桁/0)→セット →設定終了	後方から削除  * B Z 2 + * →0-48(桁/0)→セット →設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * F Z 6 + * →0-48(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 2 の位置  * A Z A + * →0-48(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * H Z 8 + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 2  * C Z C + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コードID	コードIDの文字  * H 9 G + * →アスキー2文字(T)→セット→設定終了	

15-40 読取設定 GS1 合成シンボル (GS1 Composite)



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	<p>* 禁止</p> <p>* I X 1 0 *</p>	<p>許可</p> <p>* I X 1 1 *</p>
UPC/EAN バージョン UPC/EAN を含む GS1 合成シンボルを読む設定	<p>* 禁止</p> <p>* J X 2 0 *</p>	<p>許可</p> <p>* J X 2 1 *</p>
最小/最大読取桁数	<p>最小読取桁数</p> <p>* K X 3 + *</p> <p>→1-2435(桁/0)→セット</p> <p>→設定終了</p>	<p>最大読取桁数</p> <p>* M X 5 + *</p> <p>→1-2435(桁/2435)→セット</p> <p>→設定終了</p>

続きがあります ↓

15-40 読取設定 GS1 合成シンボル (GS1 Composite) (続き)



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * J 7 A 0 *	許可  * J 7 A 1 *
データの削除	前方から削除  * 0 7 6 + * →0-2435(桁/0)→セッ ト→設定終了	後方から削除  * Q 7 8 + * →0-2435(桁/0)→セッ ト→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * L 7 C + * →0-2435(桁/0)→セット →設定終了	挿入データ 2 の位置  * P 7 G + * →0-2435(桁/0)→セット →設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * N 7 E + * →アスキー2文字(なし) →セット→設定終了	挿入データ 2  * I 7 I + * →アスキー2文字(なし) →セット→設定終了

15-41 読取設定 GS1 エミュレーション



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
GS1 エミュレーション	*GS1-128 エミュレーション  * Q X 0 0 *	GS1 データバーエミュレーション  * Q X 0 1 *
	GS1 コード拡張オフ  * Q X 0 2 *	EAN8 から EAN13 に変換  * Q X 0 3 *
	GS1 エミュレーション無し  * Q X 0 4 *	

15-42 読取設定 GS1-128、GS1 データバー、GS1 DataMatrix の AI カッコ追加 / 区切り FNC1 置換 注

* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
AI カッコ()追加 許可に設定すると GS1-128、GS1 データバー、GS Datamatrix の AI に()を付けて転送します。 例 01045123456789061718... →(01)04512345678906(17)18... メモ AI=アプリケーション識別子	* 禁止 AI に()カッコを付けない  * B C G 0 *	許可 AI に()カッコを付ける  * B C G 1 * メモ 許可に設定してもカッコが正しく出ない場合、第 15 章 15-3 キーボード配列を適切に設定して下さい。 メモ 許可に設定すると GS1 の FNC1(GS、0x1D)は転送しません。
AI カッコ指定 AI を囲む左右のキャラクタを指定する設定です。 例 01045123456789061718... →A01A04512345678906A17A18... メモ 左カッコ(Hex 28)のみを設定すると初期値に戻り AI に左カッコと右カッコが付くようになります。	AI カッコ指定  * C C H + * →アスキー1文字() セット→設定終了	
区切り FNC1 置換 許可に設定すると GS1-128、GS1 データバーの区切り FNC1(ASCII の GS、Hex の 1D)を文字 4 文字の<GS>に置換します。又、読取データの直前に GS1 AIM ID を追加します GS1 AIM ID は下記の通りです。 GS1-128 jC1 GS1 データバー各種 je0 GS1 合成シンボル je0 GS1 DataMatrix jd2	* 禁止 置換しない  * D C I 0 * メモ 区切り FNC1 を ASCII の GS(Hex の 1D)として必要な場合は区切り FNC1 置換は禁止の設定で使用し、第 15 章 15-16 制御文字の転送を許可に設定すると FNC1 を GS(Hex の 1D、0x1D)として転送します。但し USB HID と Bluetooth HID では FNC1(Hex の 1D)は F12 キーになります。	許可 置換する  * D C I 1 * メモ 許可にすると初期値では FNC1 を文字 4 文字の<GS>(Hex の 3C 47 53 3E)として転送します。この 4 文字<GS>は下記「区切り FNC1 指定」の設定で他のキャラクタ 1 文字に変更できます。
区切り FNC1 指定 区切り FNC1 置換が許可のとき転送する初期値の<GS>(4 文字)を任意の 1 キャラクタに指定します。 例 ...17181231301<GS>10ABC →...17181231301,10ABC メモ GS(Hex 1D)を設定すると初期値の<GS>(4 文字)を転送します。	区切り FNC1 指定  * E C J + * →アスキー1文字 (<GS>)→セット→設定終了	

注 GS1 DataMatrix はファームウェアバージョン 0001-0013 以上が対応します。

例 GS1-128 のデータが <FNC1>0124512345678900171812003010<FNC1>10A1234 のときの各設定と転送データ

AI カッコ()追加	区切 FNC1 置換	制御文字の転送	転送データ
禁止	禁止	禁止	012451234567890017181200301010A1234
	許可 ※2	許可 ※1	01245123456789001718120030100x1D10A1234
許可	禁止	禁止	jC10124512345678900171812003010<GS>10A1234
		許可	jC10124512345678900171812003010<GS>10A1234
	許可	禁止	(01)24512345678900(17)181200(30)10(10)A1234
		許可	(01)24512345678900(17)181200(30)10(10)A1234
		禁止	jC1(01)24512345678900(17)181200(30)10(10)A1234
		許可	jC1(01)24512345678900(17)181200(30)10(10)A1234

※1 制御文字 0x1D(ASCII の GS)は、USB HID と Bluetooth HID では F12 キーになります。

※2 この<GS>は表示通りの 4 文字です。制御文字 0x1D(ASCII の GS)ではありません。

15-43 読取設定 QR コード



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り 注意 日本語データを読む設定は第 15 章 15-3 出力文字コードを参照して下さい。	禁止 * Q X 9 0 *	* 許可 * Q X 9 1 *
連結機能	禁止 * N X F 0 *	* 許可 * N X F 1 *
最小/最大読取桁数	最小読取桁数 * I X A + * →1-7089(桁/1)→セツ ト→設定終了	最大読取桁数 * K X C + * →1-7089(桁/7089)→セ ット→設定終了
先頭から連続する 0 の削除	* 禁止 * 0 5 Q 0 *	許可 * 0 5 Q 1 *
データの削除	前方から削除 * K 5 M + * →0-7089(桁/0)→セツ ト→設定終了	後方から削除 * M 5 0 + * →0-7089(桁/0)→セツ ト→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置 * Q 5 S + * →0-7089(桁/0)→セツ →設定終了	挿入データ 2 の位置 * L 5 W + * →0-7089(桁/0)→セツ →設定終了
挿入データ	挿入データ 1 * J 5 U + * →アスキー-2 文字(なし)→セツ ト→設定終了	挿入データ 2 * N 5 Y + * →アスキー-2 文字(なし)→セツ ト→設定終了
コード ID	コード ID の文字 * G A E + * →アスキー-2 文字(s)→ セツト→設定終了	

15-44 読取設定 Data Matrix



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	禁止  * 0 X G 0 *	* 許可  * 0 X G 1 *
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * P X H + * →1-3116(桁/1)→セツ ト→設定終了	最大読取桁数  * I X J + * →1-3116(桁/3116)→ セツト→設定終了
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * Q 6 I 0 *	許可  * Q 6 I 1 *
データの削除	前方から削除  * M 6 E + * →0-3116(桁/0)→セツ ト→設定終了	後方から削除  * 0 6 G + * →0-3116(桁/0)→セツ ト→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * J 6 K + * →0-3116(桁/0)→セツト →設定終了	挿入データ 2 の位置  * N 6 0 + * →0-3116(桁/0)→セツト →設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * L 6 M + * →アスキー2文字(なし)→セツト→設定終了	挿入データ 2  * P 6 Q + * →アスキー2文字(なし)→セツト→設定終了
コードID	コードIDの文字  * B A I + * →アスキー2文字(w)→ セツト→設定終了	

15-45 読取設定 Maxi Code



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	* 禁止  * L X M 0 *	許可  * L X M 1 *
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * M X N + * →1-150(桁/1)→セッ ト→設定終了	最大読取桁数  * N X 0 + * →1-150(桁/150)→セッ ト→設定終了
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * M 6 W 0 *	許可  * M 6 W 1 *
データの削除	前方から削除  * I 6 S + * →0-150(桁/0)→セッ ト→設定終了	後方から削除  * K 6 U + * →0-150(桁/0)→セッ ト→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * O 6 Y + * →0-150(桁/0)→セット →設定終了	挿入データ 2 の位置  * K 7 Z + * →0-150(桁/0)→セット→ 設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * I 7 0 + * →アスキー2文字(なし) →セット→設定終了	挿入データ 2  * M 7 4 + * →アスキー2文字(なし) →セット→設定終了
コードID	コードIDの文字  * D A K + * →アスキー2文字(x)→ セット→設定終了	

15-46 読取設定 Aztec Code



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	<p>禁止</p> <p>* 0 X P 0 *</p>	<p>* 許可</p> <p>* 0 X P 1 *</p>
連結機能	<p>禁止</p> <p>* L X V 0 *</p>	<p>* 許可</p> <p>* L X V 1 *</p>
最小/最大読取桁数	<p>最小読取桁数</p> <p>* P X Q + *</p> <p>→1-3832(桁/1)→セツ ト→設定終了</p>	<p>最大読取桁数</p> <p>* I X S + *</p> <p>→1-3832(桁/3832)→セ ット→設定終了</p>
先頭から連続する0の削除	<p>* 禁止</p> <p>* 0 7 0 0 *</p>	<p>許可</p> <p>* 0 7 0 1 *</p>
データの削除	<p>前方から削除</p> <p>* K 7 K + *</p> <p>→0-3832(桁/0)→セツ ト→設定終了</p>	<p>後方から削除</p> <p>* M 7 M + *</p> <p>→0-3832(桁/0)→セツ ト→設定終了</p>
挿入データの位置	<p>挿入データ 1 の位置</p> <p>* Q 7 Q + *</p> <p>→0-3832(桁/0)→セツ ト→設定終了</p>	<p>挿入データ 2 の位置</p> <p>* L 7 U + *</p> <p>→0-3832(桁/0)→セツ ト→設定終了</p>
挿入データ	<p>挿入データ 1</p> <p>* J 7 S + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セツト→設定終了</p>	<p>挿入データ 2</p> <p>* N 7 W + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セツト→設定終了</p>
コードID	<p>コードIDの文字</p> <p>* H A O + *</p> <p>→アスキー2文字(z)→セツト→設定終了</p>	

15-47 読取設定 Chinese Sensible (Han Xin Code) / 中国漢信コード



* 印は出荷時設定



















設定	設定メニュー	
読み取り	<p>* 禁止</p> <p>* N X X 0 *</p>	<p>許可</p> <p>* N X X 1 *</p>
最小/最大読取桁数	<p>最小読取桁数</p> <p>* 0 X Y + *</p> <p>→1-7833(桁/1)→セット ト→設定終了</p>	<p>最大読取桁数</p> <p>* I Y 0 + *</p> <p>→1-7833(桁/7833)→セット ト→設定終了</p>
先頭から連続する0の削除	<p>* 禁止</p> <p>* D V 8 0 *</p>	<p>許可</p> <p>* D V 8 1 *</p>
データの削除	<p>前方から削除</p> <p>* 9 V 4 + *</p> <p>→0-7833(桁/0)→セット ト→設定終了</p>	<p>後方から削除</p> <p>* B V 6 + *</p> <p>→0-7833(桁/0)→セット ト→設定終了</p>
挿入データの位置	<p>挿入データ 1 の位置</p> <p>* F V A + *</p> <p>→0-7833(桁/0)→セット ト→設定終了</p>	<p>挿入データ 2 の位置</p> <p>* A V E + *</p> <p>→0-7833(桁/0)→セット ト→設定終了</p>
挿入データ	<p>挿入データ 1</p> <p>* H V C + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p>挿入データ 2</p> <p>* C V G + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>
コードID	<p>コードIDの文字</p> <p>* E 8 W + *</p> <p>→アスキー2文字(H)→セット→設定終了</p>	

15-48 読取設定 2次元郵便コード



* 印は出荷時設定

2次元郵便コードの読み取りは、出荷時は読取禁止です。下記から1つの許可（読取許可）のみ設定できます。

設定メニュー 読取禁止/読取許可		
<p>* 読取禁止</p>  <p>* I Z Q 0 *</p>	<p>オーストラリア郵便 許可</p>  <p>* I Z Q 1 *</p>	<p>InfoMail 許可</p>  <p>* I Z Q 2 *</p>
<p>日本郵便 許可</p>  <p>* I Z Q 3 *</p>	<p>KIX(オランダ郵便) 許可</p>  <p>* I Z Q 4 *</p>	<p>Planet 許可</p>  <p>* I Z Q 5 *</p>
<p>Postnet 許可</p>  <p>* I Z Q 6 *</p>	<p>イギリス郵便 許可</p>  <p>* I Z Q 7 *</p>	<p>InfoMail(英国) 許可</p>  <p>* I Z Q 8 *</p>
<p>Postal-4i 許可</p>  <p>* I Z Q 9 *</p>	<p>Intelligent Mail 許可</p>  <p>* I Z Q A *</p>	<p>PostnetB/B'Fields 許可</p>  <p>* I Z Q B *</p>
<p>Planet/Postnet 許可</p>  <p>* I Z Q C *</p>	<p>Planet/Postal-4i 許可</p>  <p>* I Z Q D *</p>	<p>Postnet/Postal-4i 許可</p>  <p>* I Z Q E *</p>
<p>Planet/InfoMail 許可</p>  <p>* I Z Q F *</p>	<p>Postnet/InfoMail 許可</p>  <p>* I Z Q G *</p>	<p>Postal-4i/InfoMail 許可</p>  <p>* I Z Q H *</p>

続きがあります↓

15-48 読取設定 2次元郵便コード（続き）



* 印は出荷時設定

2次元郵便コードの読み取りは、出荷時は読取禁止です。下記から1つの許可（読取許可）のみ設定できます。








設定メニュー 読取禁止/読取許可		
Planet/PostnetB/B'Fields 許可  * I Z Q I *	Postal-4i/PostnetB/B'Fields 許可  * I Z Q J *	InfoMail/PostnetB/B'Fields 許可  * I Z Q K *
Planet/Postnet/Postal-4i 許可  * I Z Q L *	Planete/Posnet/InfoMail 許可  * I Z Q M *	Planet/Postal-4i/InfoMail 許可  * I Z Q N *
Postnet/Postal-4i/Infomail 許可  * I Z Q O *	Planet/Postal-4i/PostnetB/B'Fields 許可  * I Z Q P *	Planet/InfoMail/PostnetB/B'Fields 許可  * I Z Q Q *
Postal-4i/Infomail/ PostnetB/B'Fields 許可  * I Z Q R *	Planet/Postal-4i/InfoMail/Postnet 許可  * I Z Q S *	Planet/Postal-4i/InfoMail/PostnetB/B'Fields 許可  * I Z Q T *
カナダ郵便 許可  * I Z Q U *		

続きがあります↓

15-48 読取設定 2次元郵便コード (続き)



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
Postnet チェックデジット転送	* 禁止  * J Z R 0 *	許可  * J Z R 1 *
Postnet チェックデジット転送	禁止  * K Z S 0 *	* 許可  * K Z S 1 *
オーストラリア郵便 解釈	* バー出力  * M Z U 0 *	数字 N テーブル  * M Z U 1 *
	英数字 C テーブル  * M Z U 2 * →1-7833(桁/1)→セッ ト→設定終了	N と C の組み合わせ  * M Z U 3 * →1-7833(桁/7833)→セ ット→設定終了

続きがあります ↓

15-48 読取設定 2次元郵便コード (続き)



* 印は出荷時設定

先頭から連続する0の削除

設定メニュー		
<p>オーストラリア郵便</p> <p>* 禁止</p> <p>* D T A 0 *</p> <p>許可</p> <p>* D T A 1 *</p>	<p>InfoMail</p> <p>* 禁止</p> <p>* F S 4 0 *</p> <p>許可</p> <p>* F S 4 1 *</p>	<p>日本郵便 許可</p> <p>* 禁止</p> <p>* F W 0 0 *</p> <p>許可</p> <p>* F W 0 1 *</p>
<p>Planet</p> <p>* 禁止</p> <p>* G W S 0 *</p> <p>許可</p> <p>* G W S 1 *</p>	<p>Postnet</p> <p>* 禁止</p> <p>* E X Y 0 *</p> <p>許可</p> <p>* E X Y 1 *</p>	<p>イギリス郵便</p> <p>* 禁止</p> <p>* 9 T 0 0 *</p> <p>許可</p> <p>* 9 T 0 1 *</p>
<p>Postal-4i</p> <p>* 禁止</p> <p>* 9 X K 0 *</p> <p>許可</p> <p>* 9 X K 1 *</p>	<p>Intelligent Mail</p> <p>* 禁止</p> <p>* D X 6 0 *</p> <p>許可</p> <p>* D X 6 1 *</p>	<p>カナダ郵便</p> <p>* 禁止</p> <p>* F U 2 0 *</p> <p>許可</p> <p>* F U 2 1 *</p>
<p>KIX(オランダ郵便)</p> <p>* 禁止</p> <p>* B W E 0 *</p> <p>許可</p> <p>* B W E 1 *</p>		


続きがあります↓

15-48 読取設定 2次元郵便コード (続き)



* 印は出荷時設定

データの前方から削除

設定メニュー		
<p>オーストラリア郵便</p>  <p>* 9 T 6 + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>InfoMail</p>  <p>* B S 0 + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>日本郵便</p>  <p>* A V W + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>
<p>Planet</p>  <p>* C W 0 + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>Postnet</p>  <p>* A X U + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>イギリス郵便</p>  <p>* E T K + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>
<p>Postal-4i</p>  <p>* E X G + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>Intelligent Mail</p>  <p>* 9 X 2 + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>カナダ郵便</p>  <p>* A T Y + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>
<p>KIX(オランダ郵便)</p>  <p>* I Z Q A *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>		

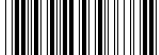


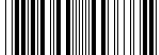






続きがあります↓

15-48 読取設定 2次元郵便コード (続き)



* 印は出荷時設定

データの後方から削除

設定メニュー		
<p>オーストラリア郵便</p>  <p>* B T 8 + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>InfoMail</p>  <p>* D S 2 + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>日本郵便</p>  <p>* C V Y + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>
<p>Planet</p>  <p>* E W Q + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>Postnet</p>  <p>* C X W + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>イギリス郵便</p>  <p>* G T M + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>
<p>Postal-4i</p>  <p>* G X I + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>Intelligent Mail</p>  <p>* B X 4 + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>カナダ郵便</p>  <p>* D U O + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>
<p>KIX(オランダ郵便)</p>  <p>* 9 W C + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>		




続きがあります↓

15-48 読取設定 2次元郵便コード (続き)



* 印は出荷時設定

挿入データ 1 の位置

設定メニュー		
<p>オーストラリア郵便</p>  <p>* F T C + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>InfoMail</p>  <p>* H S 6 + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>日本郵便</p>  <p>* H W 2 + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>
<p>Planet</p>  <p>* 9 W U + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>Postnet</p>  <p>* H Y 0 + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>イギリス郵便</p>  <p>* B T Q + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>
<p>Postal-4i</p>  <p>* B X M + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>Intelligent Mail</p>  <p>* F X 8 + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>カナダ郵便</p>  <p>* H U 4 + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>
<p>KIX(オランダ郵便)</p>  <p>* D W G + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>		

続きがあります ↓

15-48 読取設定 2次元郵便コード (続き)



* 印は出荷時設定

挿入データ 1 のキャラクタ

設定メニュー		
<p>オーストラリア郵便</p> <p>* H T E + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p>InfoMail</p> <p>* A S 8 + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p>日本郵便</p> <p>* A W 4 + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>
<p>Planet</p> <p>* B W W + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p>Postnet</p> <p>* A Y 2 + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p>イギリス郵便</p> <p>* D T S + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>
<p>Postal-4i</p> <p>* D X 0 + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p>Intelligent Mail</p> <p>* H X A + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p>カナダ郵便</p> <p>* A U 6 + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>
<p>KIX(オランダ郵便)</p> <p>* F W I + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>		

続きがあります↓

15-48 読取設定 2次元郵便コード (続き)



* 印は出荷時設定

挿入データ 2 の位置

設定メニュー		
<p>オーストラリア郵便</p>  <p>* A T G + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>InfoMail</p>  <p>* C S A + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>日本郵便</p>  <p>* C W 6 + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>
<p>Planet</p>  <p>* D W Y + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>Postnet</p>  <p>* C Y 4 + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>イギリス郵便</p>  <p>* F T U + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>
<p>Postal-4i</p>  <p>* F X Q + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>Intelligent Mail</p>  <p>* A X C + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>	<p>カナダ郵便</p>  <p>* C U 8 + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>
<p>KIX(オランダ郵便)</p>  <p>* H W K + *</p> <p>→0-80(桁/0)→セット→設定終了</p>		

続きがあります ↓

15-48 読取設定 2次元郵便コード (続き)



* 印は出荷時設定

挿入データ 2 のキャラクタ

設定メニュー		
<p>オーストラリア郵便</p> <p>* C T I + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p>InfoMail</p> <p>* E S C + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p>日本郵便</p> <p>* E W 8 + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>
<p>Planet</p> <p>* G X 0 + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p>Postnet</p> <p>* E Y 6 + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p>イギリス郵便</p> <p>* H T W + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>
<p>Postal-4i</p> <p>* H X S + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p>Intelligent Mail</p> <p>* C X E + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>	<p>カナダ郵便</p> <p>* E U A + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>
<p>KIX(オランダ郵便)</p> <p>* A W M + *</p> <p>→アスキー2文字(なし)→セット→設定終了</p>		

続きがあります↓

15-48 読取設定 2次元郵便コード (続き)



* 印は出荷時設定





コード ID

設定メニュー		
<p>オーストラリア郵便</p>  <p>* D 8 M + *</p> <p>→アスキー2文字(A)→セット→設定終了</p>	<p>InfoMail</p>  <p>* G 8 G + *</p> <p>→アスキー2文字(.)→セット→設定終了</p>	<p>日本郵便</p>  <p>* A 9 0 + *</p> <p>→アスキー2文字(J)→セット→設定終了</p>
<p>Planet</p>  <p>* E 9 4 + *</p> <p>→アスキー2文字(L)→セット→設定終了</p>	<p>Postnet</p>  <p>* B 9 A + *</p> <p>→アスキー2文字(P)→セット→設定終了</p>	<p>イギリス郵便</p>  <p>* F 8 0 + *</p> <p>→アスキー2文字(B)→セット→設定終了</p>
<p>Postal-4i</p>  <p>* 9 9 8 + *</p> <p>→アスキー2文字(N)→セット→設定終了</p>	<p>Intelligent Mail</p>  <p>* G 9 6 + *</p> <p>→アスキー2文字(M)→セット→設定終了</p>	<p>カナダ郵便</p>  <p>* H 8 Q + *</p> <p>→アスキー2文字(C)→セット→設定終了</p>
<p>KIX(オランダ郵便)</p>  <p>* C 9 2 + *</p> <p>→アスキー2文字(K)→セット→設定終了</p>		

15-49 読取設定 1次元郵便コード 中国郵便コード (香港 2 of 5)
















* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	* 禁止  * P Z X 0 *	許可  * P Z X 1 *
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * Q Z Y + * →2-80(桁/4)→セット →設定終了	最大読取桁数  * I Z Z + * →2-80(桁/80)→セット →設定終了
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * B Y C 0 *	許可  * B Y C 1 *
データの削除	前方から削除  * G Y 8 + * →0-80(桁/0)→セット →設定終了	後方から削除  * 9 Y A + * →0-80(桁/0)→セット→ 設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * D Y E + * →0-80(桁/0)→セット→ 設定終了	挿入データ 2 の位置  * H Y I + * →0-80(桁/0)→セット→ 設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * F Y G + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 2  * A Y K + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コードID	コードIDの文字  * D 9 C + * →アスキー2文字(Q)→ セット→設定終了	

15-50 読取設定 1次元郵便コード 韓国郵便コード



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	* 禁止  * U 0 0 0 *	許可  * U 0 0 1 *
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * V 0 1 + * →2-80(桁/4)→セット →設定終了	最大読取桁数  * W 0 2 + * →2-80(桁/48)→セット →設定終了
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * G S W 0 *	許可  * G S W 1 *
データの削除	前方から削除  * C S S + * →0-80(桁/0)→セット →設定終了	後方から削除  * E S U + * →0-80(桁/0)→セット →設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * 9 S Y + * →0-80(桁/0)→セット→ 設定終了	挿入データ 2 の位置  * E T 2 + * →0-80(桁/0)→セット→ 設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * C T O + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 2  * G T 4 + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コードID	コードIDの文字  * B 8 K + * →アスキー2文字(?)→セット→設定終了	

第 16 章 保証と修理

16-1 保証

■保証について

本製品には保証書が添付されておりません。ただし、本製品に表示している製造番号（シリアルナンバー、S/N）によって保証期間を管理し、保証規定に基づく保証対象製品としております。

■保証規定

保証規定はお客様が購入された本製品について、修理などに関する保証の条件等を規定するものです。

■保証期間

お買い上げ日から 1 年間

■無償保証

製品が正常な使用状態のもとで故障した場合、保証期間内に当社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、保証期間内であっても次に掲げる場合は無償保証の適用を受けることができません。

1. 修理依頼時に、修理依頼書をご提示いただけない場合。
2. 使用上の誤り（落下による衝撃など）によって故障及び損傷が発生した場合。
3. お客様が製品を改造、分解、修理された場合。
4. お客様が、当社が指定するもの以外の機器と接続したことによって故障または破損した場合。
5. お客様による運送または移動の際に、落下または衝撃によって故障または破損した場合。
6. 火災、地震、風水害、落雷およびそのほかの天災地変、または異常電圧などの外部的要因によって故障または破損した場合。
7. 消耗品(ケーブル、電池)は無償保証の対象外のため有償交換となります。
8. 以上に掲げる場合のほか、故障の原因がお客様の使用方法にあると認められた場合。

■保証範囲

- ・保証規定は、製品についてのみ無償修理をお約束するもので、製品の故障またはお取り扱い上の注意に反する使用により発生した損害、損失については、弊社は一切補償いたしません。
- ・修理または交換にかかる付帯費用（運送費など）は一切補償いたしません。
- ・保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

16-2 修理

●修理について

故障と思われる症状が発生した場合は、説明書などをお読みいただき、正しい設定・接続ができているかをご確認ください。症状が改善されない場合は、弊社ホームページ掲載の「修理依頼書」を印刷の上、修理依頼書に必要事項をご記入いただき、製品に添付して指定の宛先まで現品をお送りください。

修理依頼品の発送送料はお客様のご負担とさせていただきますのでご了承ください。

●修理依頼・製品の送付先について

修理をご依頼になる場合は、まず弊社にご相談ください。

●修理依頼書の入手先

弊社ホームページからダウンロードしてください。

お問い合わせ先

株式会社エイポック

ホームページ <https://www.a-poc.co.jp/>

メール info_mail@a-poc.co.jp

〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 4-36-1 ナイス第 2 ビル 5F

電話 045-508-5201 FAX 045-501-5202

付録A シンボル一覧表（コードID表）

第15章 15-15 コードIDの転送を許可に設定すると、すべてのバーコードに本製品の仕様-コードIDを読取データに追加します。

第15章 15-42 区切りFNC1 置換を許可に設定すると、GS1-128、GS1データバー、GS1合成シンボル、GS1 DataMatrixのみ、読取データの直前にAIM IDを追加します。(GS1 DataMatrixはファームウェアバージョン0001-0013以上が対応)

メモ *m*は AIM モディファイ（変更子）の値です。詳細は ISO/IEC 15424 Information technology -- Automatic identification and data capture techniques -- Data Carrier Identifiers (including Symbology Identifiers)を参照して下さい。

リニアシンボル（1次元バーコード）

シンボル(バーコード)	AIMの仕様		本製品の仕様	
	AIM ID	モディファイ(m)	コードID	Hex
Codabar (NW-7)	J <i>Fm</i>	0-1	a	61
Code 11	JH3		h	68
Code 128	J <i>Cm</i>	0,1,2,4	j	6A
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	JX0		<	3C
Code 39 (Full ASCIIモード対応)	J <i>Am</i>	0,1,3,4,5,7	B	62
TCIF linked Code 39 (TLC39)	JL2		T	54
Code 93 and 93i	J <i>Gm</i>	0-9,A-Z,a-m	i	69
EAN-13	J <i>Em</i>	0,1,3,4	d	64
EAN-13 (Bookland EANを含む)	JE0		d	64
EAN-13 アドオン付き	JE3		d	64
EAN-13 with Extended Coupon Code	JE3		d	64
EAN-8	JE4		D	44
EAN-8 アドオン付き	JE3		D	44
GS1				
GS1データバー	j <i>em</i>	0	y	79
GS1データバー限定型	j <i>em</i>		{	7B
GS1データバー拡張型	j <i>em</i>		}	7D
GS1-128	J <i>C1</i>		l	49
2 of 5				
中国郵便コード(香港2of5)	JX0		Q	51
Interleaved 2 of 5 (ITF)	J <i>lm</i>	0,1,3	e	65
Matrix 2 of 5	JX0		m	6D
NEC 2 of 5	JX0		Y	59
Straight 2 of 5 IATA	J <i>Rm</i>	0,1,3	f	66
Straight 2 of 5 Industrial	JS0		f	66
MSI	J <i>Mm</i>	0,1	g	67
UPC		0,1,2,3,8,9,A,B,C		
UPC-A	JE0		c	63
UPC-A アドオン付き	JE3		c	63
UPC-A with Extended Coupon Code	JE3		c	63
UPC-E	JE0		E	45
EAN-E アドオン付き	JE3		E	45
UPC-E1	JX0		E	45

付録A (続き) シンボル一覧表 (コードID表)

2次元シンボル (2次元バーコード)

シンボル(バーコード)	AIMの仕様		本製品の仕様	
	AIM ID	モディファイ(m)	コードID	Hex
Aztec Code	Jzm	0-9, A-C	z	7A
Chinese Senible Code (漢信コード)	JX0		H	48
Codablock A	JO6	0,1,4,5,6	V	56
Codablock F	JOm	0,1,4, 5,6	q	71
Code 49	JTm	0,1,2,4	l	6C
Data Matrix	Jdm	0-6	w	77
GS1	Jem	0-3	y	79
GS1合成シンボル (GS1 Composite)	Jem	0-3	y	79
GS1データバー標準型	Jem	0-3	y	79
MaxiCode	JUm	0-3	x	78
PDF417	JLm	0-2	r	72
MicroPDF417	JLm	0-5	R	52
QRコード	JQm	0-6	s	73
Micro QRコード	JQm		s	73

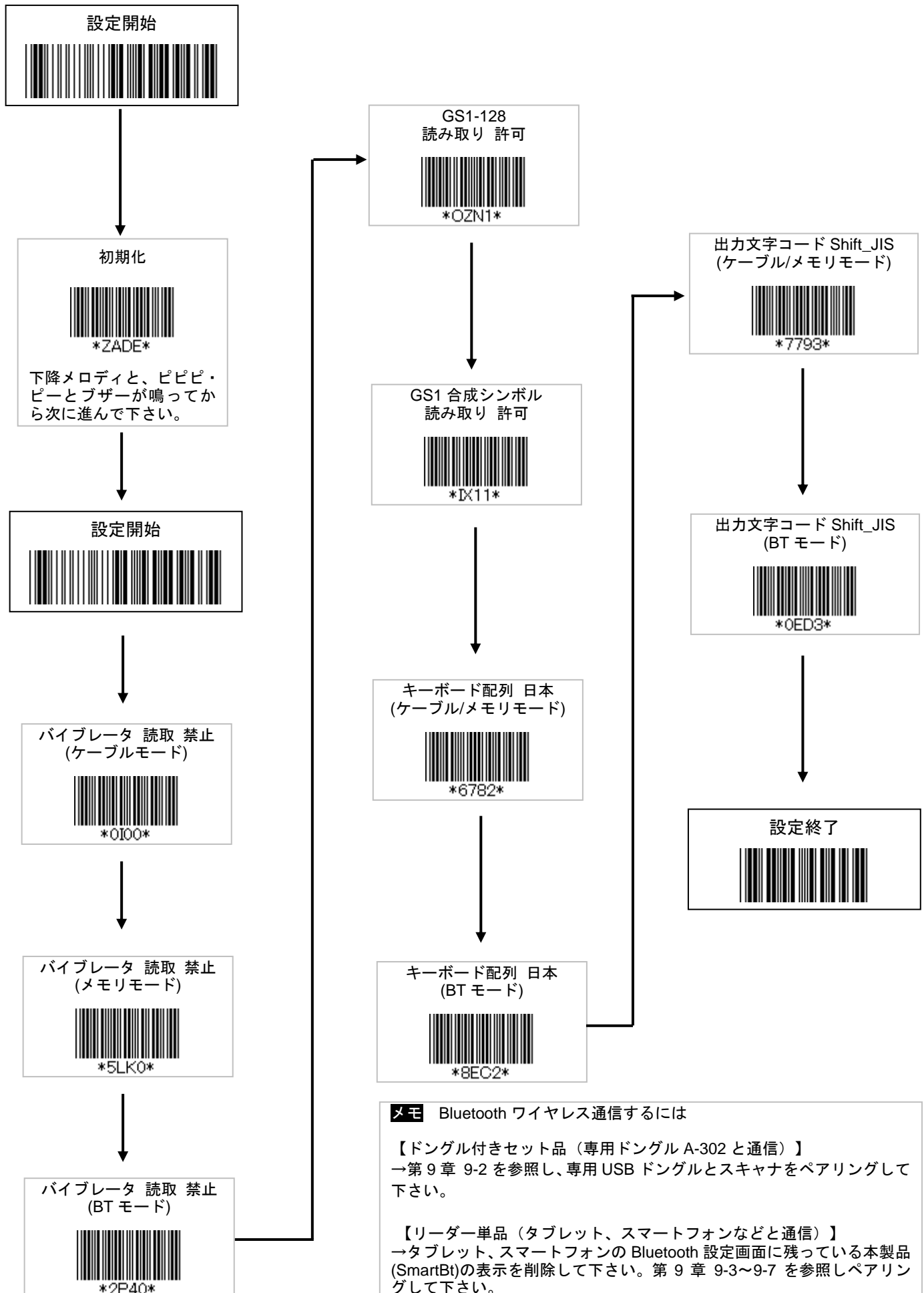
郵便シンボル

シンボル(バーコード)	AIMの仕様		本製品の仕様	
	AIM ID	モディファイ(m)	コードID	Hex
Australian Post (オーストラリア郵便)	JX0		A	41
British Post (イギリス郵便)	JX0		C	43
China Post (中国郵便)	JX0		Q	51
InfoMail	JX0		,	2c
Intelligent Mail Bar Code	JX0		M	4D
Japanese Post (日本郵便)	JX0		J	4A
KIX Post (オランダ郵便)	JX0		K	4B
Korea Post (韓国郵便)	JX0		?	3F
Planet Code	JX0		L	4C
Postal-4i	JX0		N	4E
Postnet	JX0		P	50

付録B 出荷時の設定

弊社出荷時と同じ設定に戻すメニューです。順に読み取って下さい。

注意 Bluetooth の設定は失います。



付録C サンプルバーコード

UPC-A



UPC-E



JAN-13(EAN-13)



JAN-8(EAN-8)



Code 39



CODE39-1Q

Interleaved 2 of 5 (ITF)



14512345678903

メモ 初期設定の最小読取桁数は 4 桁

Codabar / NW7



A1234567890A

メモ 初期設定の最小読取桁数は 4 桁

最小読取桁数は 2 桁 (1 桁は読取不可)

Code 128



Code128-567890

GS1-128



(01)24512345678900(17)181200(30)10(10)A1234

メモ GS1 の AI カッコを出す場合、第 15 章 15-42 AI にカッコ()追加を許可に設定して下さい。

印刷設定や環境によってはサンプルを正しく印刷できず、読み取らない場合があります。

付録C サンプルバーコード (続き)

GS1 データバー限定型



(01)04512345678906

メモ GS1 の AI カッコを出す場合、第 15 章 15-42 AI にカッコ()追加を許可に設定して下さい。**メモ** GS1 データバー限定型の 01 が不要な場合、第 15 章 15-33 のメモを参照し設定して下さい。

GS1 データバー限定型合成シンボル CC-A

(17)181200(10)A1234



(01)14512345678903

QR コード (英数字のみ)



データ : 1234567890ABCDEfghij

QR コード (白黒反転)



データ : HanTen567890

メモ 初期設定のまま読み取ります。

QR コード (日本語データ入り、シフト JIS)



データ : 日本語データ。かなカナか 12ABcd

Data Matrix (ECC200)



データ : Data Matrix ECC200

GS1 DataMatrix



(01)14512345678903(17)200930(10)A123(21)7890

メモ GS1 の AI カッコを出す場合、第 15 章 15-42 AI にカッコ()追加を許可に設定して下さい。GS1 DataMatrix はフレームウェアバージョン 0001-0013 以上が対応します。

PDF417



データ : PDF417 sample code

2次元郵便コード 日本郵便



データ : 23000514-36-1

印刷設定や環境によってはサンプルを正しく印刷できず、読み取らない場合があります。

付録 D ASCII コード表

アスキーコード表

L \ H	0(*)	1(*)	0(**)	1(**)
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	ESC	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

*USB キーボードインターフェースが対応

L \ H	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	'	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	¥	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

付録 E 英数メニュー

